

精神病床における認知症入院患者に関する調査概要

1 目的

精神科病院における認知症入院患者に対する医療の状況、患者の状態等について、既存の調査では把握されていない点について詳細に把握し、新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チームにおける検討資料とする。

2 調査対象

認知症治療病棟入院料1（6病棟）、認知症治療病棟入院料2（1病棟）
精神病棟入院基本料（1病棟）、精神療養病棟入院料（1病棟）、
老人性認知症疾患療養病棟（1病棟）の計10病棟（9病院）、計454人の認知症患者

3 調査方法

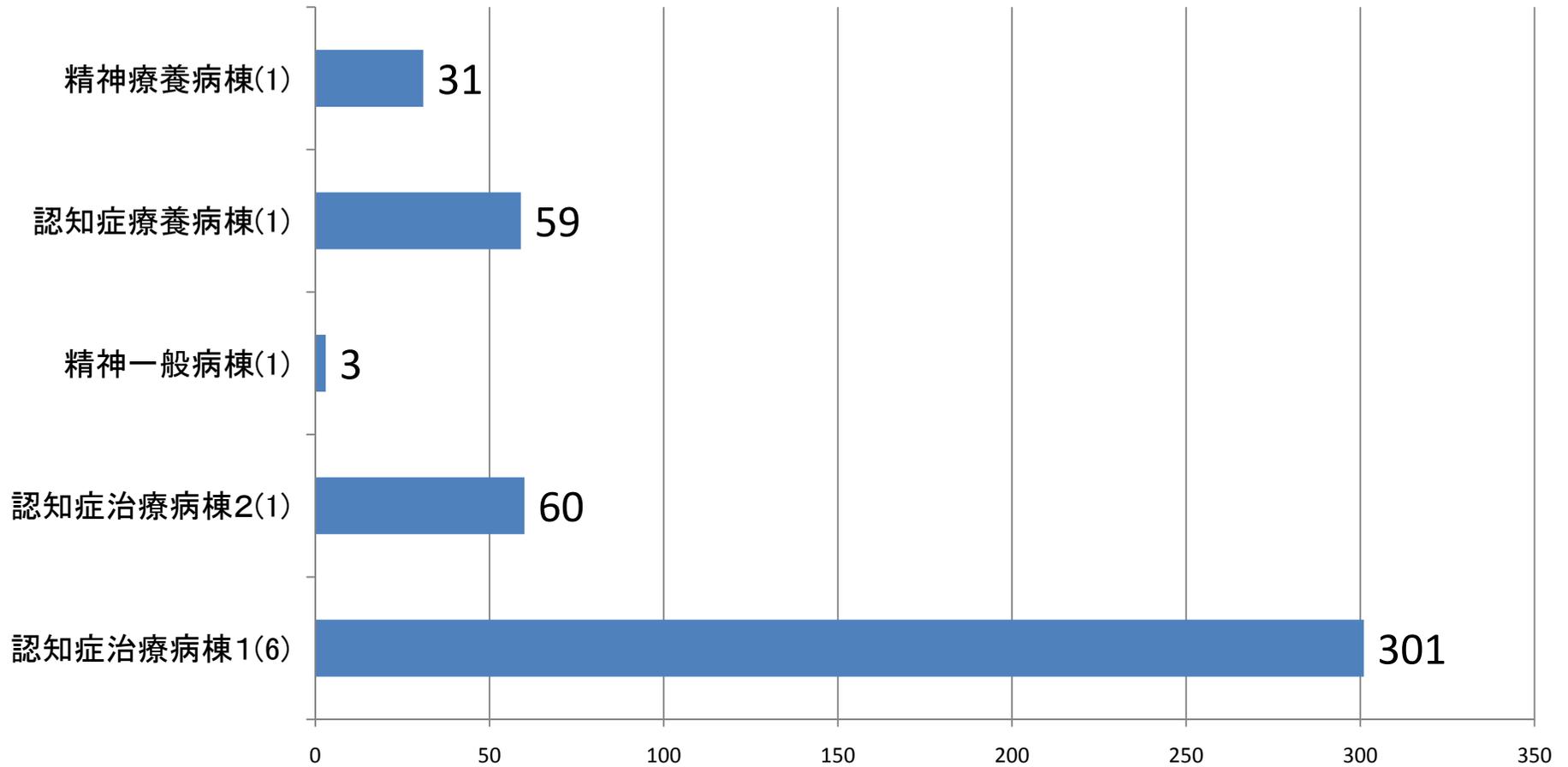
- (1) 調査期間 平成22年9月27日～10月4日（調査日：平成22年9月15日現在）
- (2) 調査方法 調査票によるアンケート方式
- (3) 回答者 調査対象病棟の病棟師長（適宜、担当医や精神保健福祉士等と相談）

4 調査項目

病棟概要、精神症状等の状況、身体合併症の状況、必要となる居住先・支援等

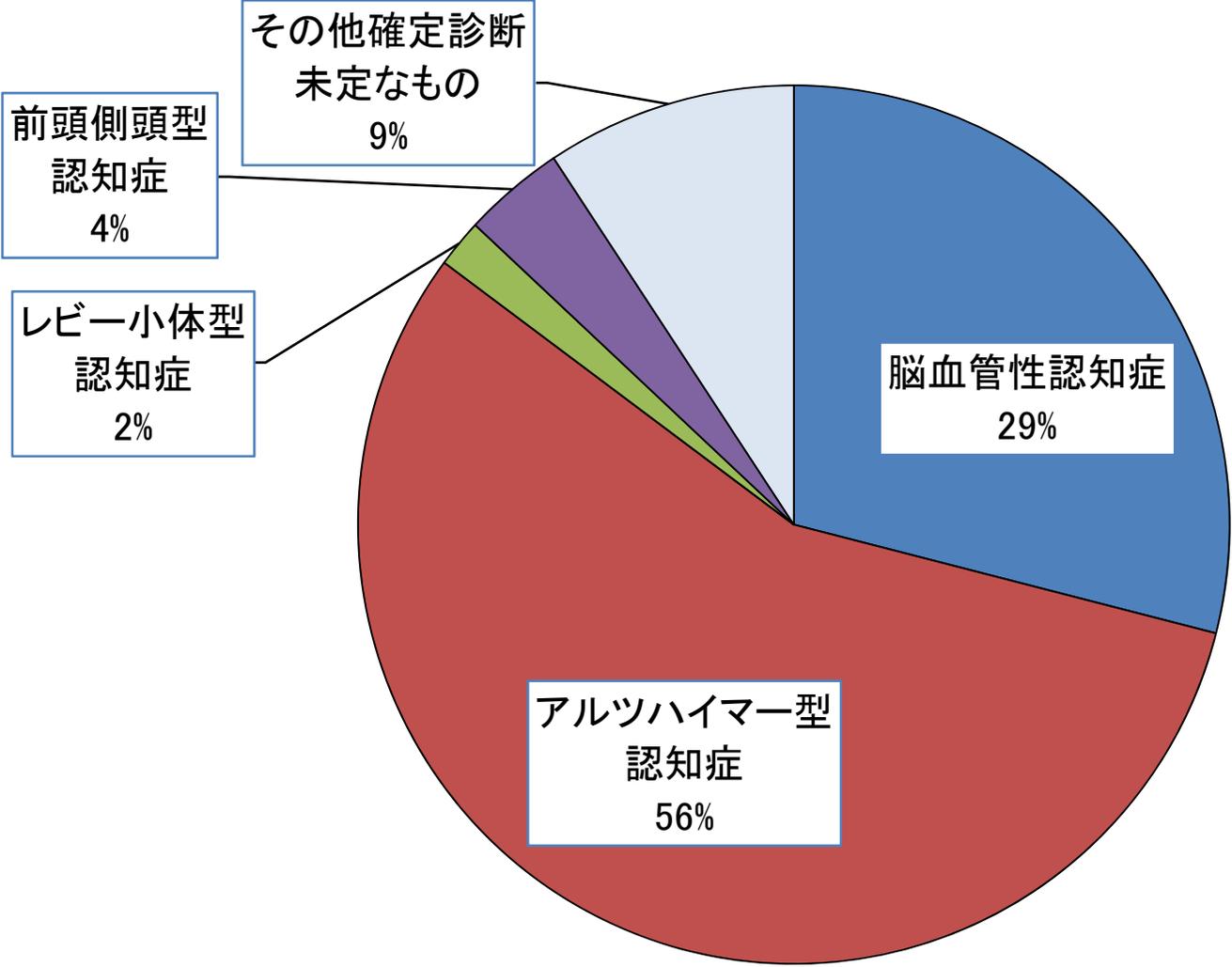
病棟種類別対象患者数(人)

計 454人



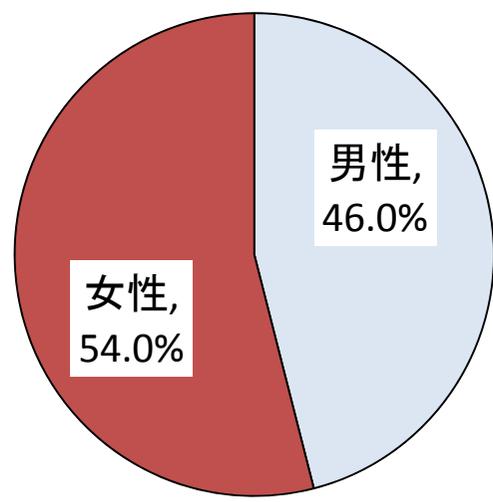
問1 認知症の診断名

(N=452)



問2 平均年齢 78.3歳

問3 性別

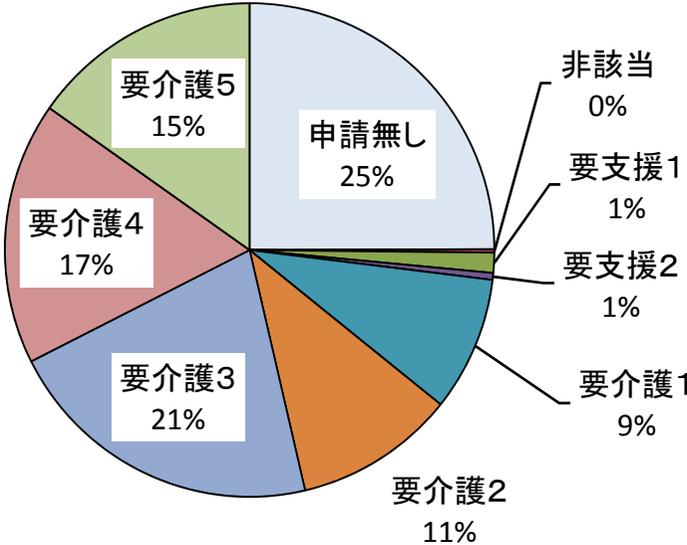


問4 平成22年9月15日現在の平均在院日数 944.3日 (中央値 336日)
(N=452)

問5 改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R) 7.2点
(N=452)

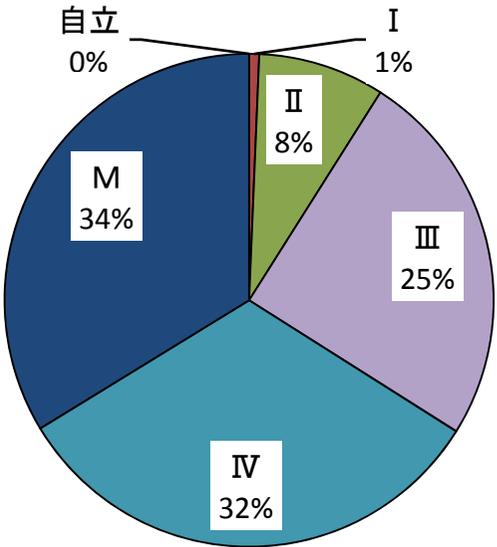
問6 要介護認定

(N=453)

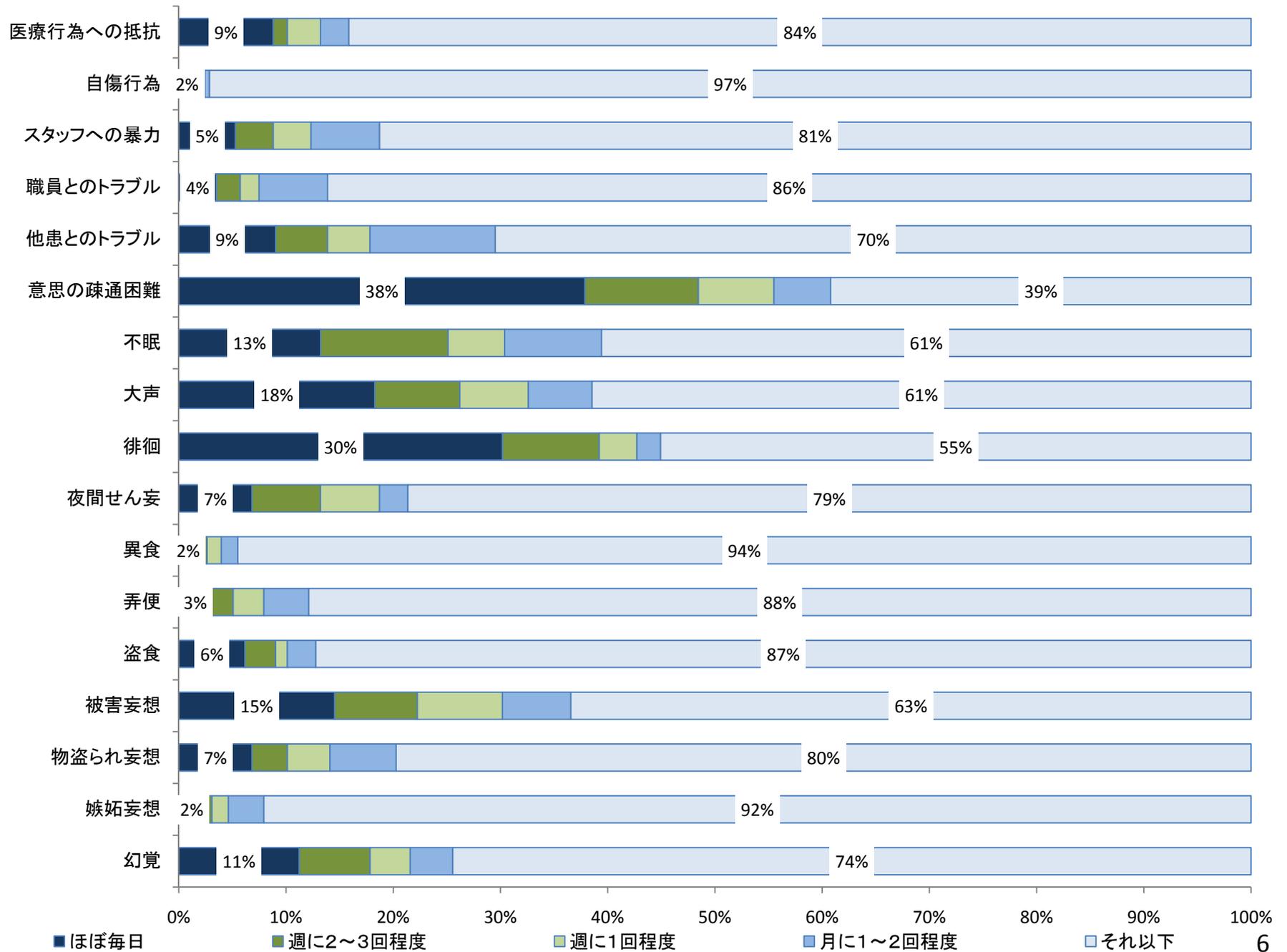


問7 認知症高齢者の日常生活自立度

(N=452)



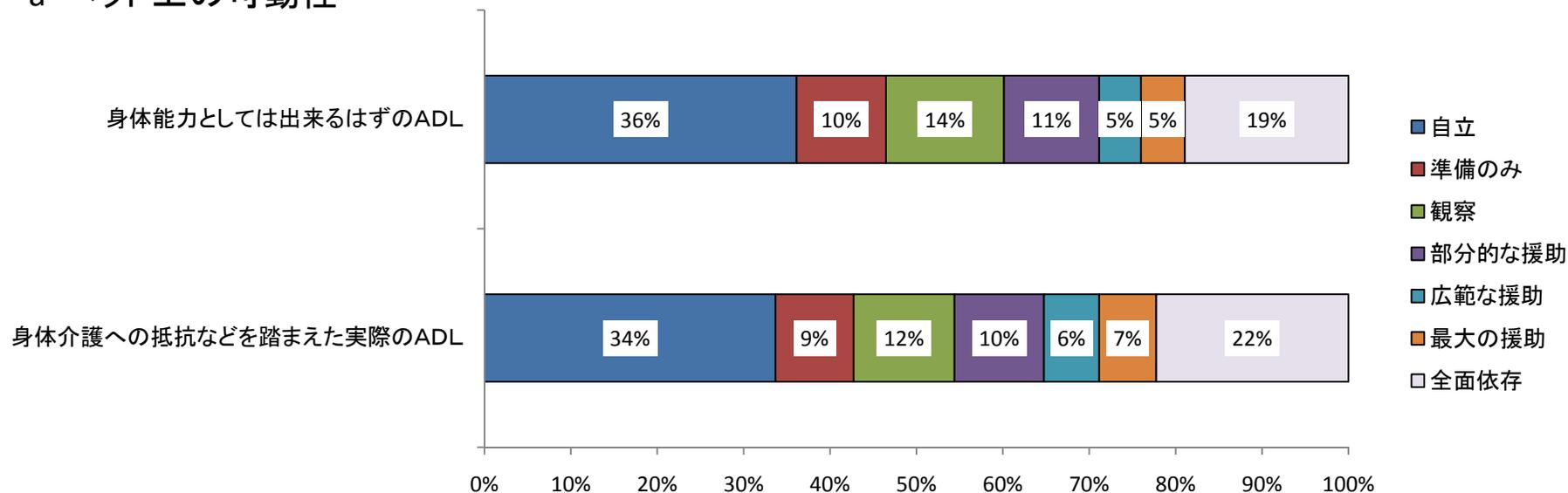
問8 調査時点から過去1カ月間の精神症状等の頻度 (N=454)



問9 調査日から過去3日間のADLについて

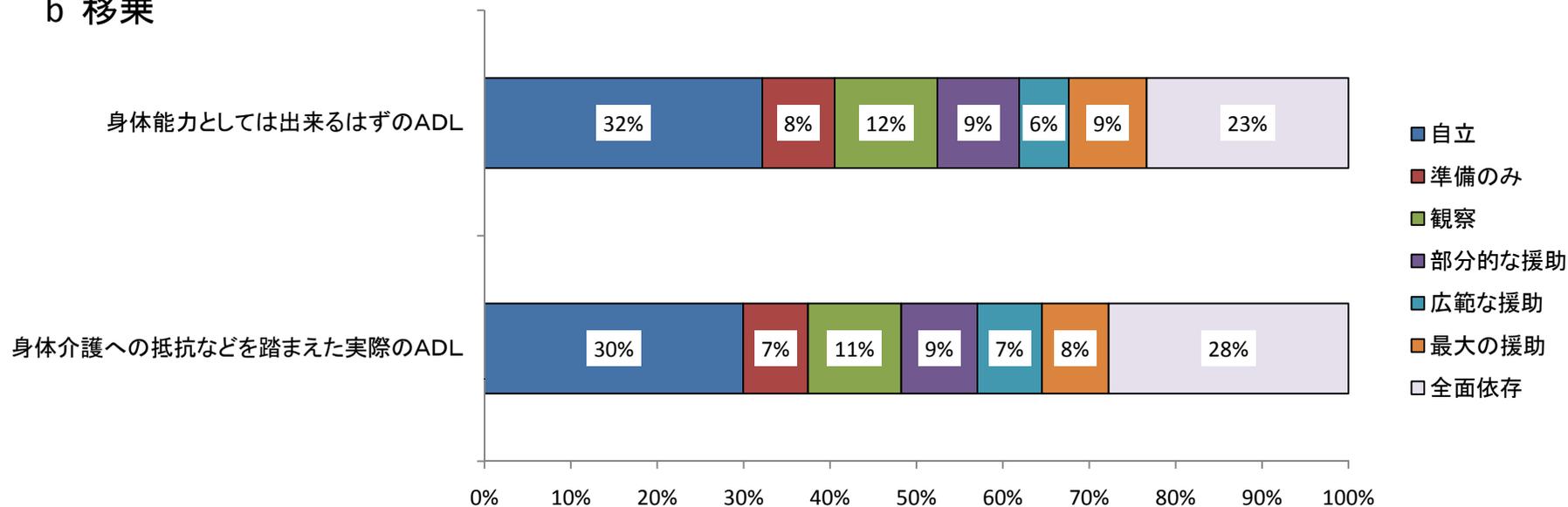
(N=454)

a ベッド上の可動性



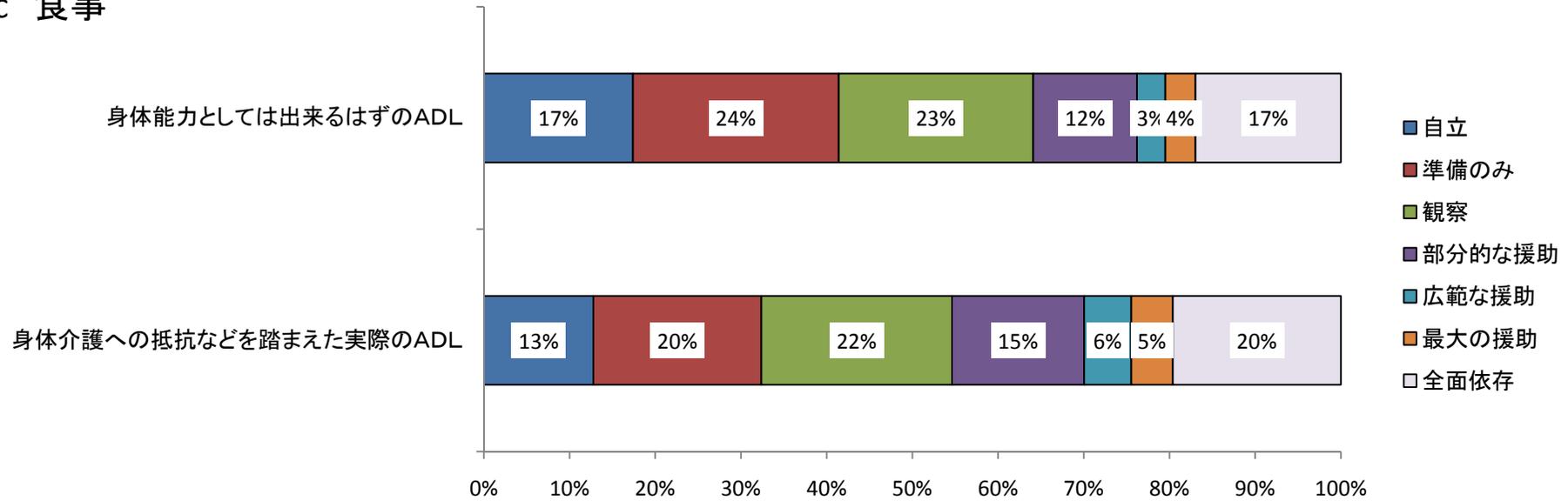
(N=454)

b 移乗



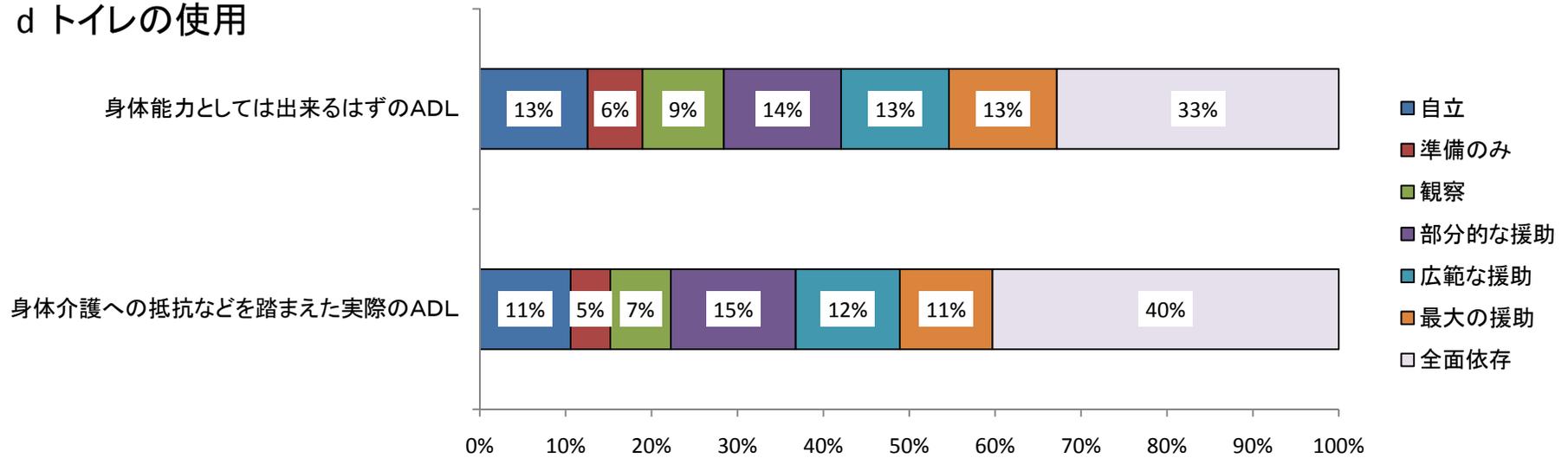
c 食事

(N=454)



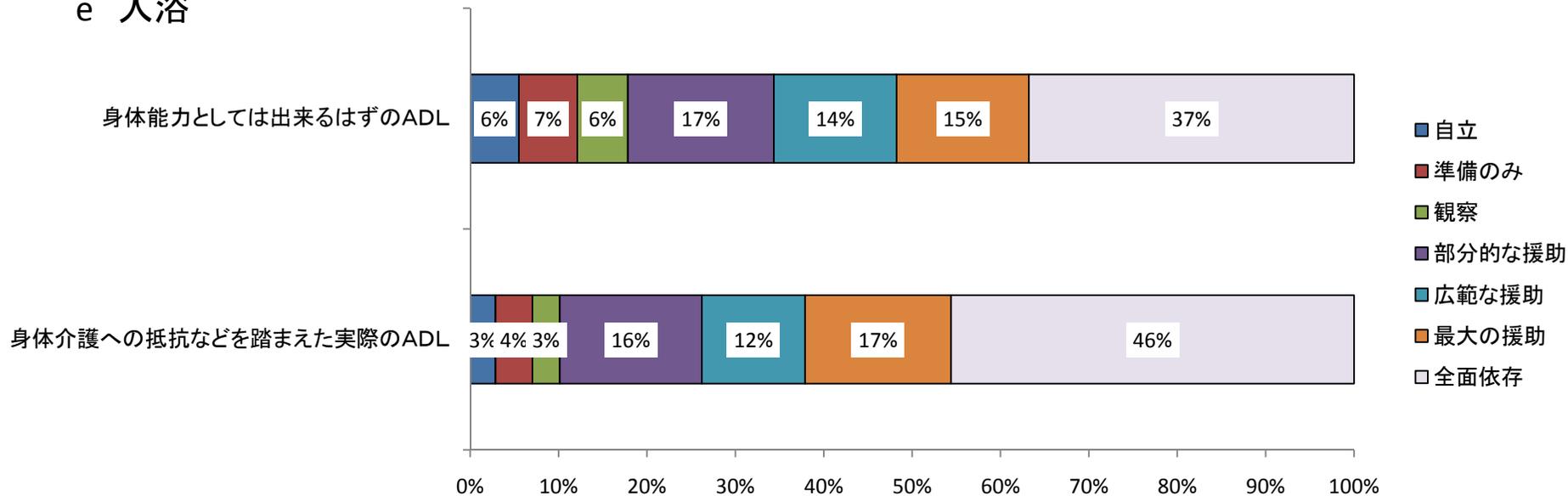
d トイレの使用

(N=454)



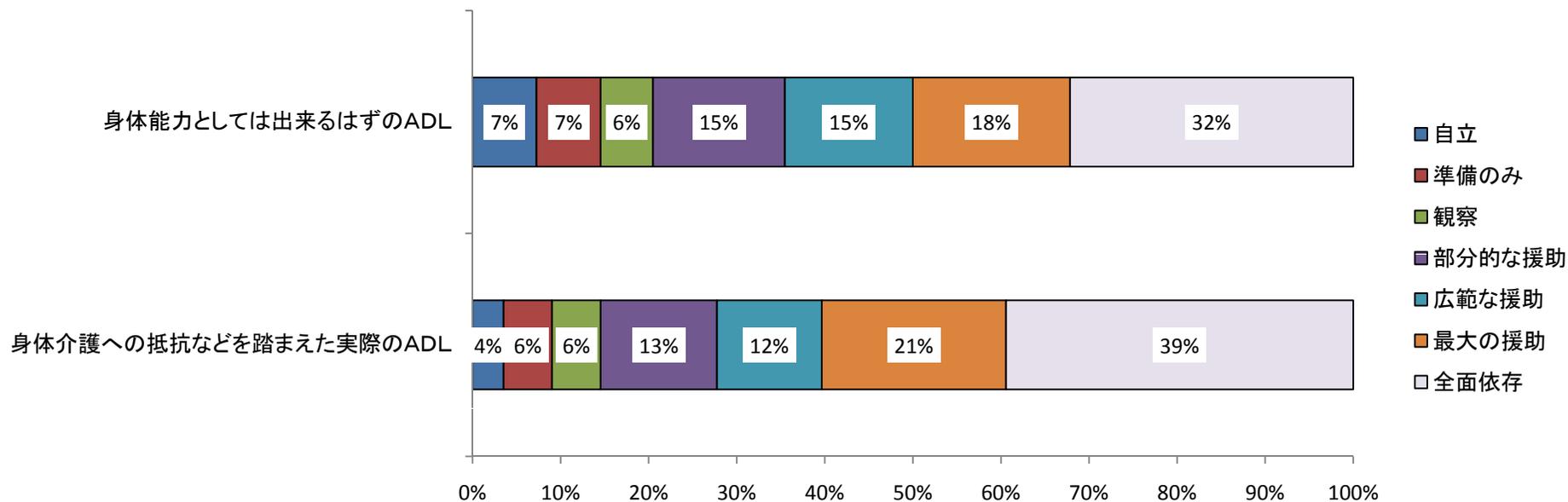
e 入浴

(N=454)



f 衣服の着脱

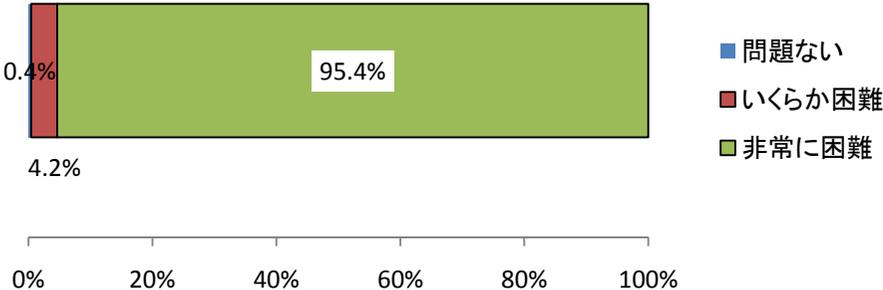
(N=454)



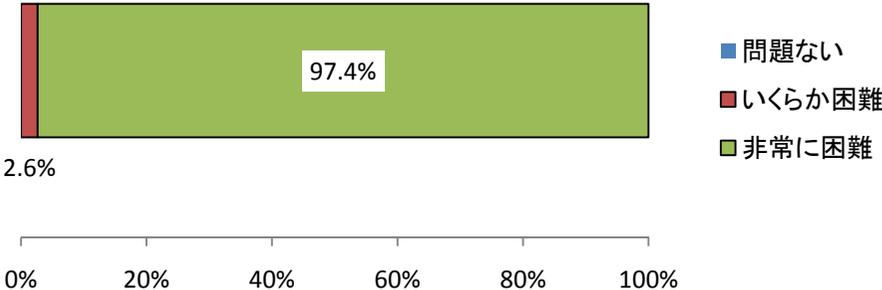
問10 IADLについて

(N=453)

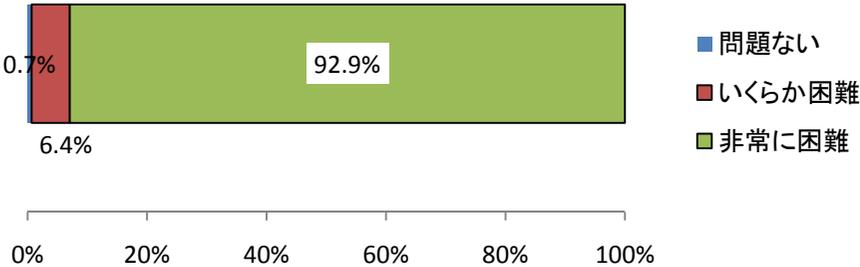
食事の用意



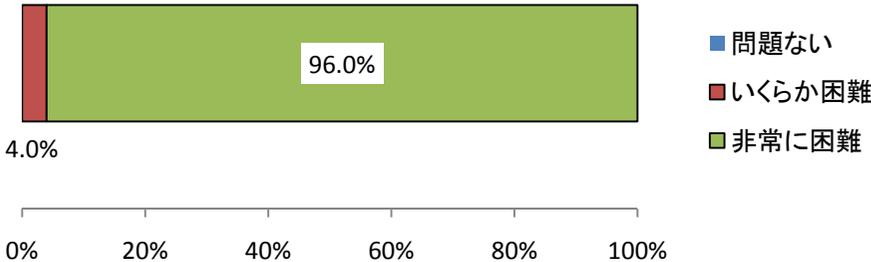
金銭管理



家事一般

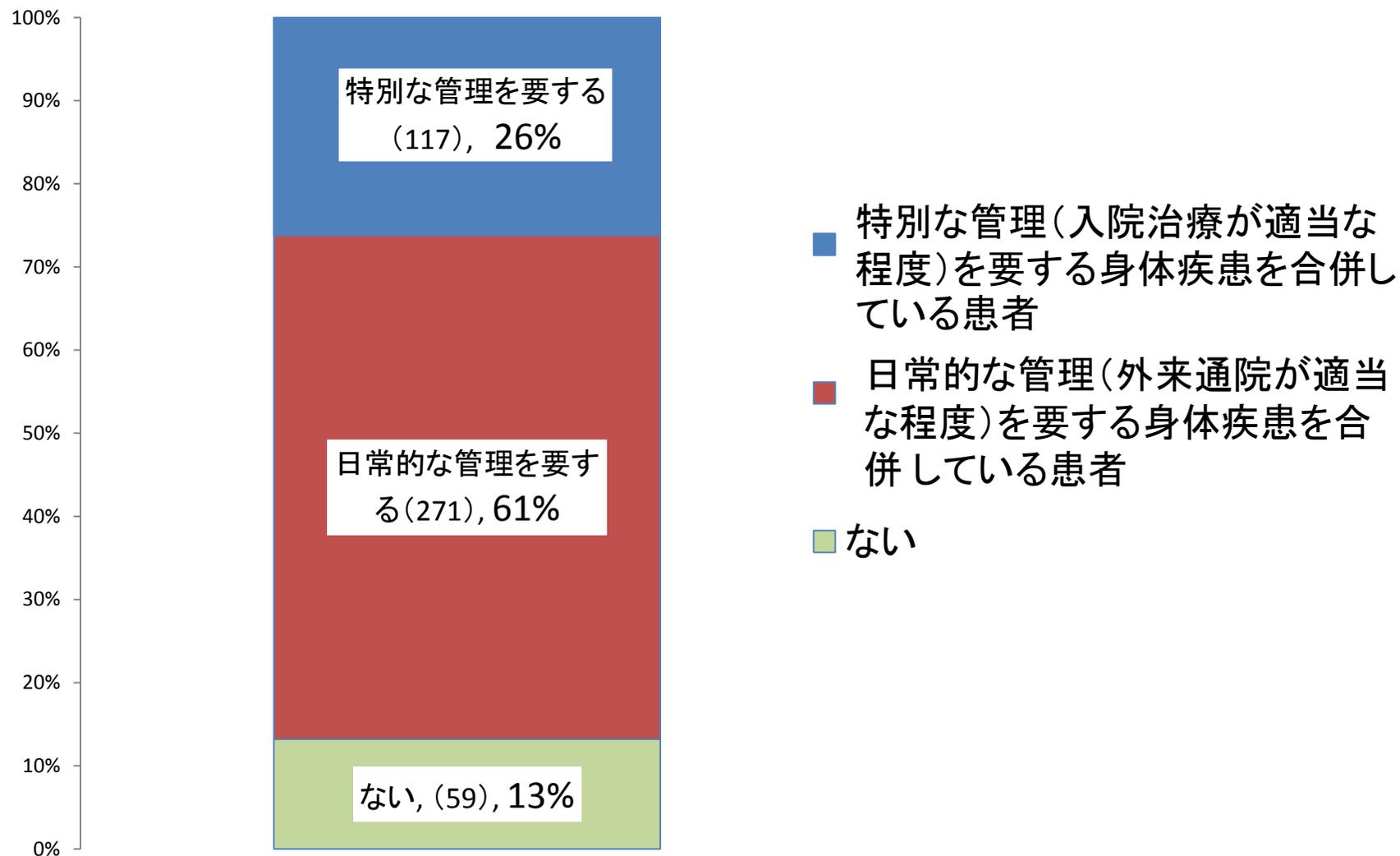


薬の管理



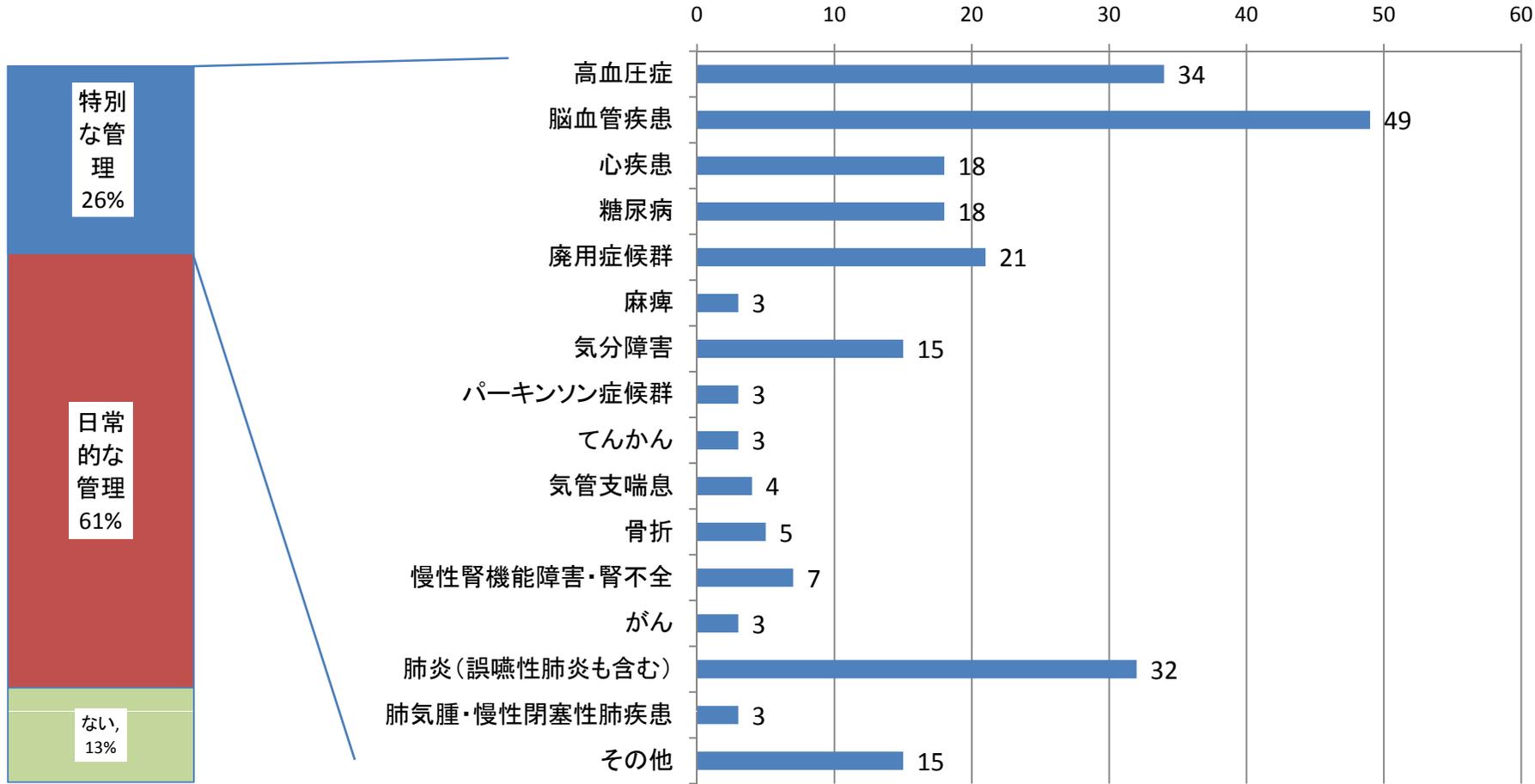
問11 調査日における対象者の、認知症以外の合併症について

(N=447)



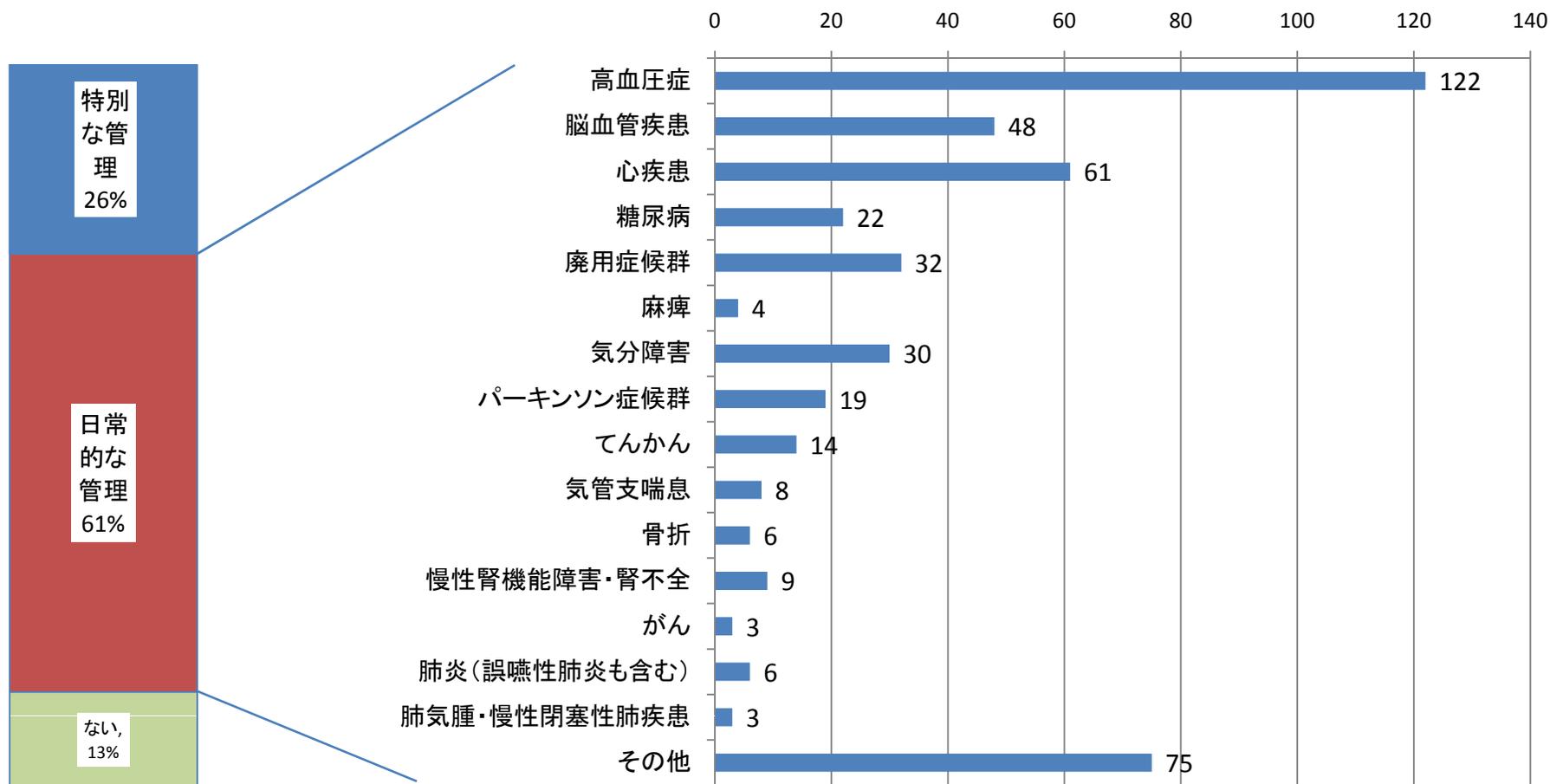
付問11-1 特別な管理(入院治療が適当な程度)を要する身体疾患

(複数回答可) (N=117)



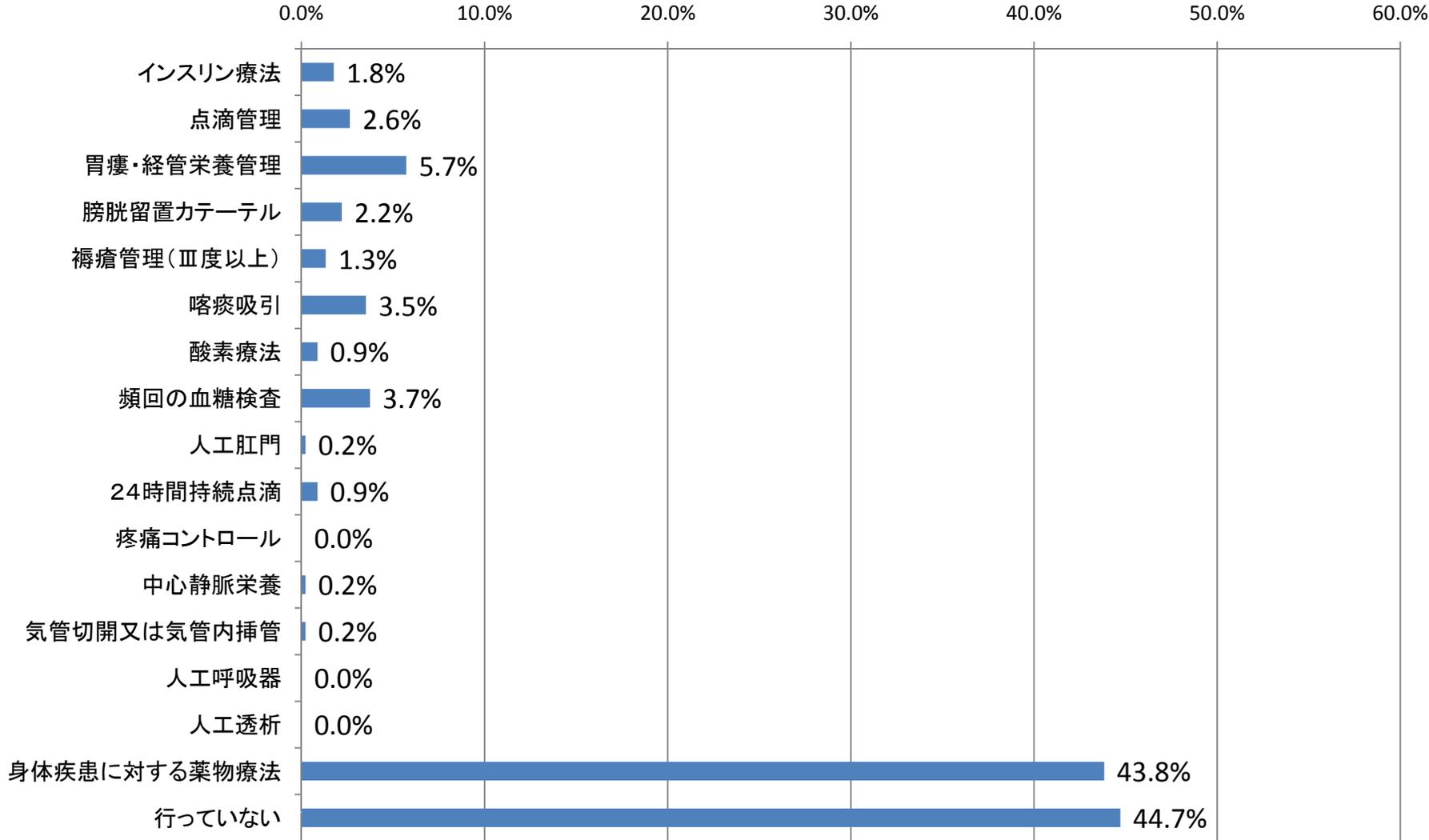
付問11-2 日常的な管理(外来通院が適当な程度)を要する身体疾患

(複数回答可) (N=271)



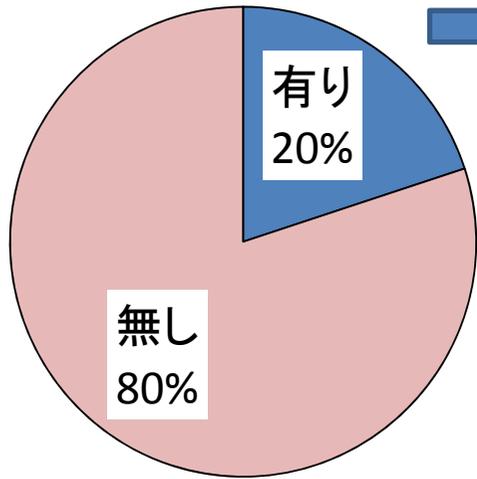
問12 調査日における対象者に行っている身体的管理

(複数回答可) (N=454)



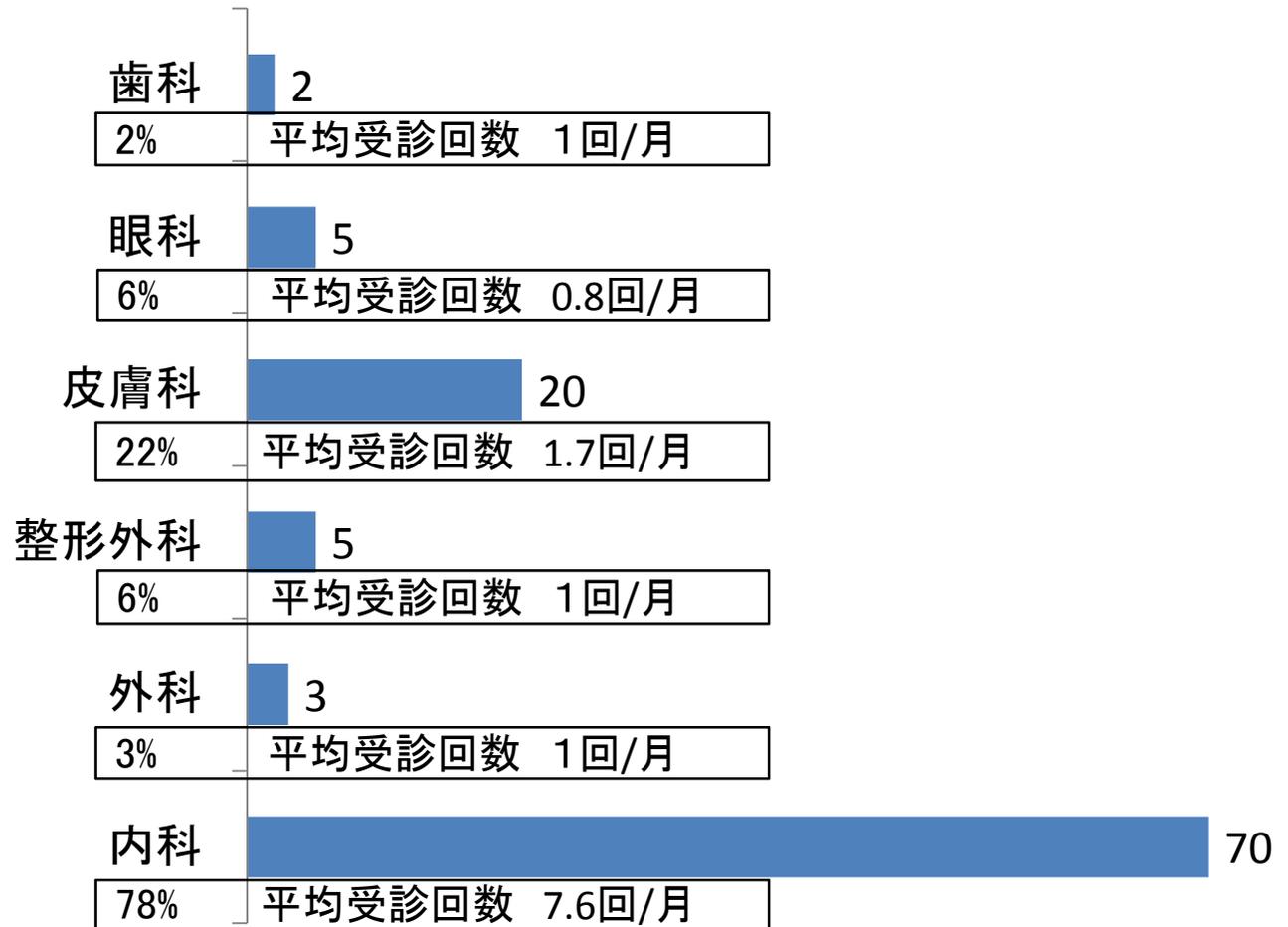
問13 過去1ヶ月間の他科受診の有無

(N=451)



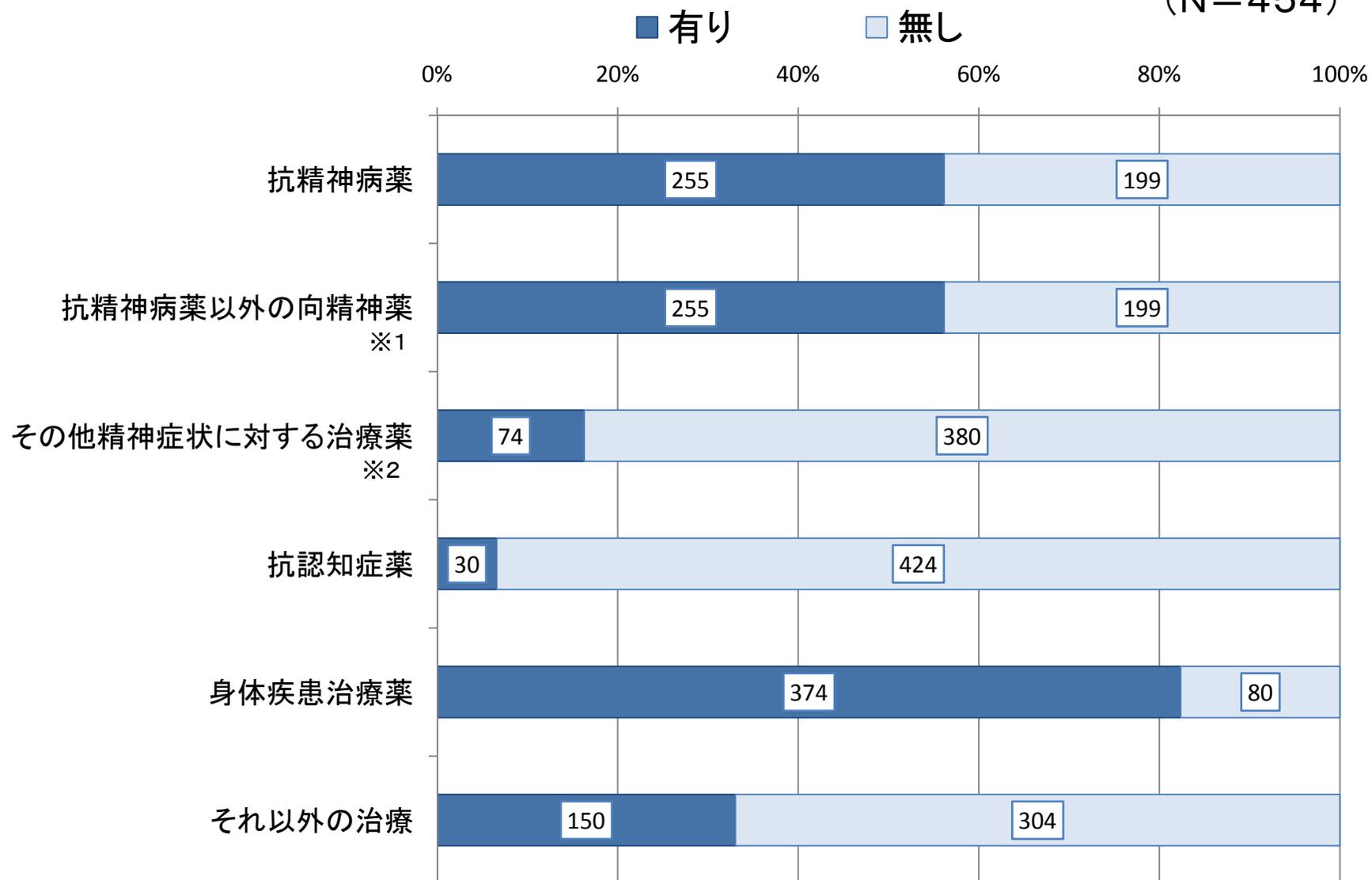
問13-1 他科受診の回数

(複数回答可) N=90



問14 調査日から過去1週間に使用した薬物の有無

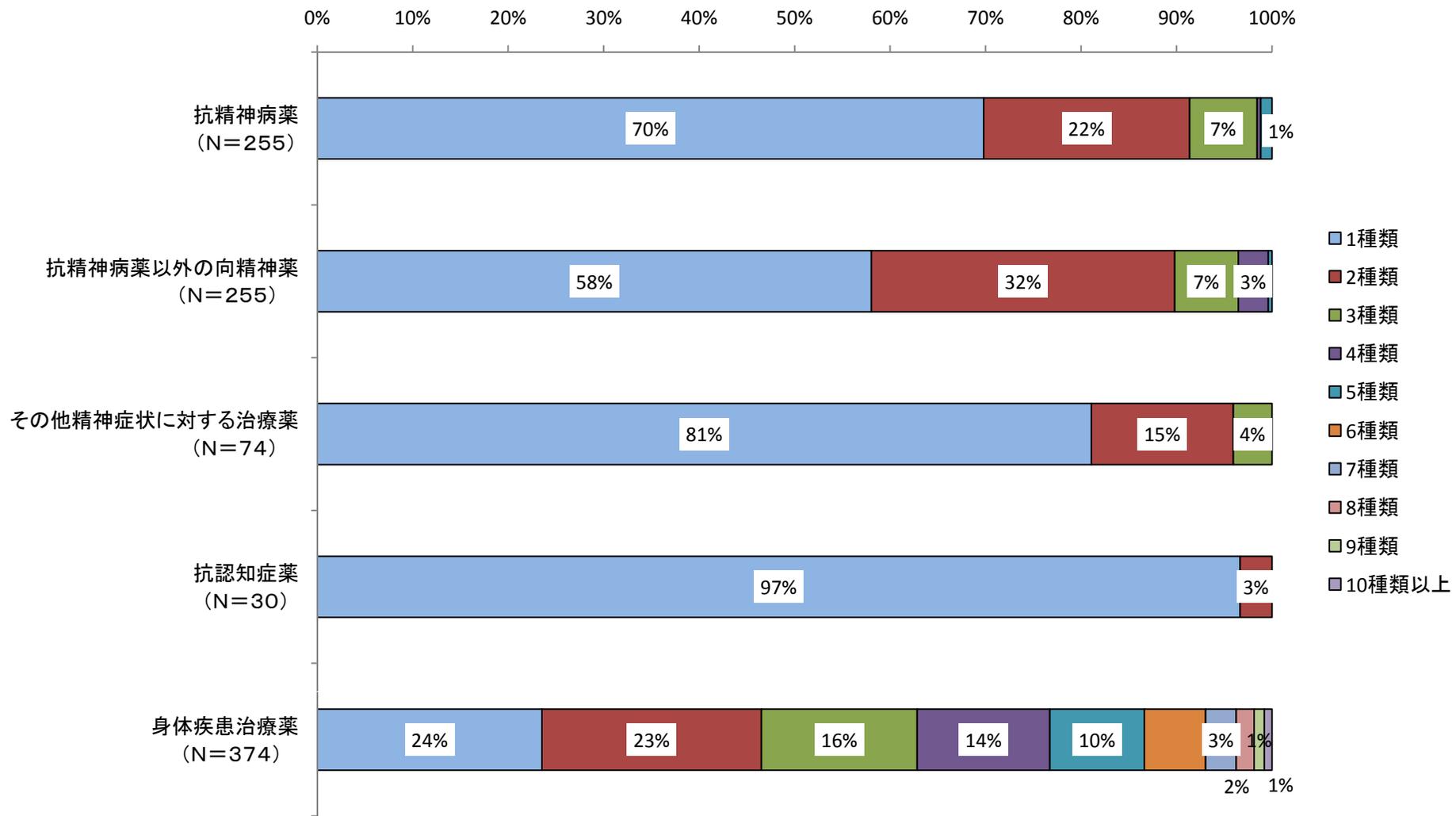
(N=454)



※1 抗精神病薬以外の向精神薬・・・抗不安薬、睡眠薬、抗うつ薬、抗てんかん薬

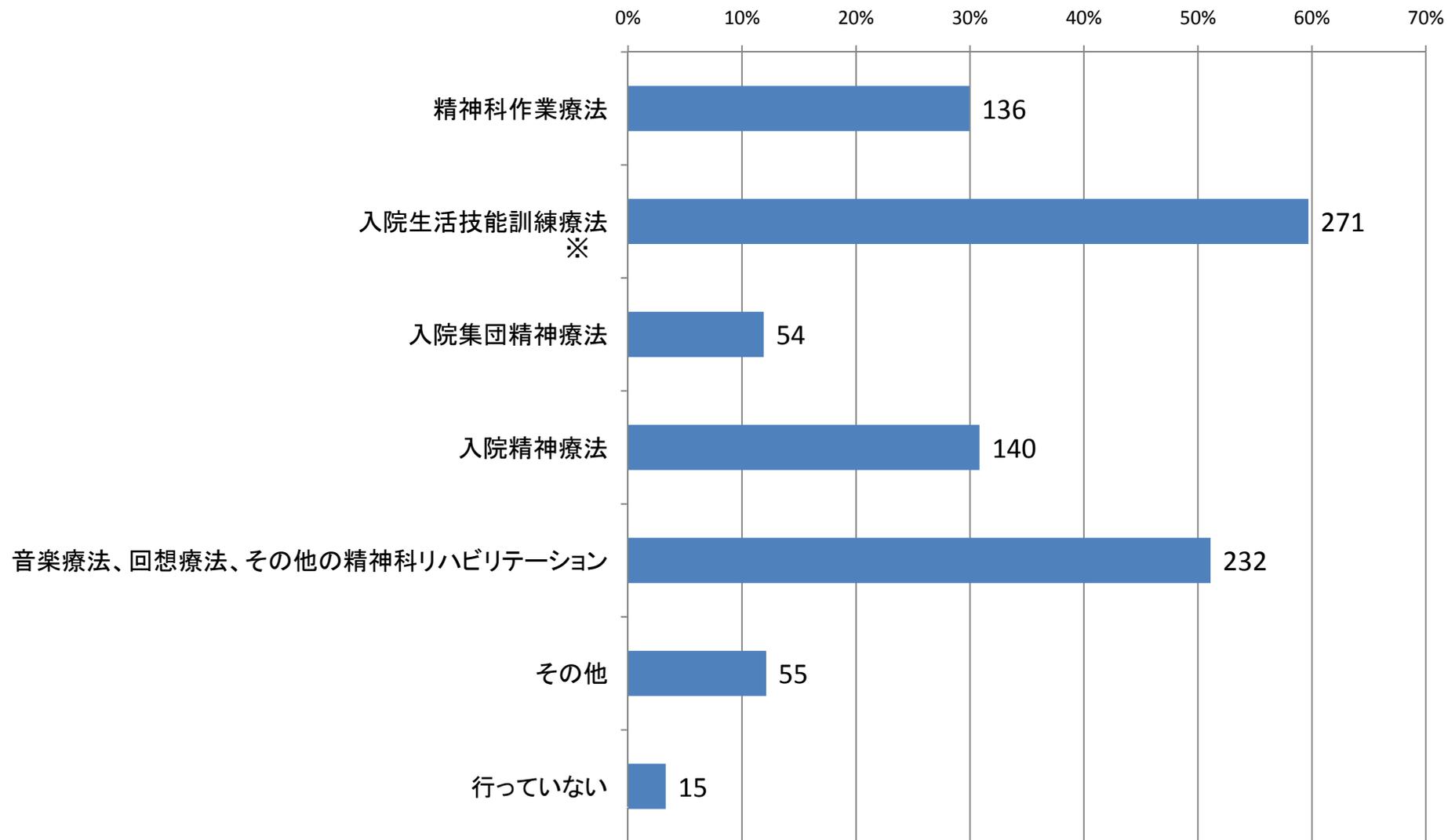
※2 その他の精神病上に対する治療薬・・・漢方薬など

問14-1 調査日から過去1週間に使用した薬物の種類数



問14-2 過去1ヶ月間に行った精神科専門療法

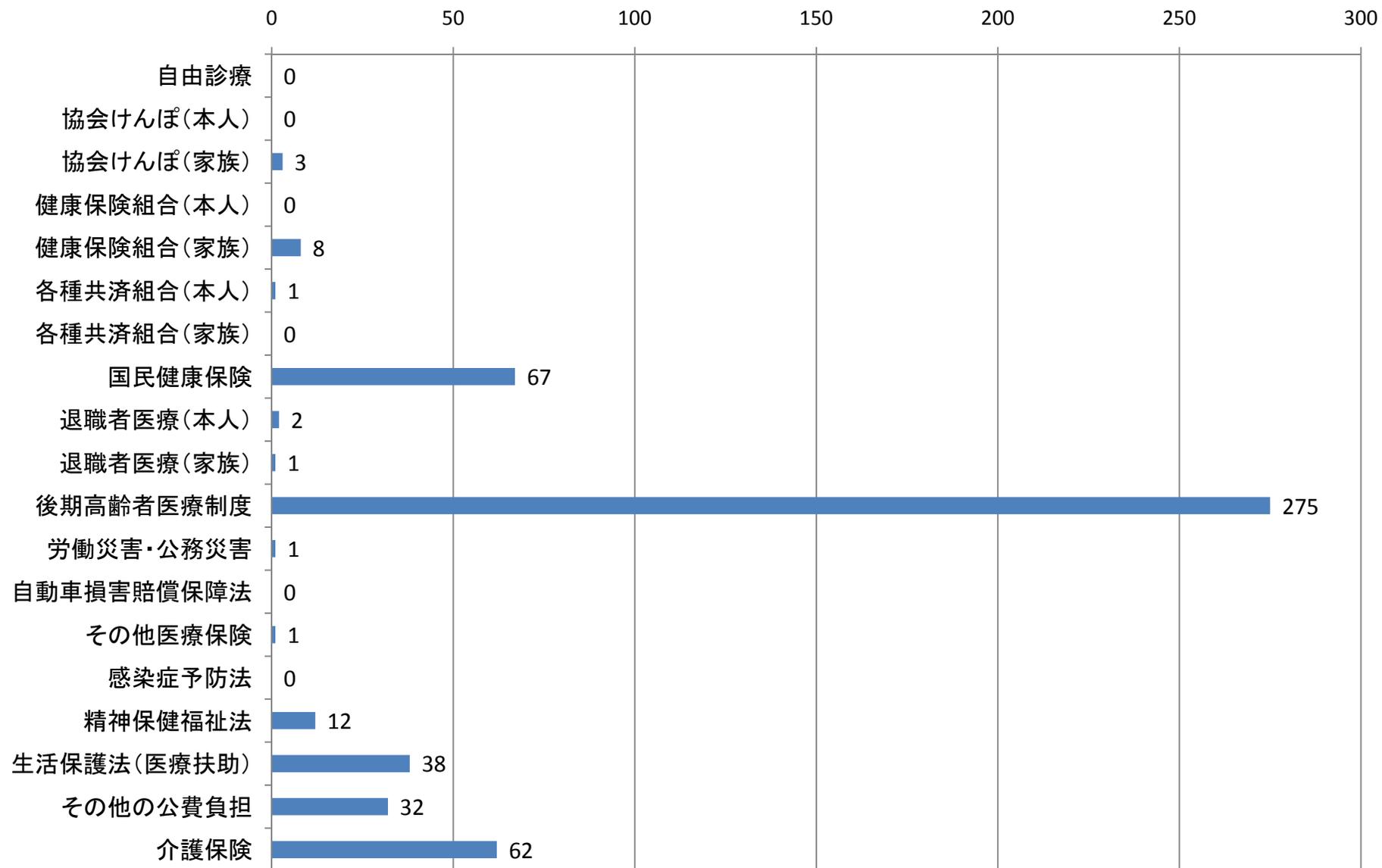
(複数回答可)(N=454)



※「生活機能回復訓練」と回答したものを含む。

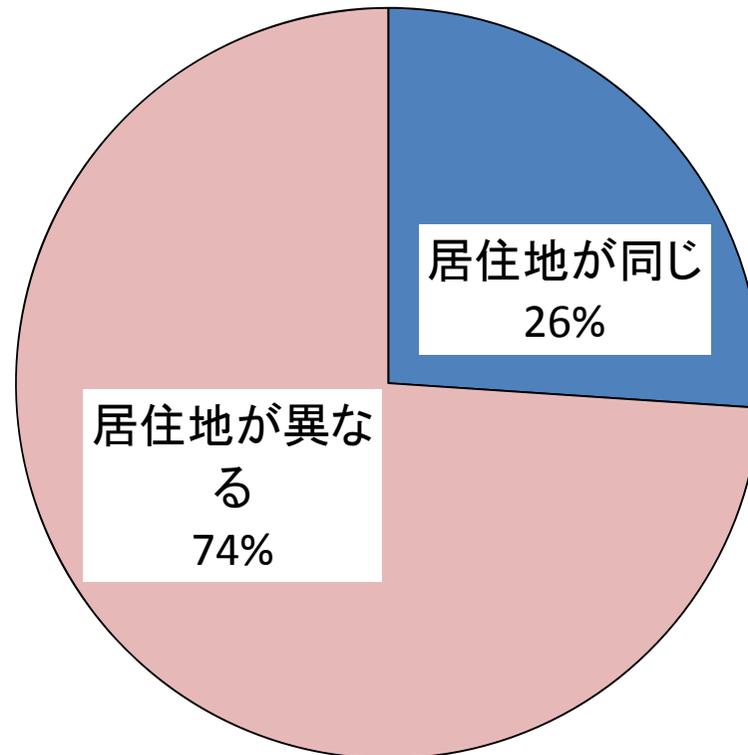
問15 診療費等支払い方法

(複数回答可)(N=454)



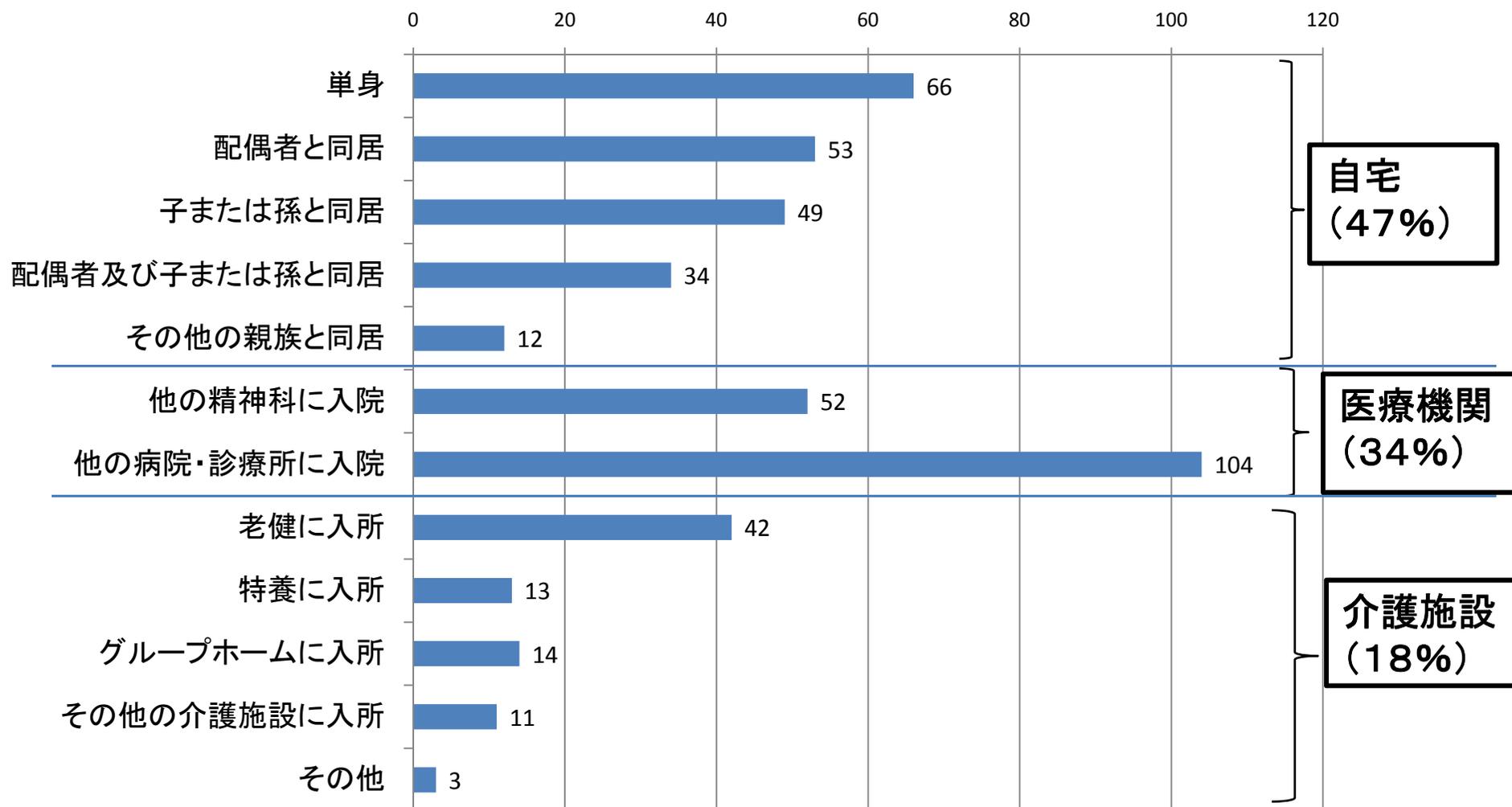
問16 病院の所在市町村と患者居住地が同じか

(N=453)



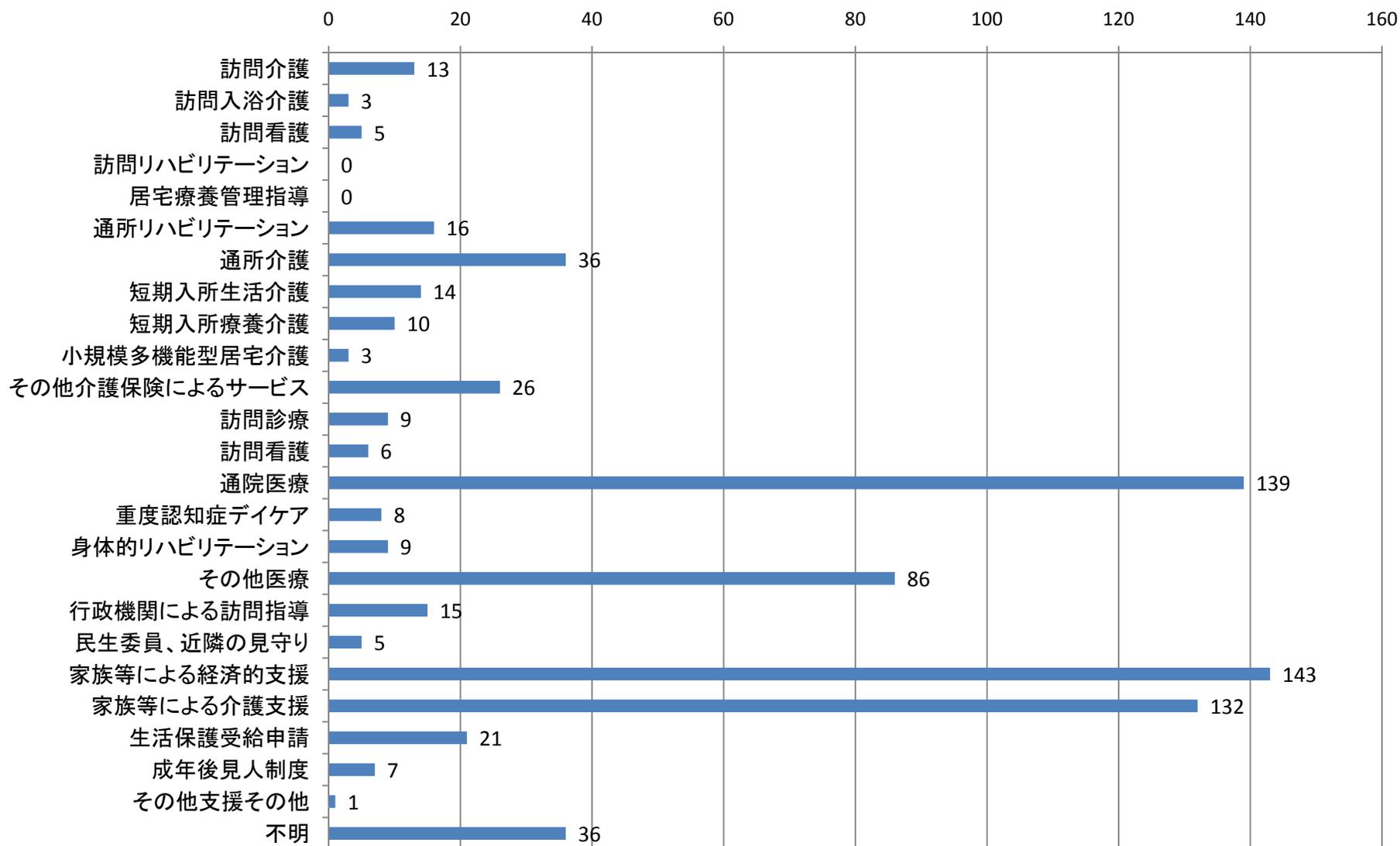
問17 対象者の入院前の状況

(N=453)



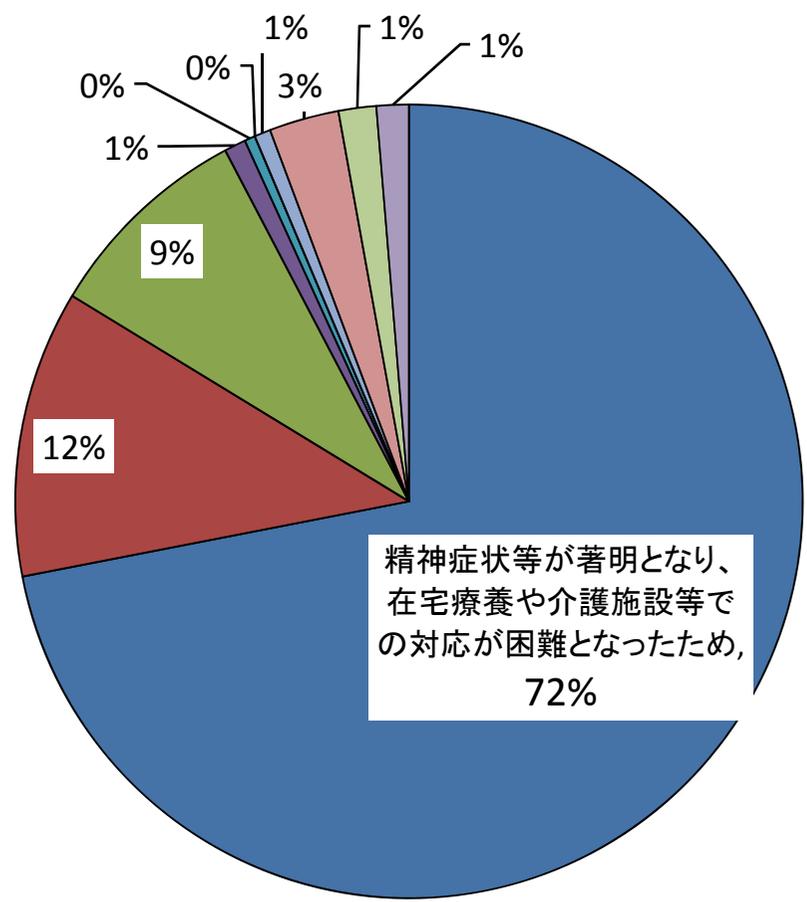
問18 入院直前の介護サービス、医療、その他の支援の利用状況

(複数回答可)(N=453)



問19 入院の理由

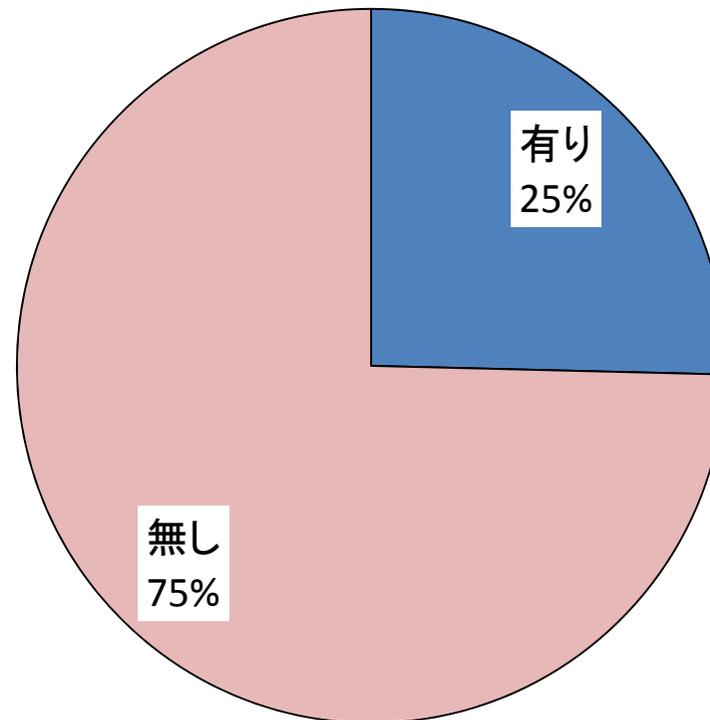
(N=453)



- 精神症状等が著明となり、在宅療養や介護施設等での対応が困難となったため
- 精神科以外の医療施設で身体合併症の治療を行っていたが、精神症状等が著明となり治療継続が出来なくなったため
- 身体疾患の急性期状態が安定し、精神症状の加療が必要なため
- 精神症状は安定しており、精神科以外の医療施設や介護施設等でも対応できると思われるが、適切な施設に空きがなかったため
- 精神症状は安定しており、精神科以外の医療施設や介護施設等でも対応できるとわれ、適切な施設に空きはあったが、医療介護サービスの対応が困難と言われたため
- 精神症状は安定しており、在宅療養でも対応できるが、必要な在宅医療が確保できないため
- 精神症状は安定しており、在宅療養でも対応できるが、必要な在宅介護サービスが確保できないため
- 精神症状は安定しており、在宅療養でも対応できるが、家族の介護困難、又は介護者不在のため
- 上記以外で、家族等が強く希望するため
- その他

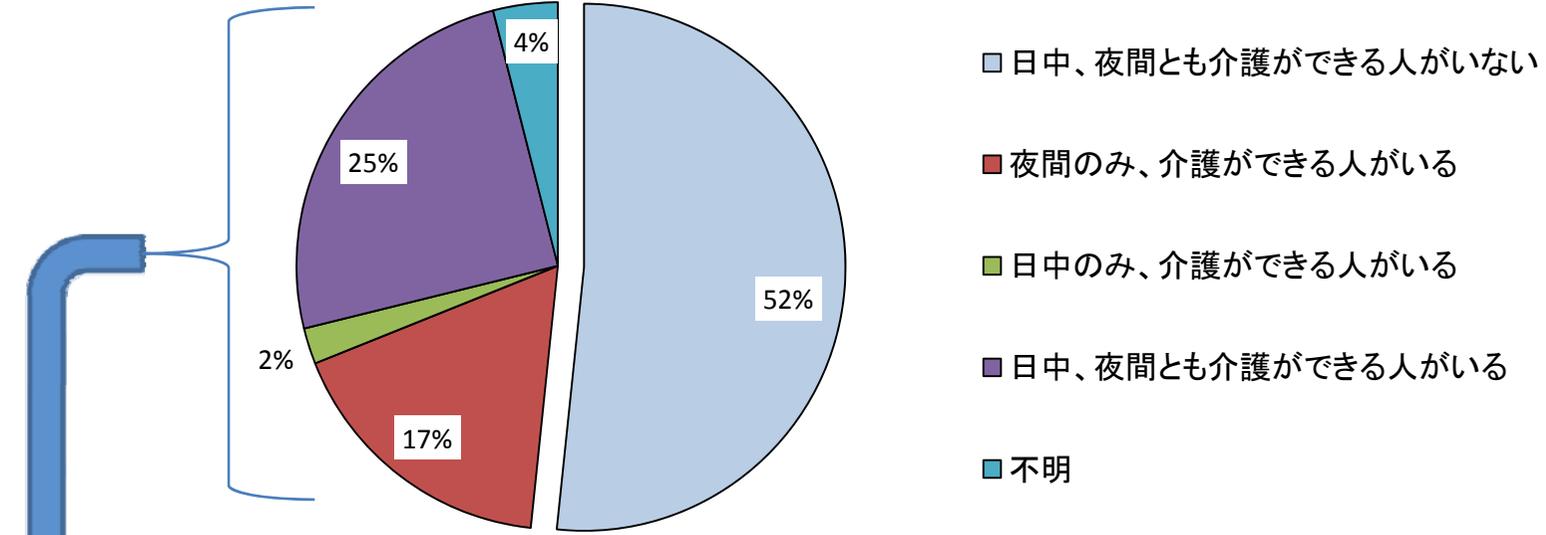
問20 対象者の地域との関わり合い(身近に気軽に相談できる相手がいるなど)

(N=453)



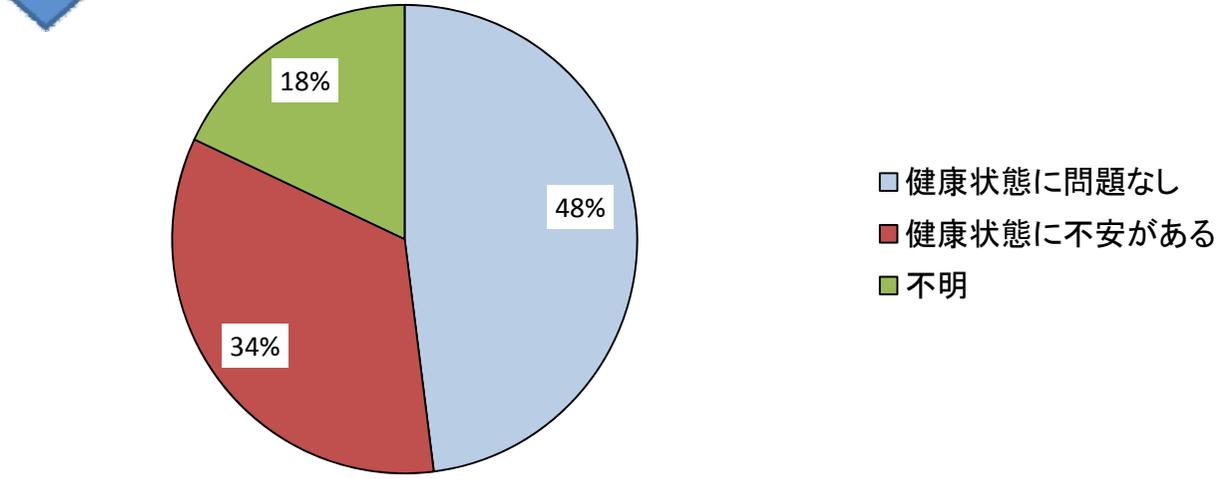
問21 自宅での介助者の有無

(N=451)



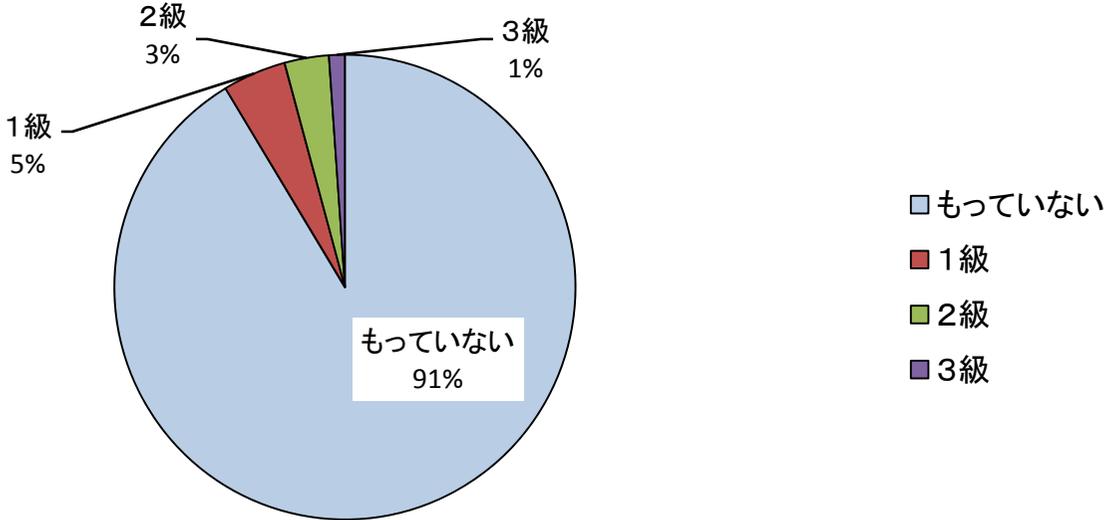
付問21-2 介護者がいる場合、介護者の健康状態

(N=200)



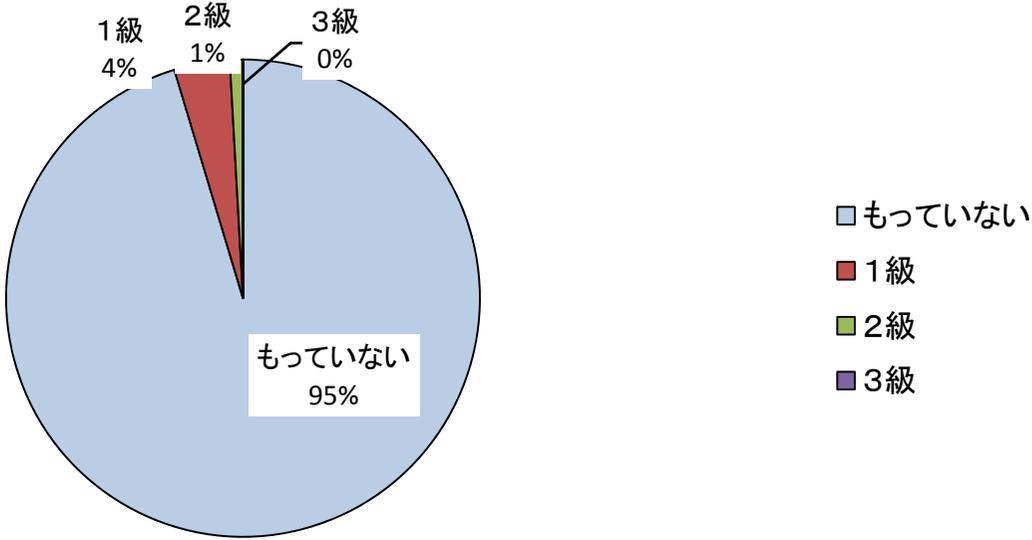
問22 身体障害者手帳

(N=450)



問23 精神障害者保健福祉手帳

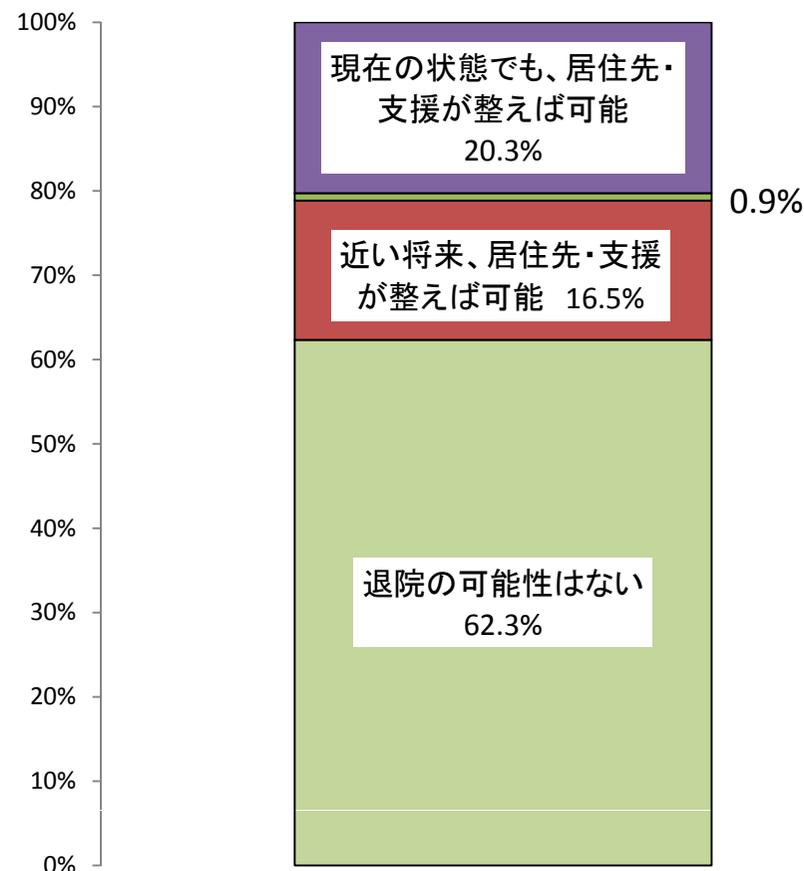
(N=448)



問24 居住先・支援が整った場合の退院の可能性

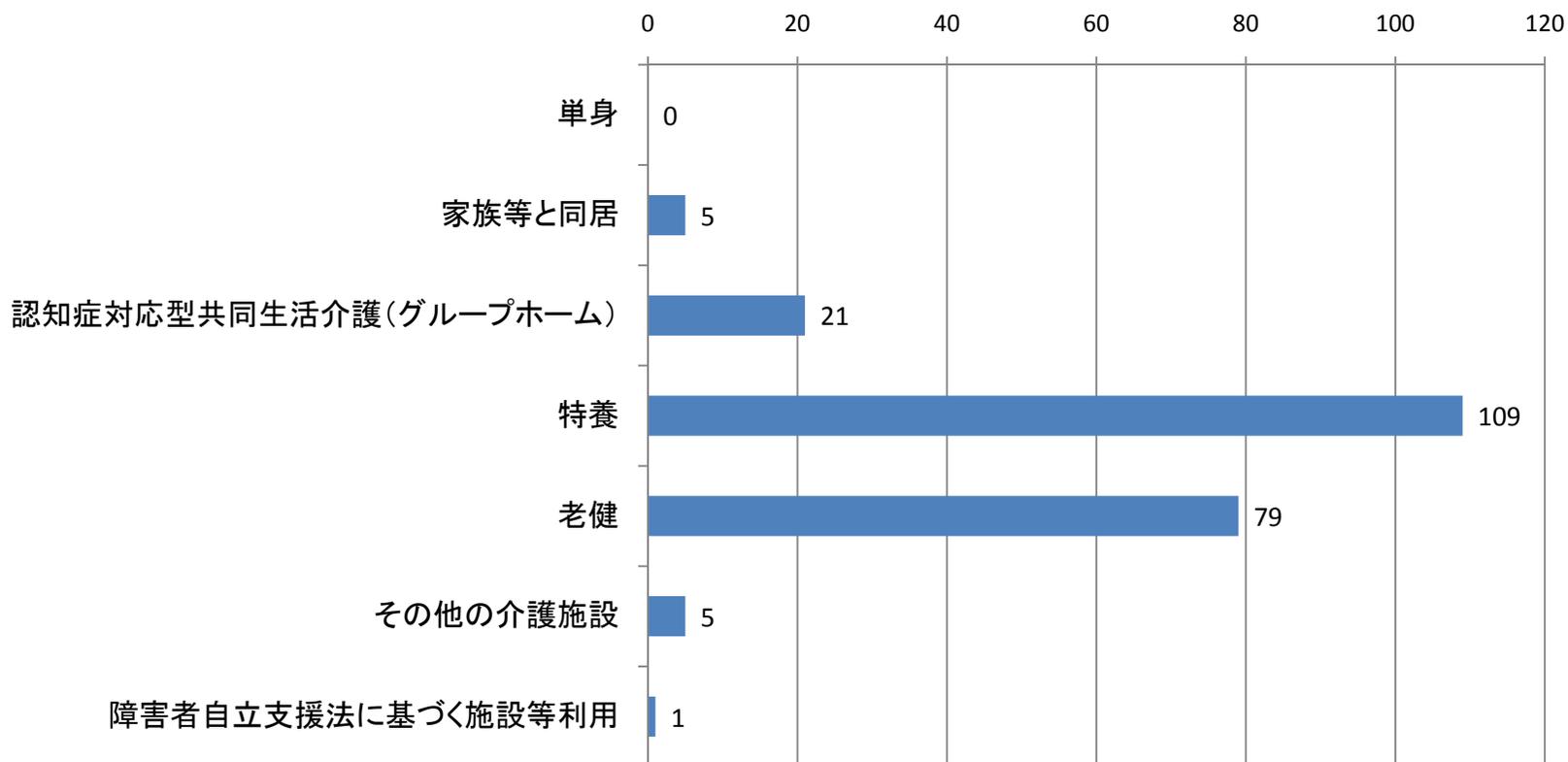
(N=454)

- 1. 現在の状態でも、居住先・支援が整えば退院は可能
- 2. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援などを新たに用意しなくても近い将来(6ヶ月以内)には退院が可能になる
- 3. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援が整えば近い将来(6ヶ月以内)には可能になる
- 4. 状態の改善が見込まれず、居住先・支援を整えても近い将来(6ヶ月以内)の退院の可能性はない



問25 問24で1,あるいは3と回答した人のうち、退院出来ると仮定した時、適切と考えられる「生活・療養の場」
(複数回答可) (N=167)

単身	0	0.0%
家族等と同居	5	3.0%
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	21	12.6%
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	109	65.3%
介護老人保健施設(老健)	79	47.3%
その他の介護施設(有料老人ホーム、軽費老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅など)	5	3.0%
障害者自立支援法に基づく施設等利用(ケアホーム、グループホームなど)	1	0.6%



※33人は、特養と老健を重複して回答

問26 問24で1,あるいは3と回答した人のうち、退院後に必要な支援

(N=167)

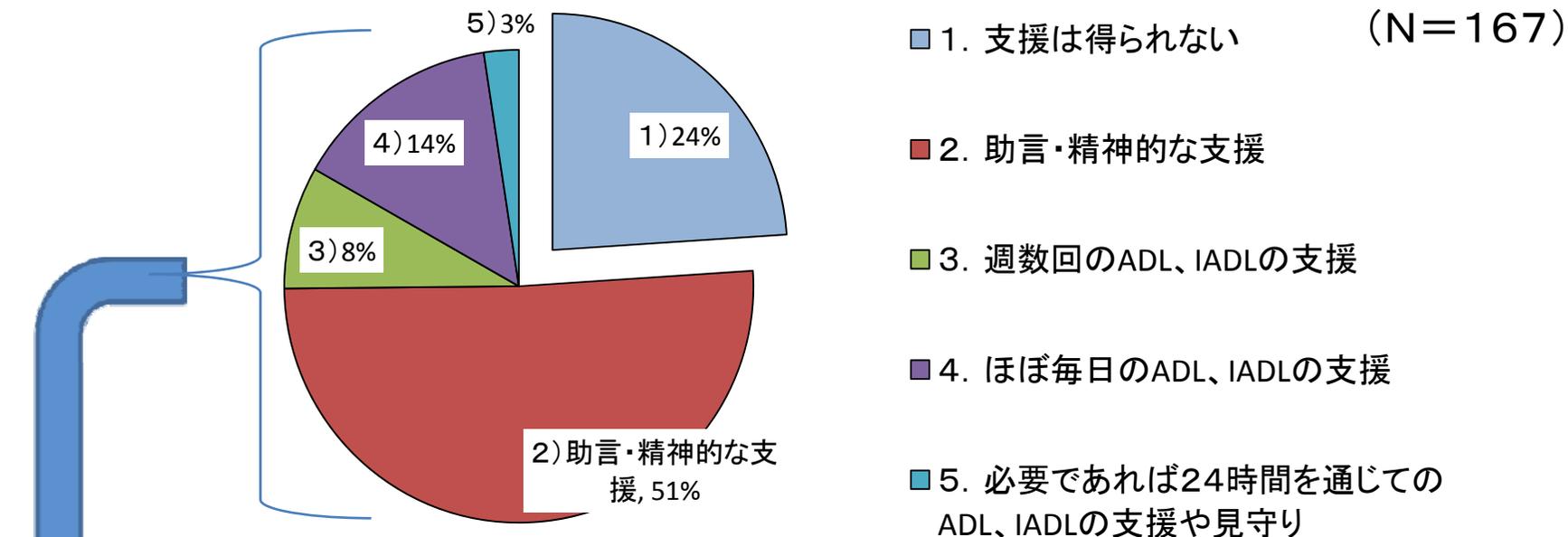
1番目に必要な支援		
精神科の定期的な通院	53人	31.7%
小規模多機能型居宅介護	38人	22.8%
自宅を訪問して行われる支援	11人	6.6%
訪問診療	4人	2.4%
短期入所をして行われる支援	4人	2.4%

2番目に必要な支援		
身体的リハビリテーション	33人	19.8%
短期入所をして行われる支援	26人	15.6%
経済的支援	23人	13.8%
訪問診療	20人	12.0%
精神科の定期的な通院	19人	11.4%

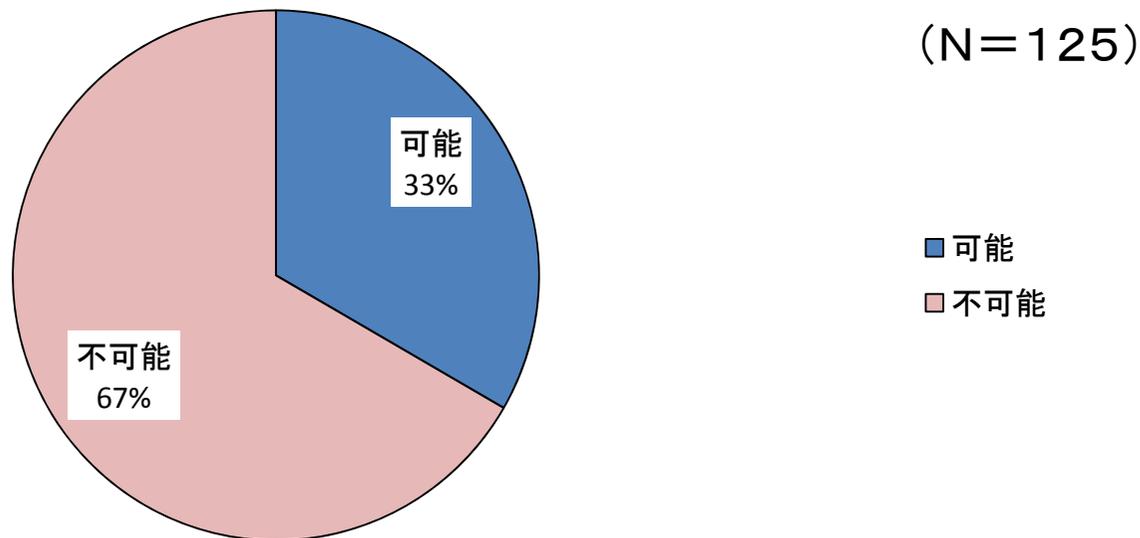
3番目に必要な支援		
自宅以外の場所に通って行われる支援	22人	13.2%
訪問診療	22人	13.2%
経済的支援	15人	9.0%
精神科の定期的な通院	12人	7.2%
身体的リハビリテーション	8人	4.8%

4番目に必要な支援		
精神科以外の定期的な通院	11人	6.6%
重度認知症デイケア	11人	6.6%
身体的リハビリテーション	9人	5.4%
成年後見制度等の活用	9人	5.4%
自宅以外の場所に通って行われる支援	6人	3.6%

問27 問24で1, あるいは3と回答した人のうち、仮に退院するとした場合、家族や友人などから得られる支援の程度

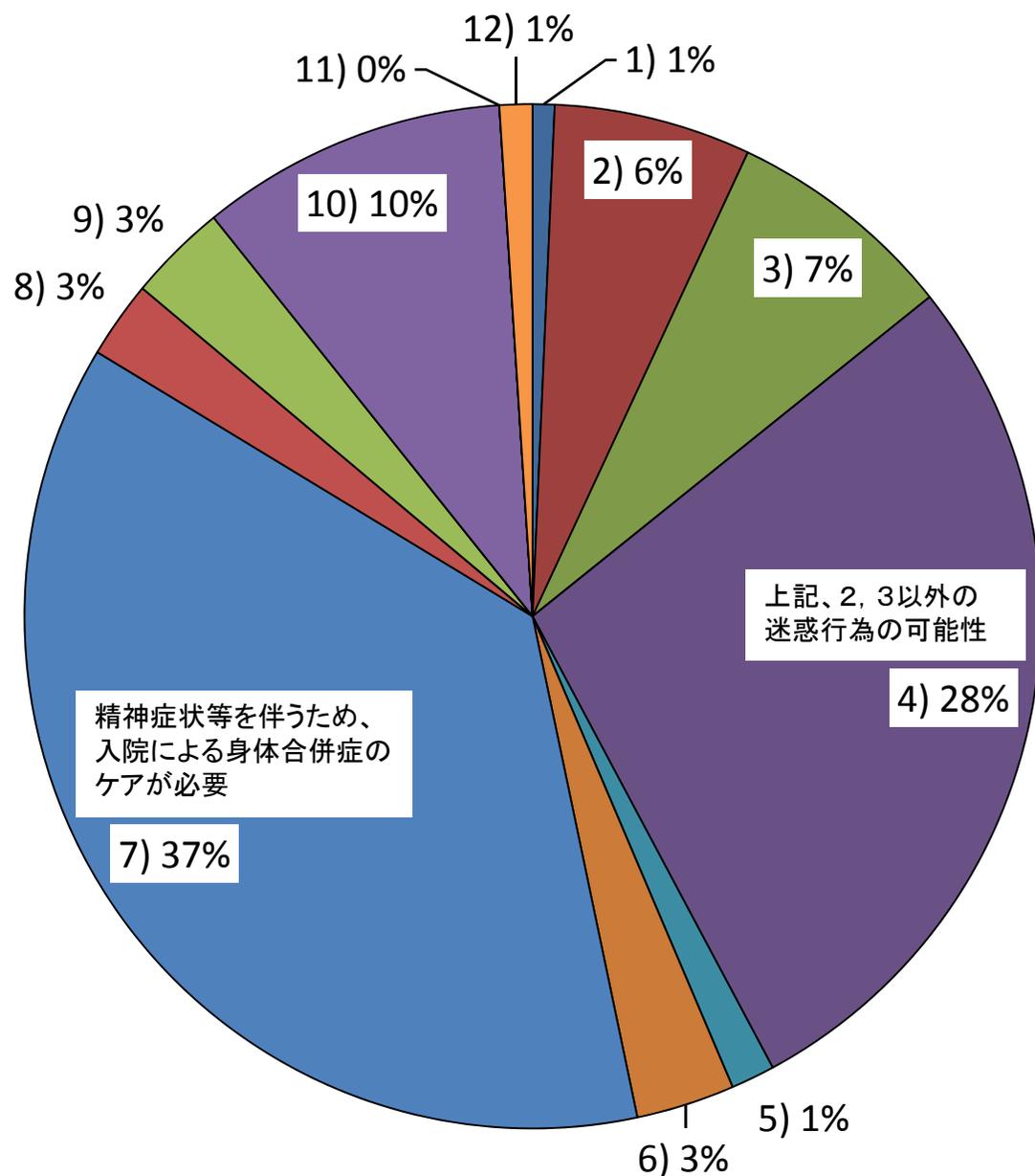


付問27-1 問27で2, 3, 4, 5と回答した人のうち、回答した支援が得られれば退院可能か



問28 問24で4の回答をした人のうち、退院の可能性がない理由

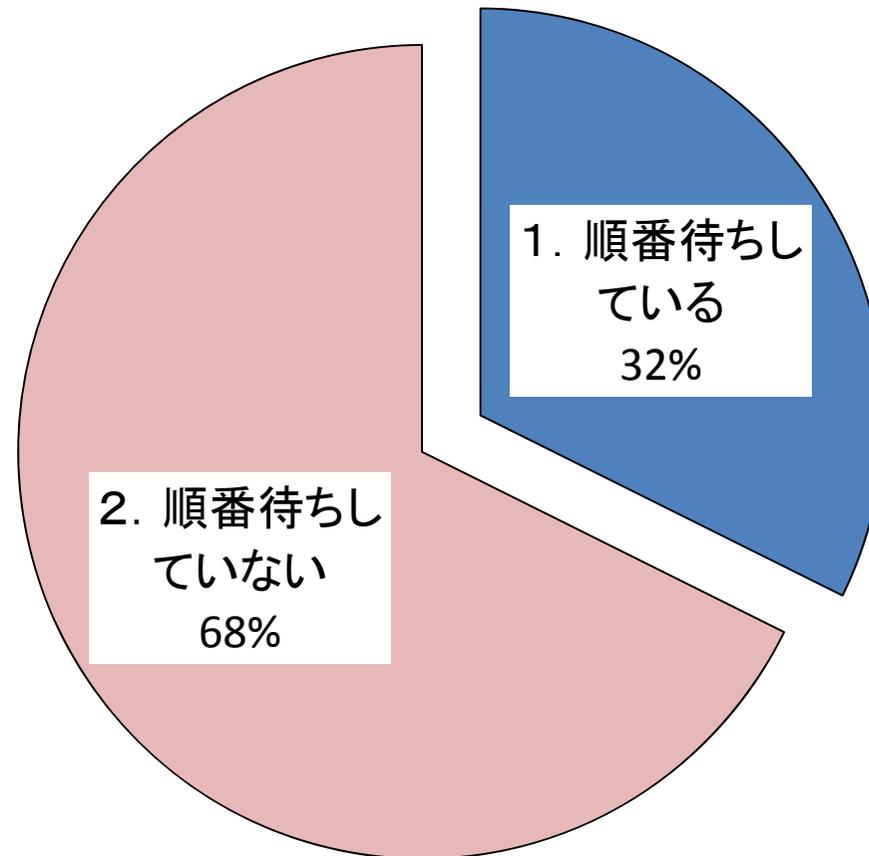
(N=283)



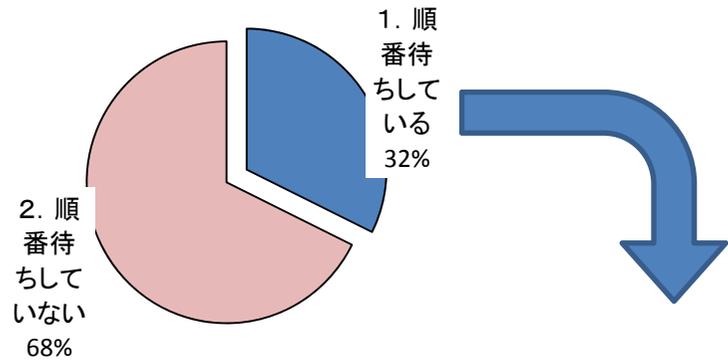
- 1. 自傷行為・自殺企図の可能性が高い
- 2. 他害行為の危険性が高い
- 3. 大声を出す可能性が高い
- 4. 上記、2、3以外の迷惑行為を起こす可能性が高い
- 5. 治療・服薬への心理的抵抗が強い
- 6. 陽性症状(幻覚・妄想)が重度
- 7. 精神症状等を伴うため、入院による身体合併症の医療ケアが必要
- 8. 生命維持が必要な程度の身体合併症を伴う(気管切開・IVHなど)
- 9. 本人の症状は落ち着いているが、家族からの退院の了解が得られない
- 10. 介護が必要だが、本人の症状が落ち着かず、介護の支援があったとしても生活が組み立てられない
- 11. 経済的な理由
- 12. その他

問29 現在転院・入所の順番待ちをしているか

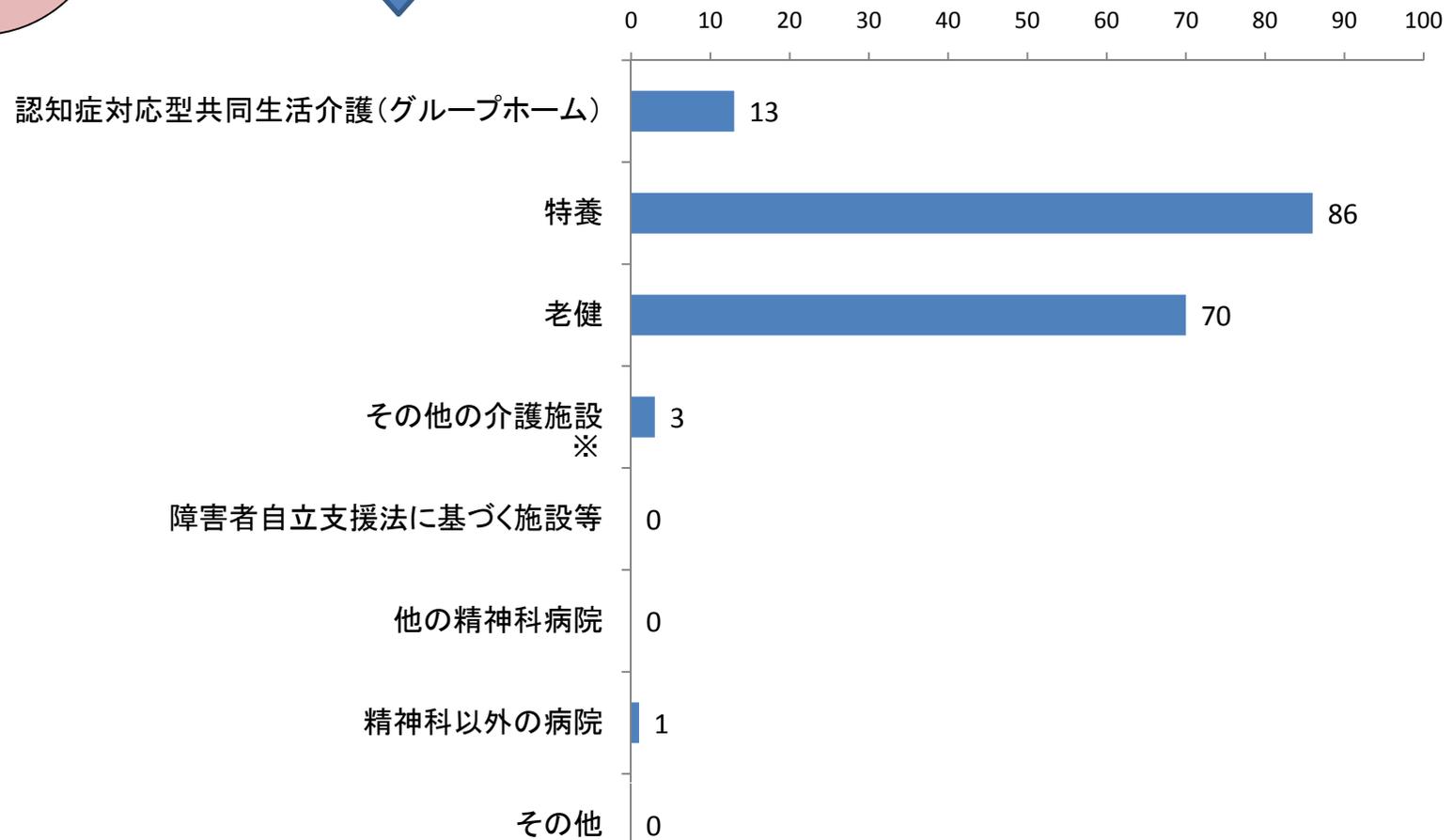
(N=452)



付問29-1 問29で1の回答をした人のうち、どのような施設を順番待ちしているか



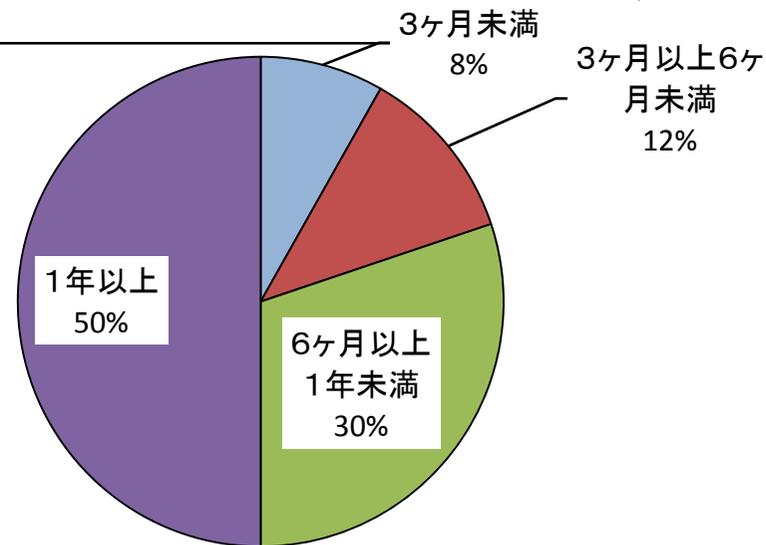
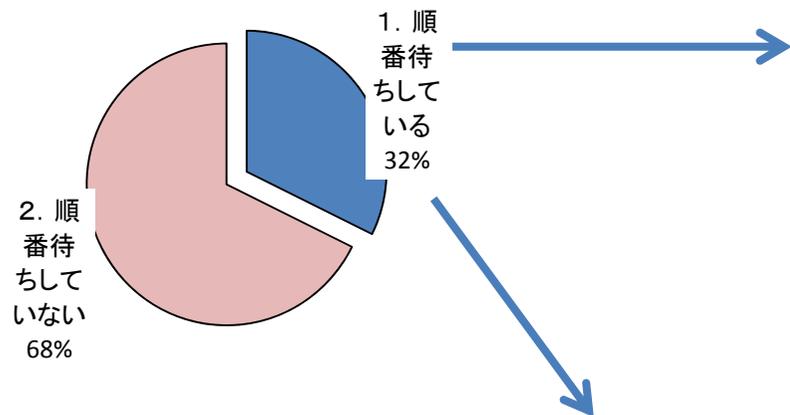
(複数回答可) (N=146)



※その他の介護施設(有料老人ホーム、軽費老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅など)

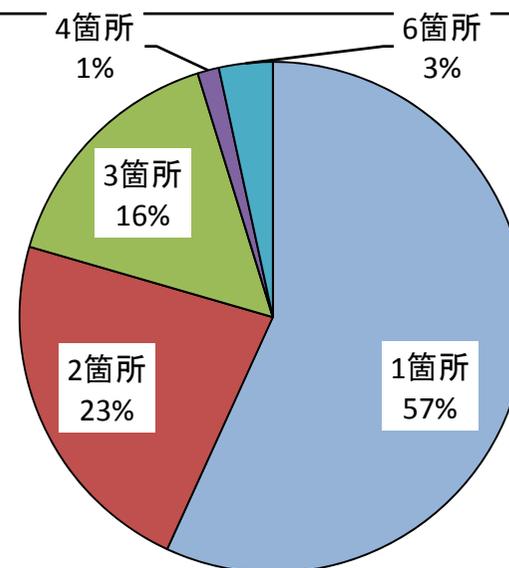
付問29-2 問29で1の回答をした人のうち、転院・入所の順番待ち期間

(N=146)



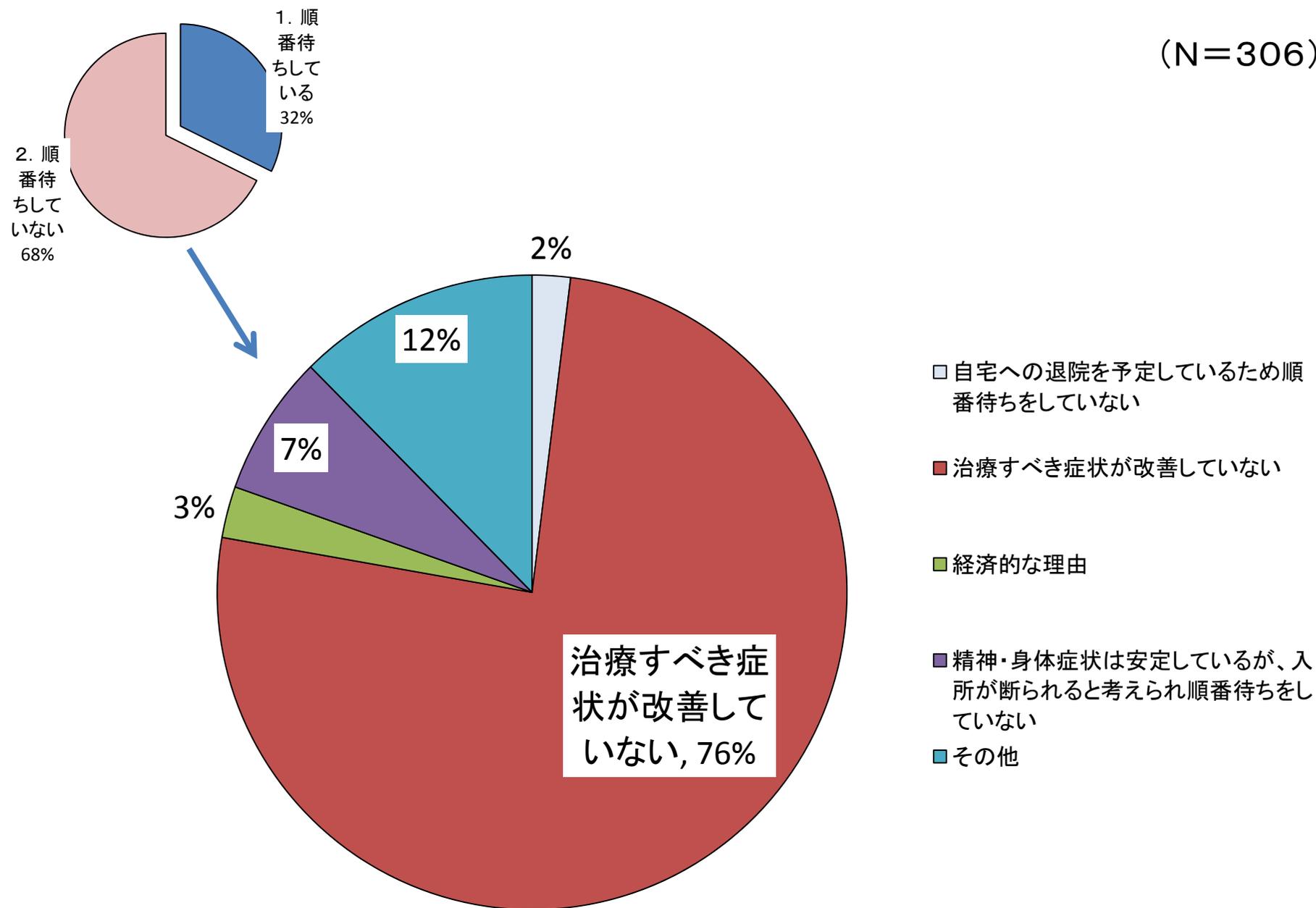
付問29-3 問29で1の回答をした人のうち、転院・入所の順番待ちの施設・医療機関の予約箇所数

(N=146)



付問29-4 問29で2の回答をした人のうち、順番待ちをしていない理由

(N=306)

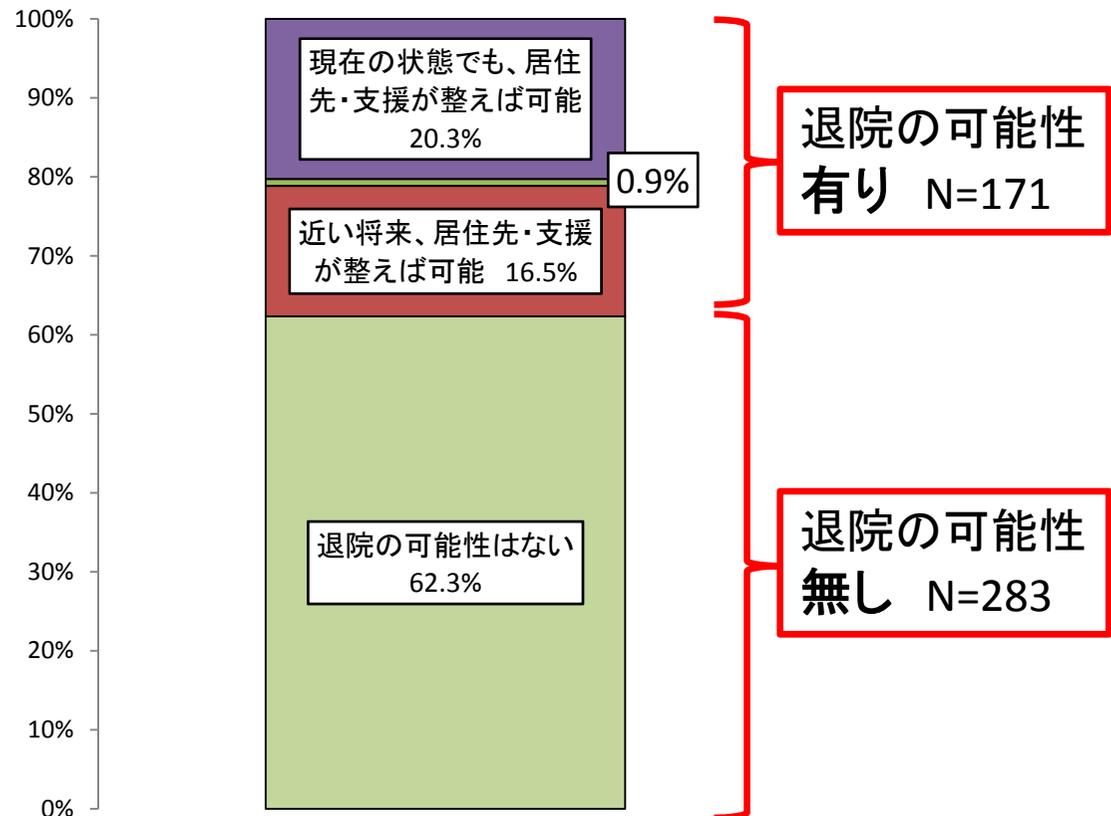


クロス集計

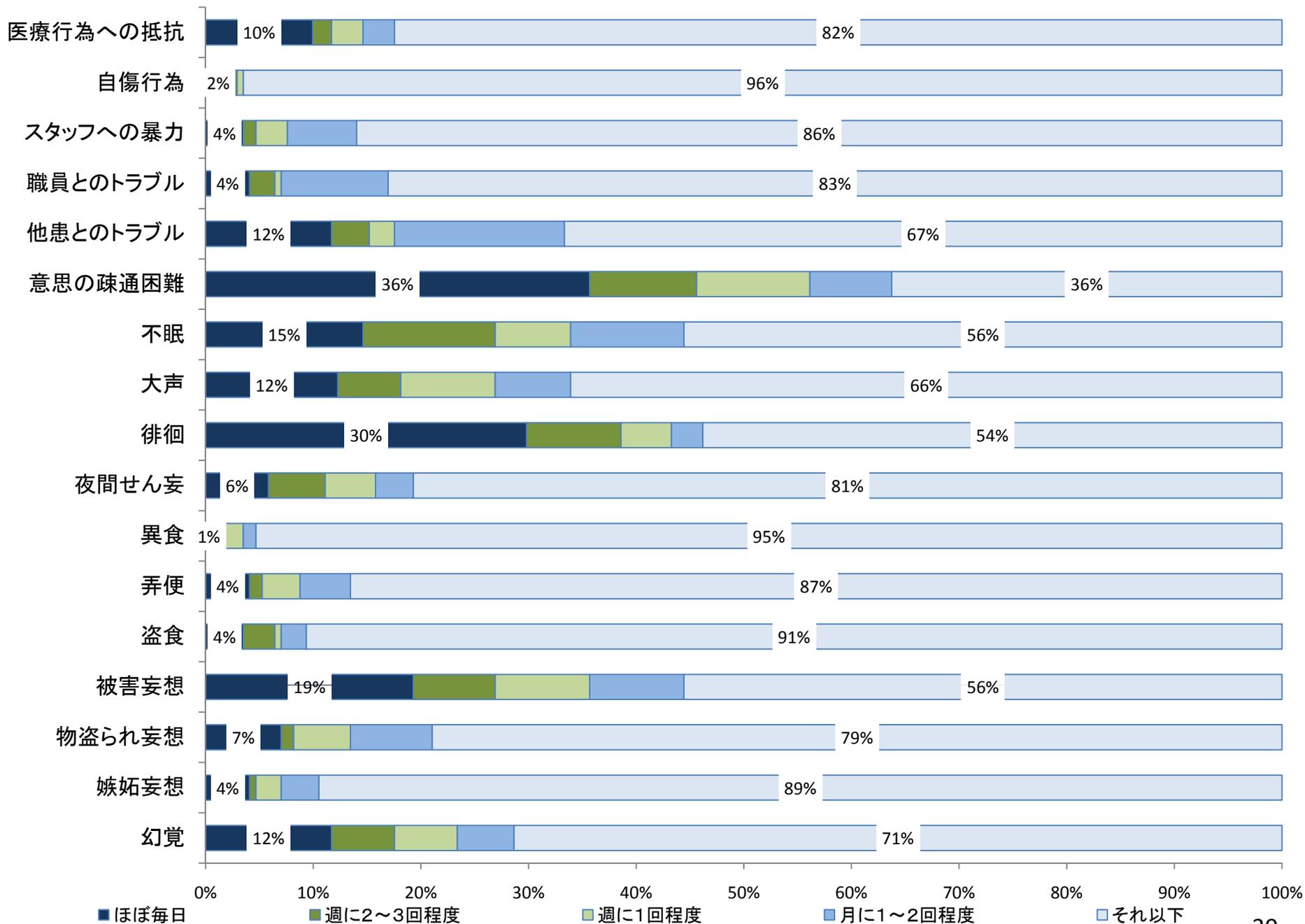
退院可能性別クロス集計

問24(居住先・支援が整った場合の退院の可能性)とのクロス集計

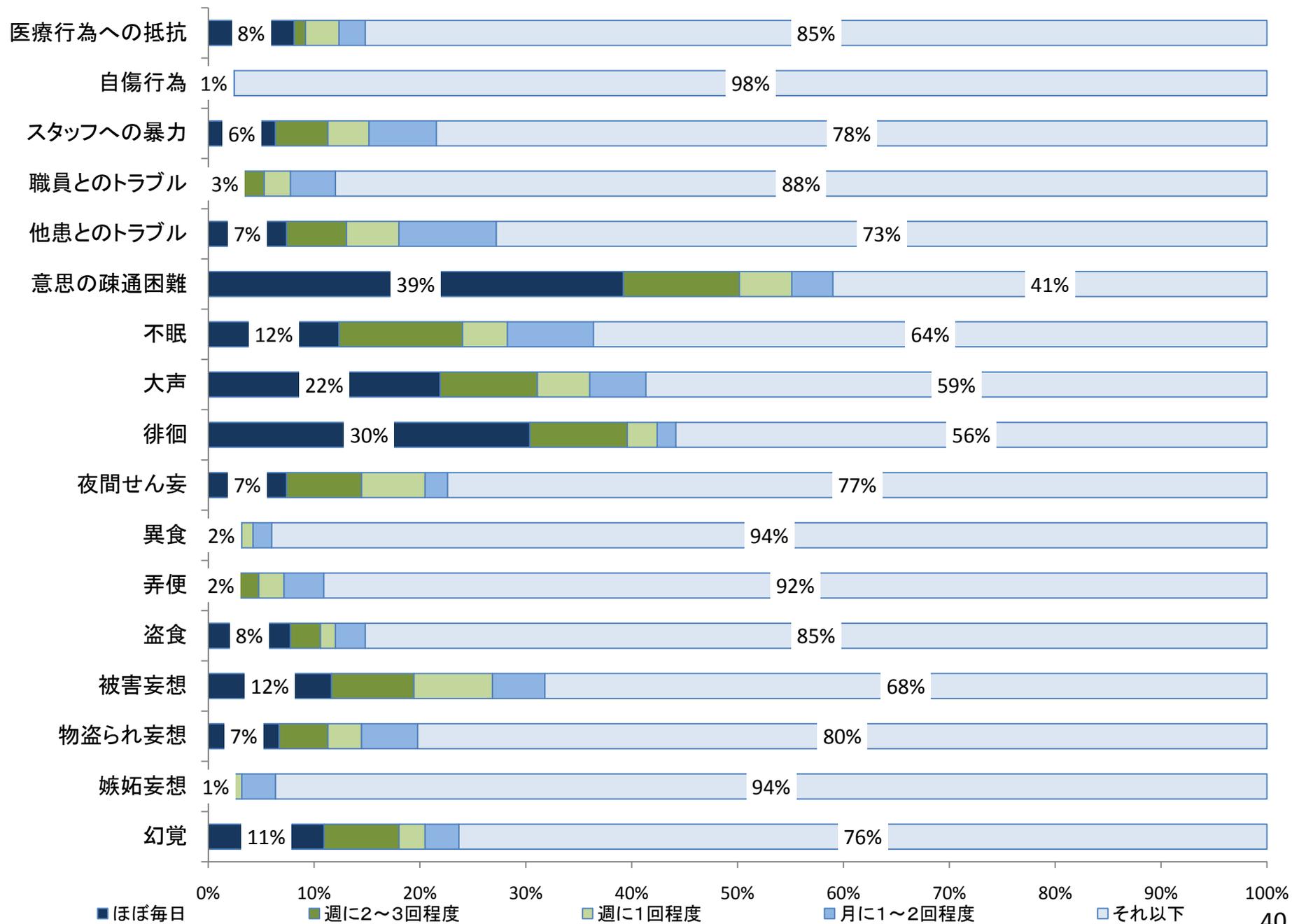
- 1. 現在の状態でも、居住先・支援が整えば退院は可能
- 2. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援などを新たに用意しなくても近い将来(6ヶ月以内)には退院が可能になる
- 3. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援が整えば近い将来(6ヶ月以内)には可能になる
- 4. 状態の改善が見込まれず、居住先・支援を整えても近い将来(6ヶ月以内)の退院の可能性はない



問24で **1、2、3** のいずれかの回答をした人と問8のクロス集計 (N=171)



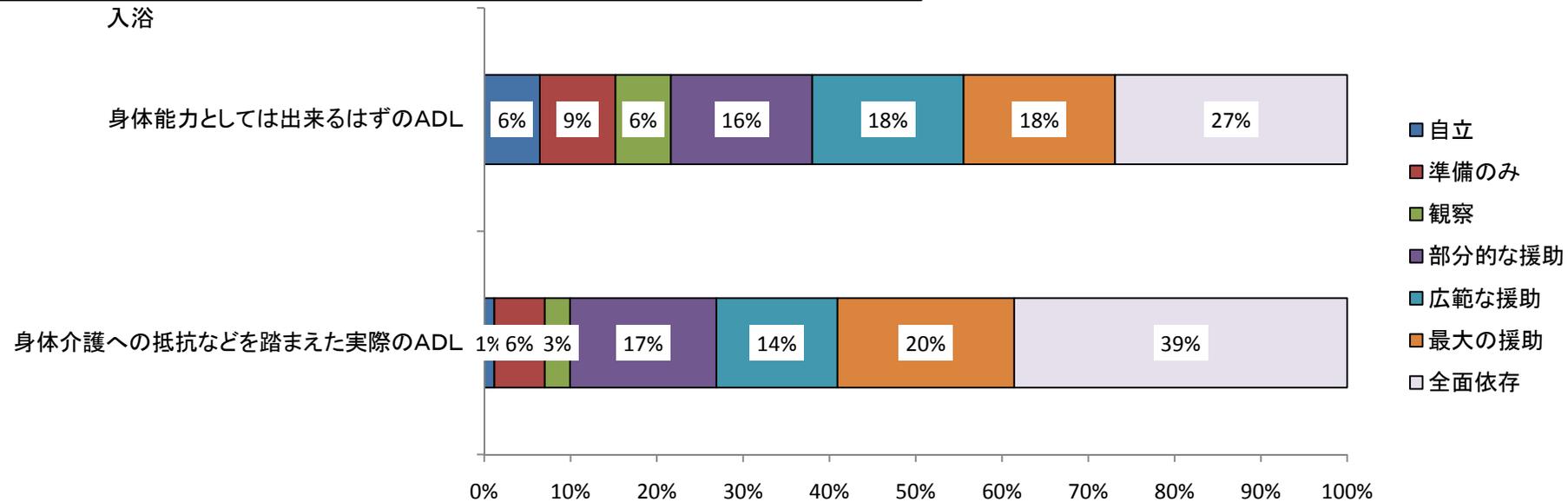
問24で **4の回答**をした人と問8のクロス集計 (N=283)



問9(調査日から過去3日間のADL)と問24とのクロス集計(1)

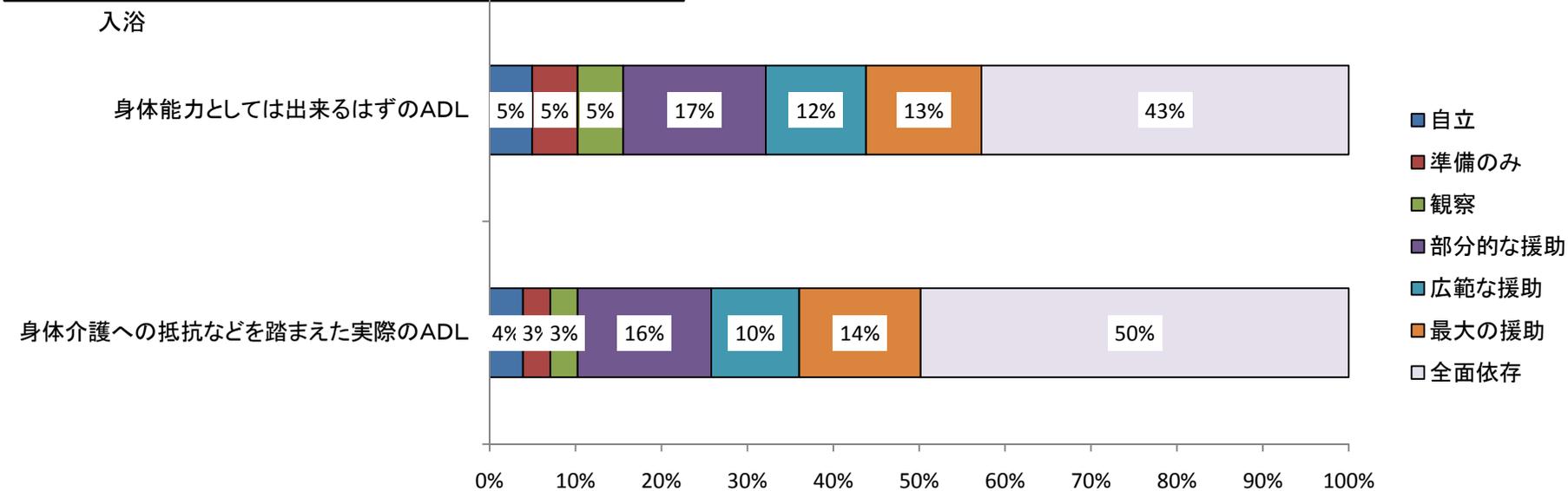
(N=171)

問24で1, 2, 3のいずれかの回答をした人と問9e(入浴)とのクロス集計



問24で4の回答をした人と問9e(入浴)とのクロス集計

(N=283)

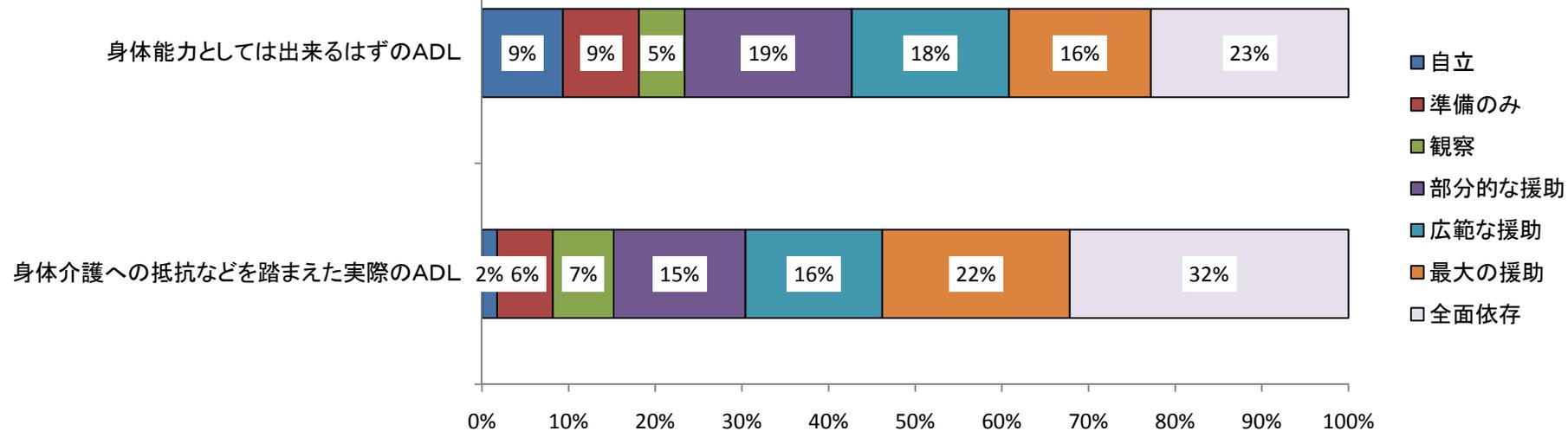


問9(調査日から3日間のADL)と問24とのクロス集計(2)

(N=171)

問24で1, 2, 3のいずれかの回答をした人と問9f(衣服の着脱)とのクロス集計

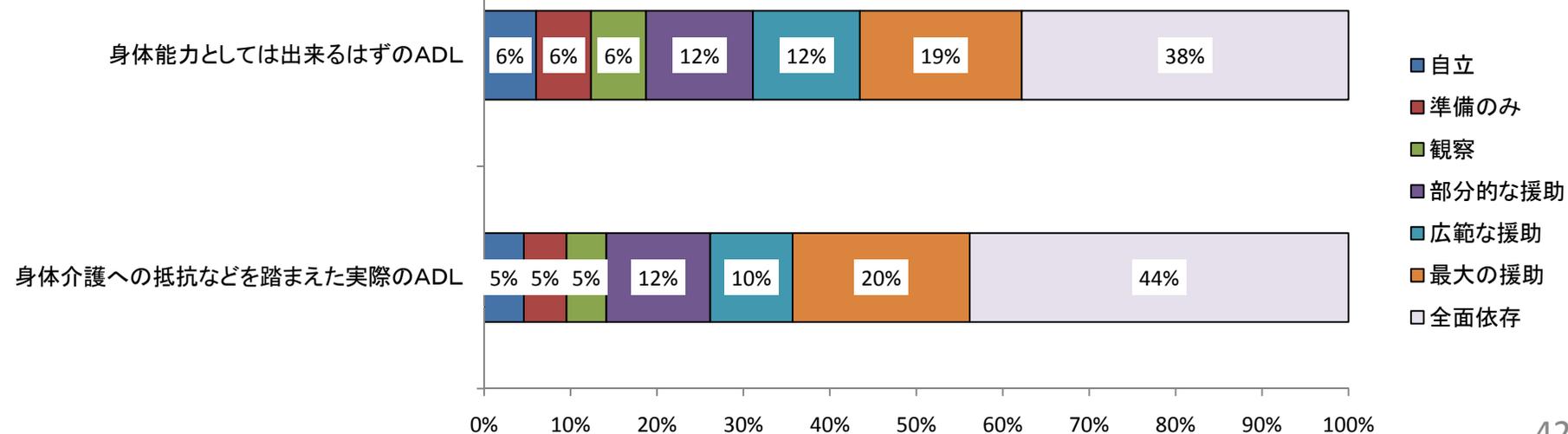
衣服の着脱



問24で4の回答をした人と問9f(衣服の着脱)とのクロス集計

(N=283)

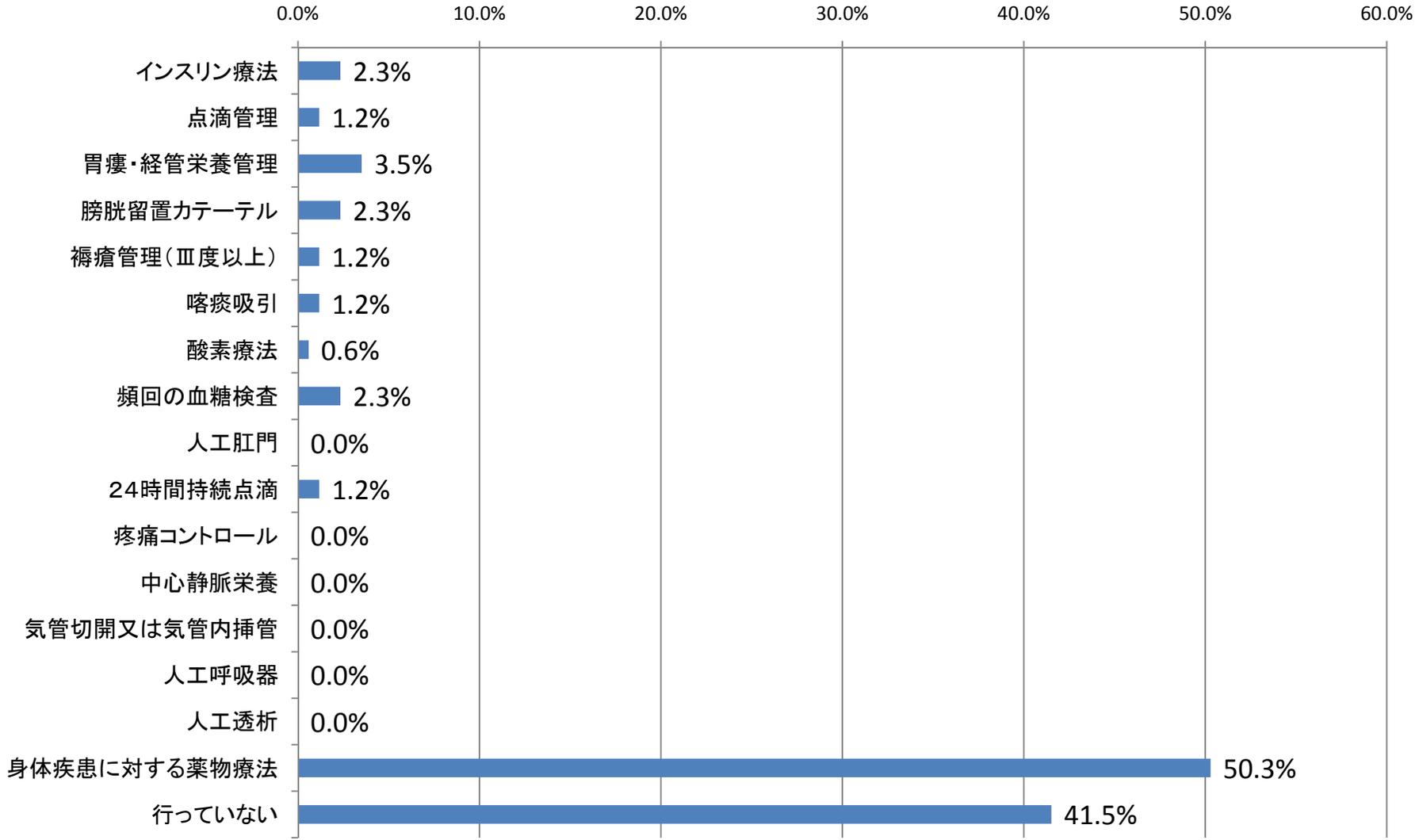
衣服の着脱



問12(調査日における対象者に行っている身体的管理)と問24のクロス集計(1)

問24で1, 2, 3のいずれかの回答をした人と問12とのクロス集計

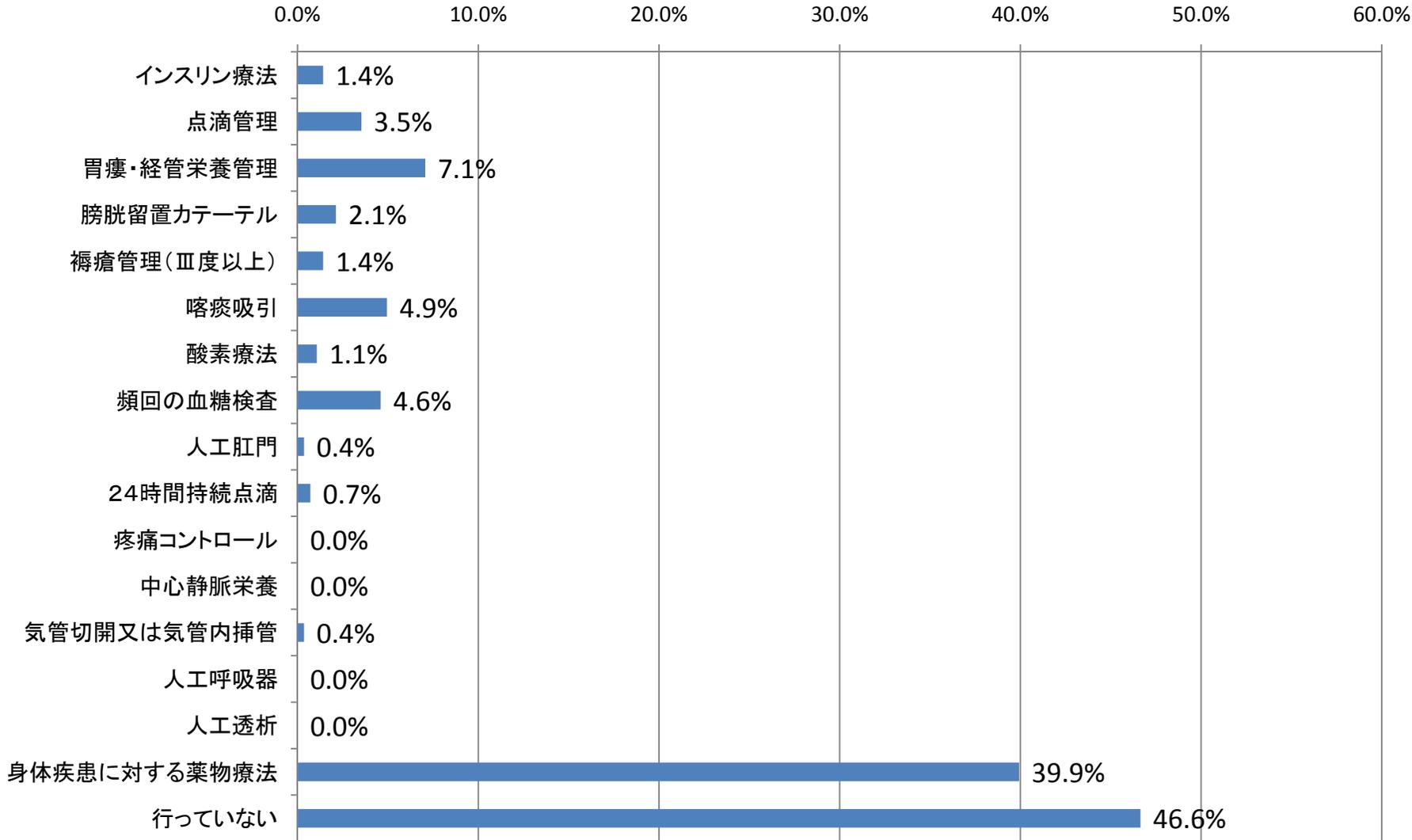
(複数回答可)(N=171)



問12(調査日における対象者に行っている身体的管理)と問24のクロス集計(2)

問24で4の回答をした人と問12とのクロス集計

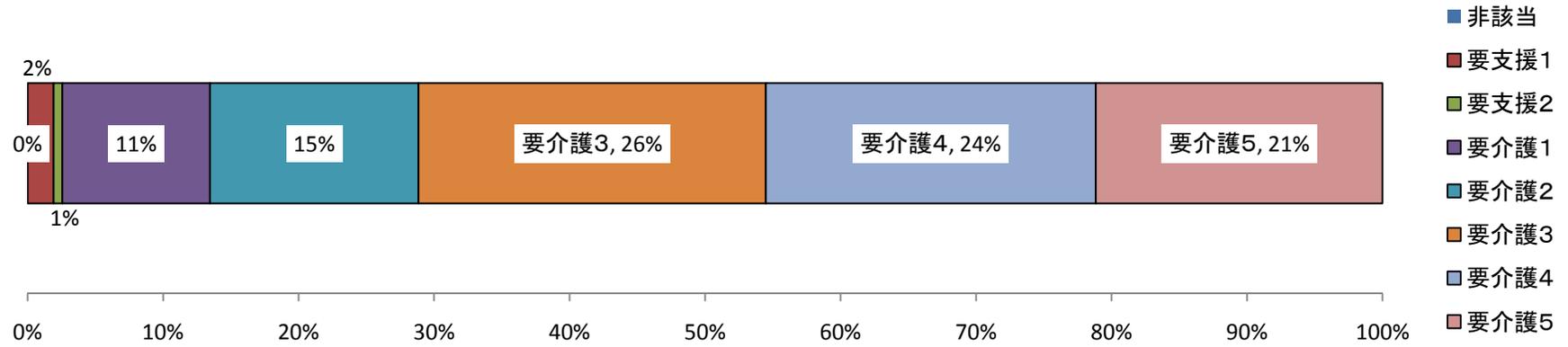
(複数回答可)(N=283)



問6(要介護認定)と問24のクロス集計

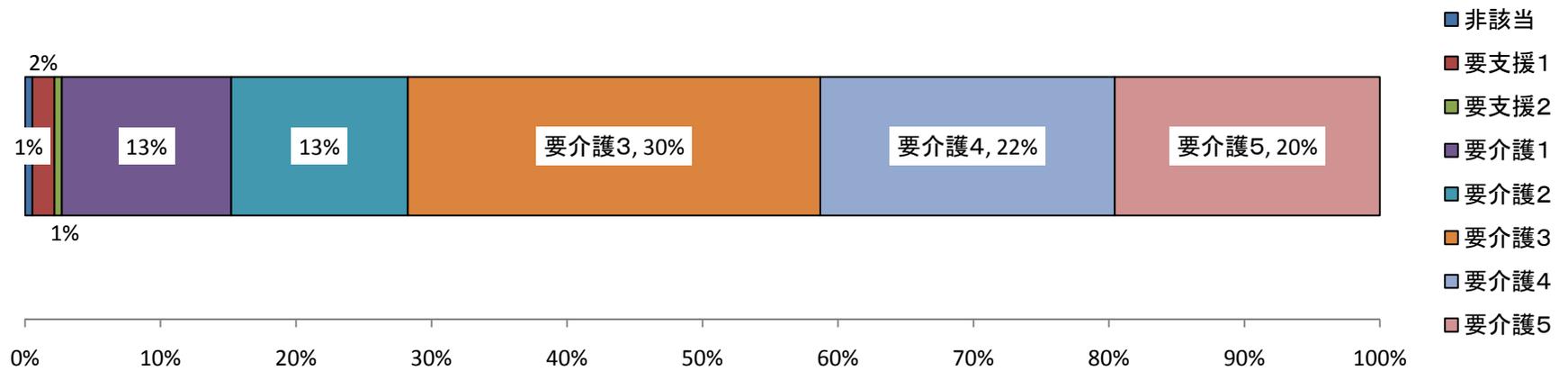
問24で1, 2, 3のいずれかの回答をした人と問6とのクロス集計【申請なしを除外して集計】

(N:156 = 171 - 15)



問24で4の回答をした人と問6とのクロス集計【申請なしを除外して集計】

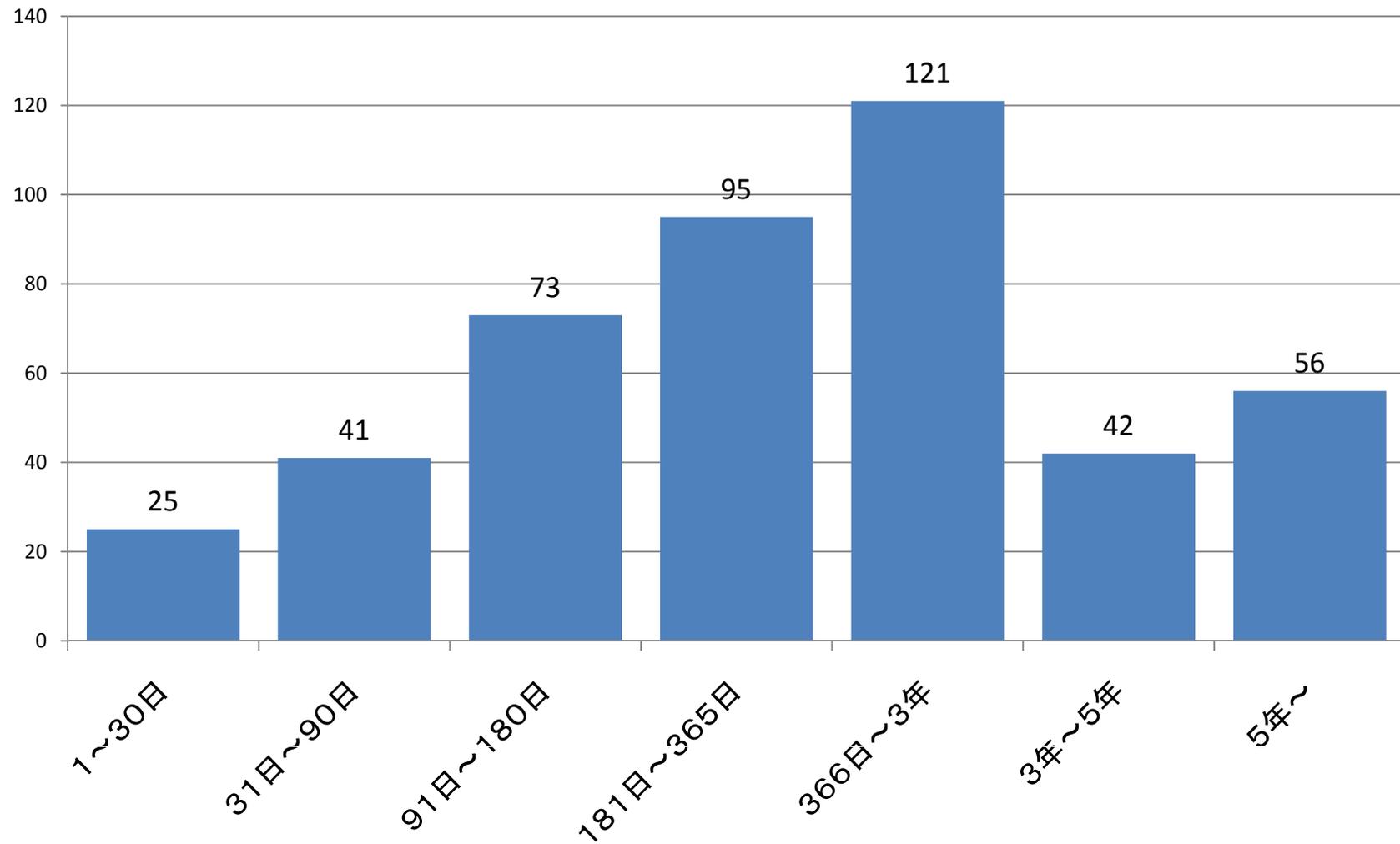
(N:184 = 282 - 98)



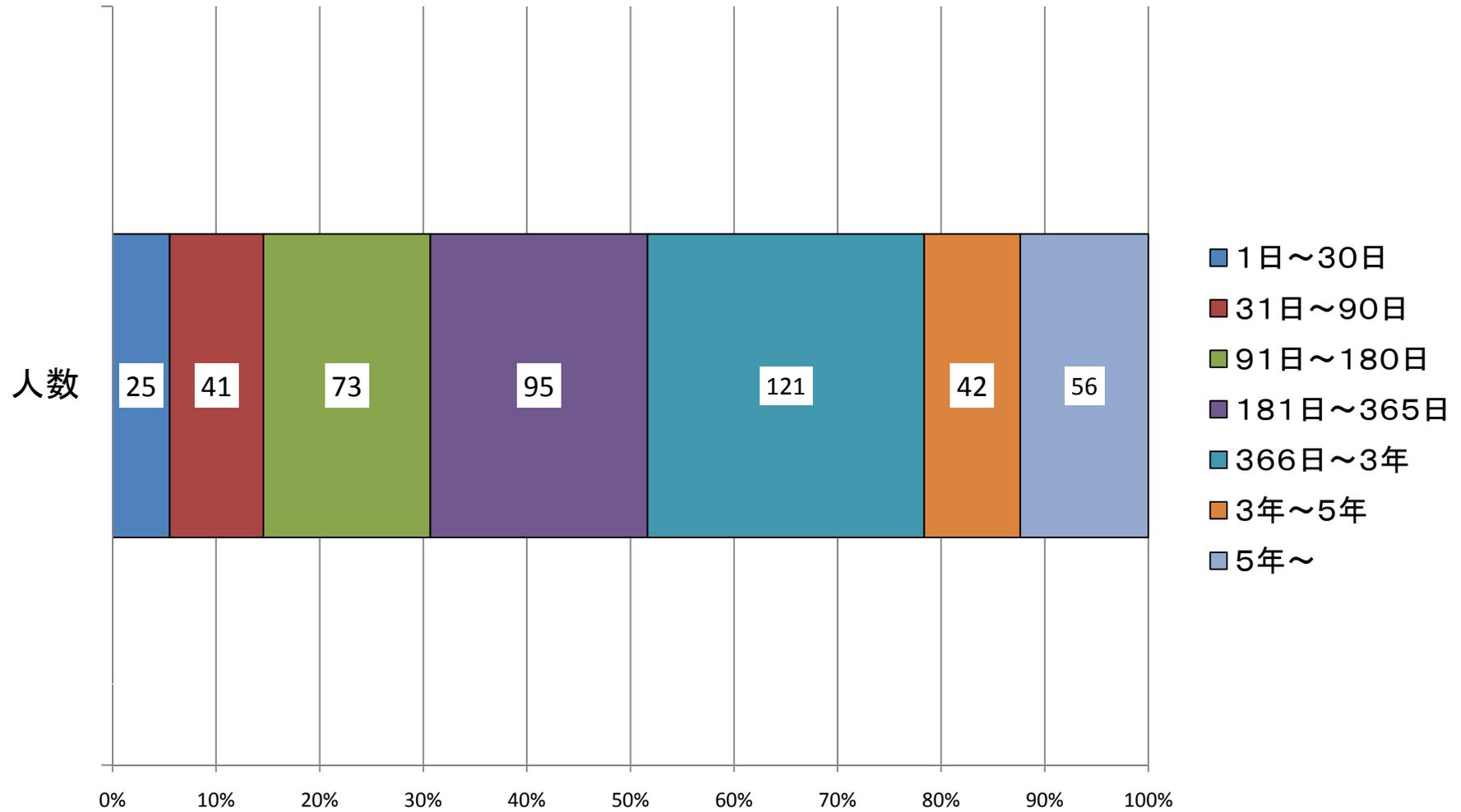
在院日数別入院患者数

在院日数別入院患者数

在院日数	1日～30日	31日～90日	91日～180日	181日～365日	366日～3年	3年～5年	5年～
人数	25	41	73	95	121	42	56



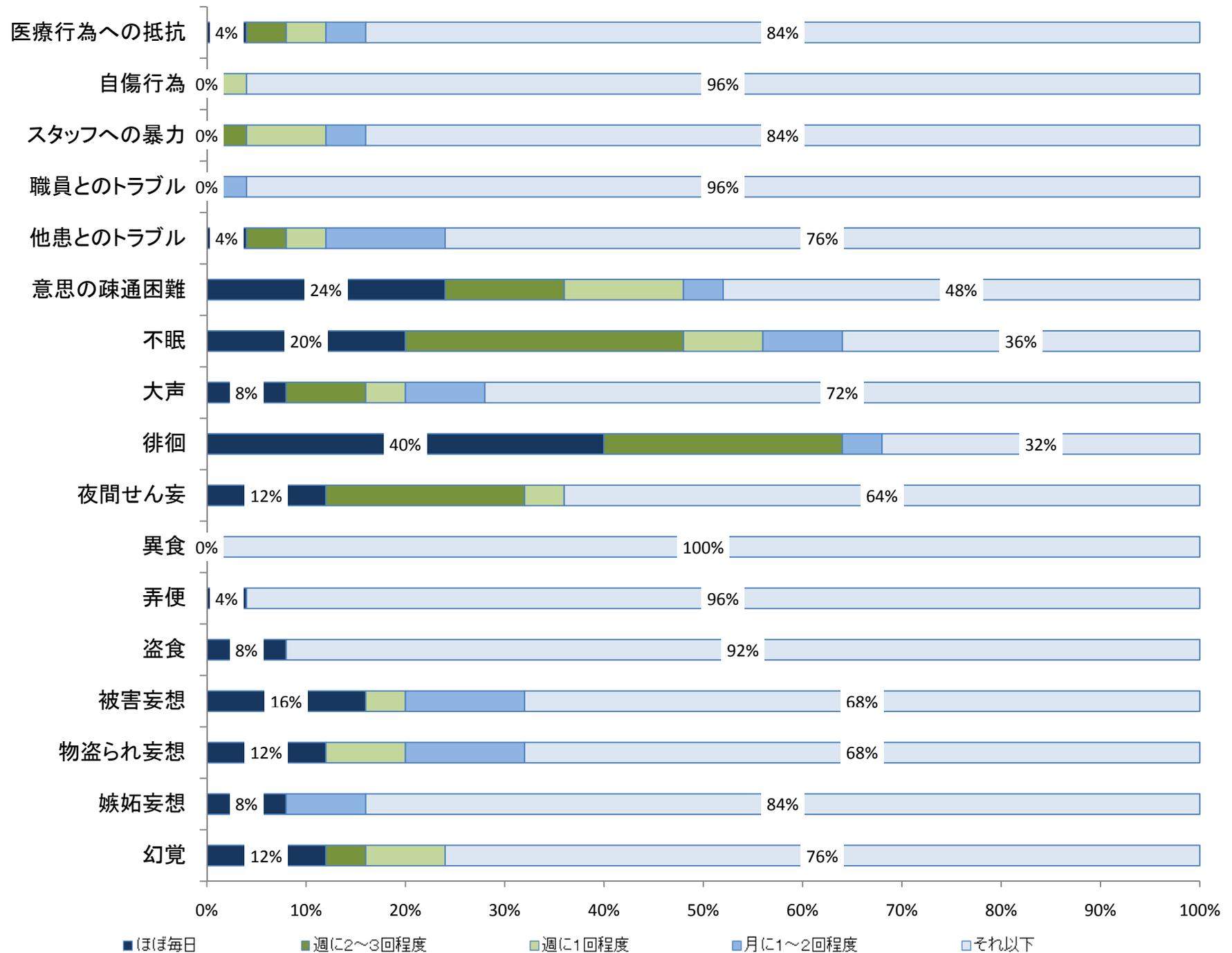
在院日数別の入院患者数割合



在院日数別クロス集計

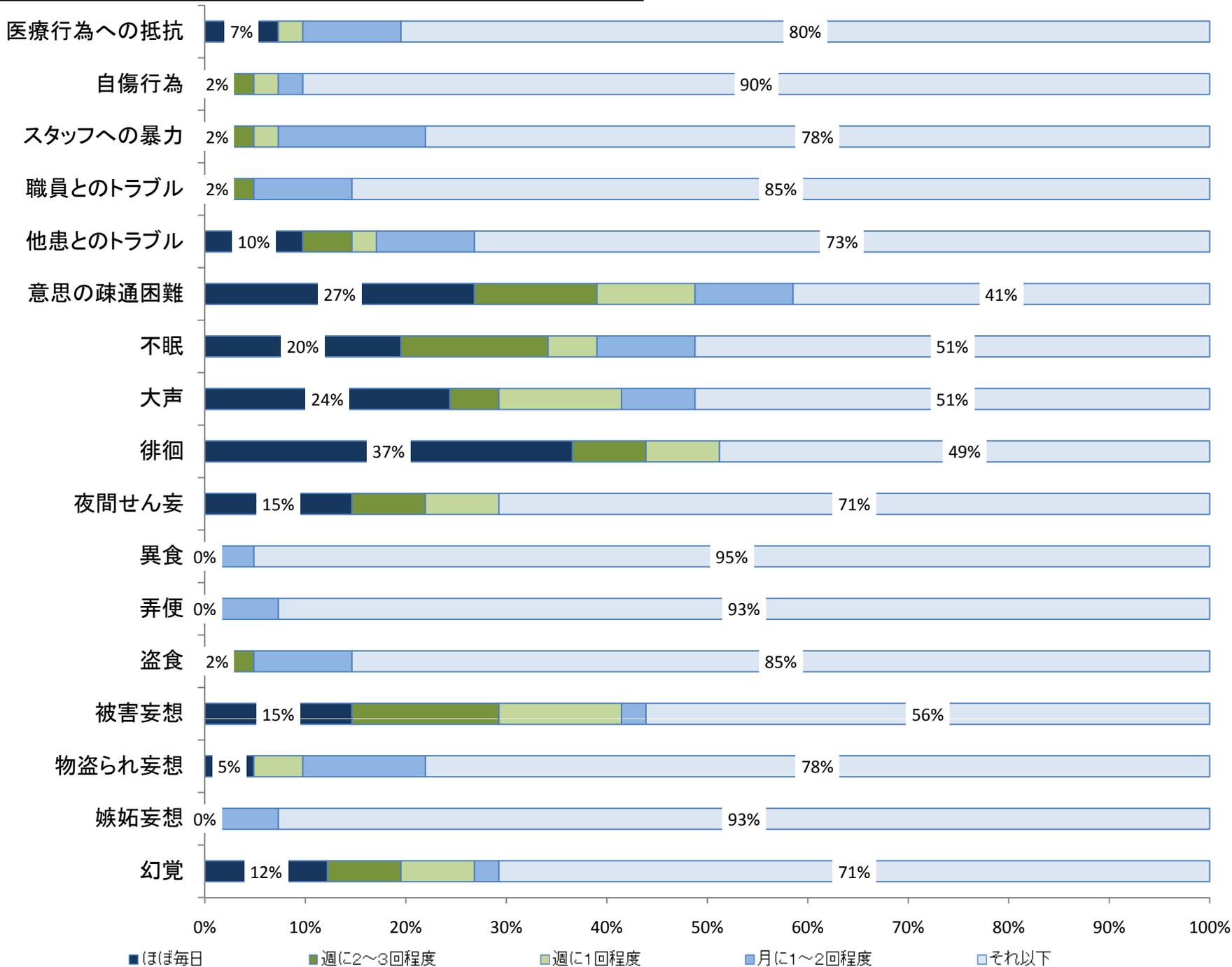
調査日から過去1ヶ月間の精神症状等の発生頻度(1)

(在院日数 1日~30日 N=25)



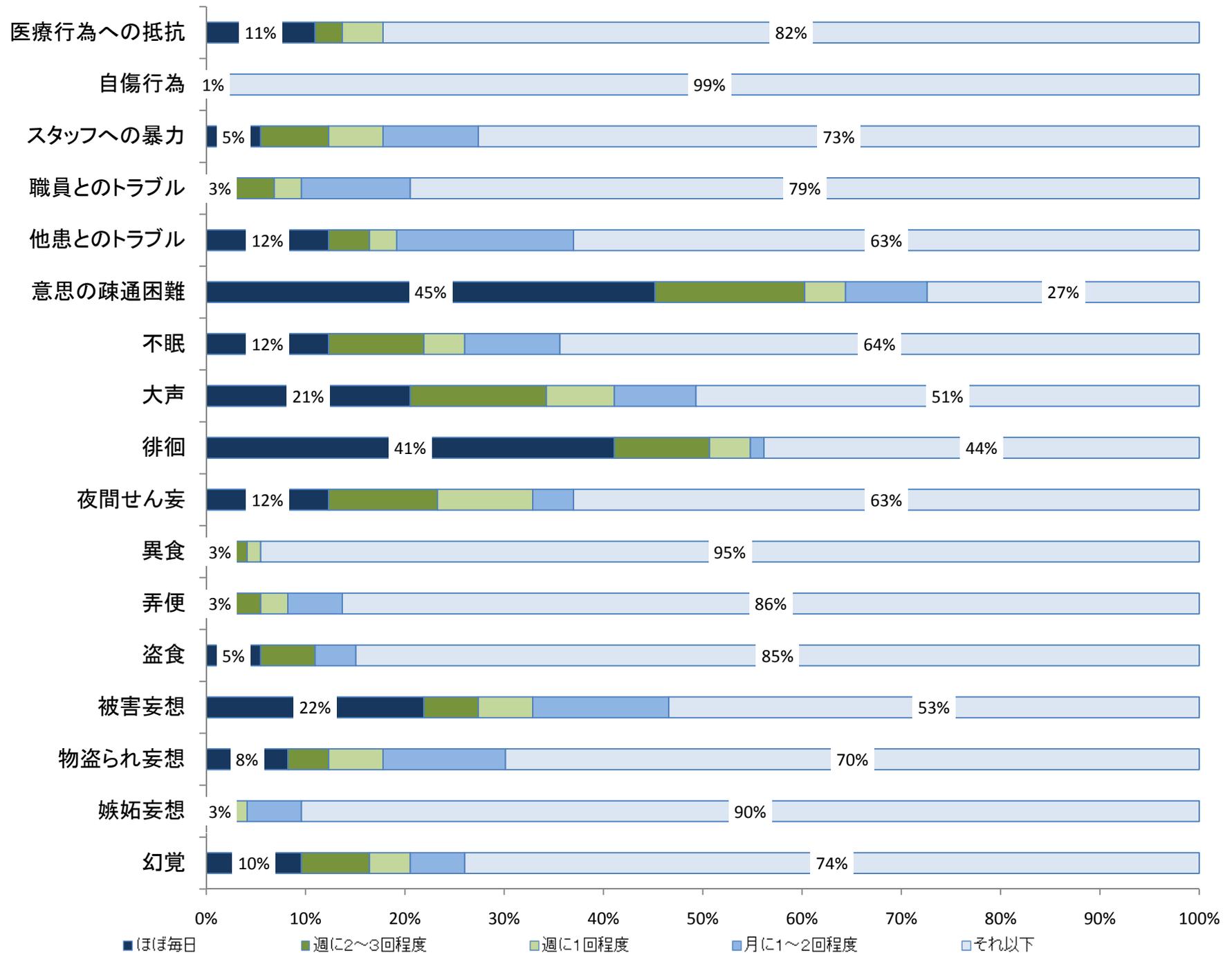
調査日から過去1ヶ月間の精神症状等の発生頻度(2)

(在院日数 31日~90日 N=41)



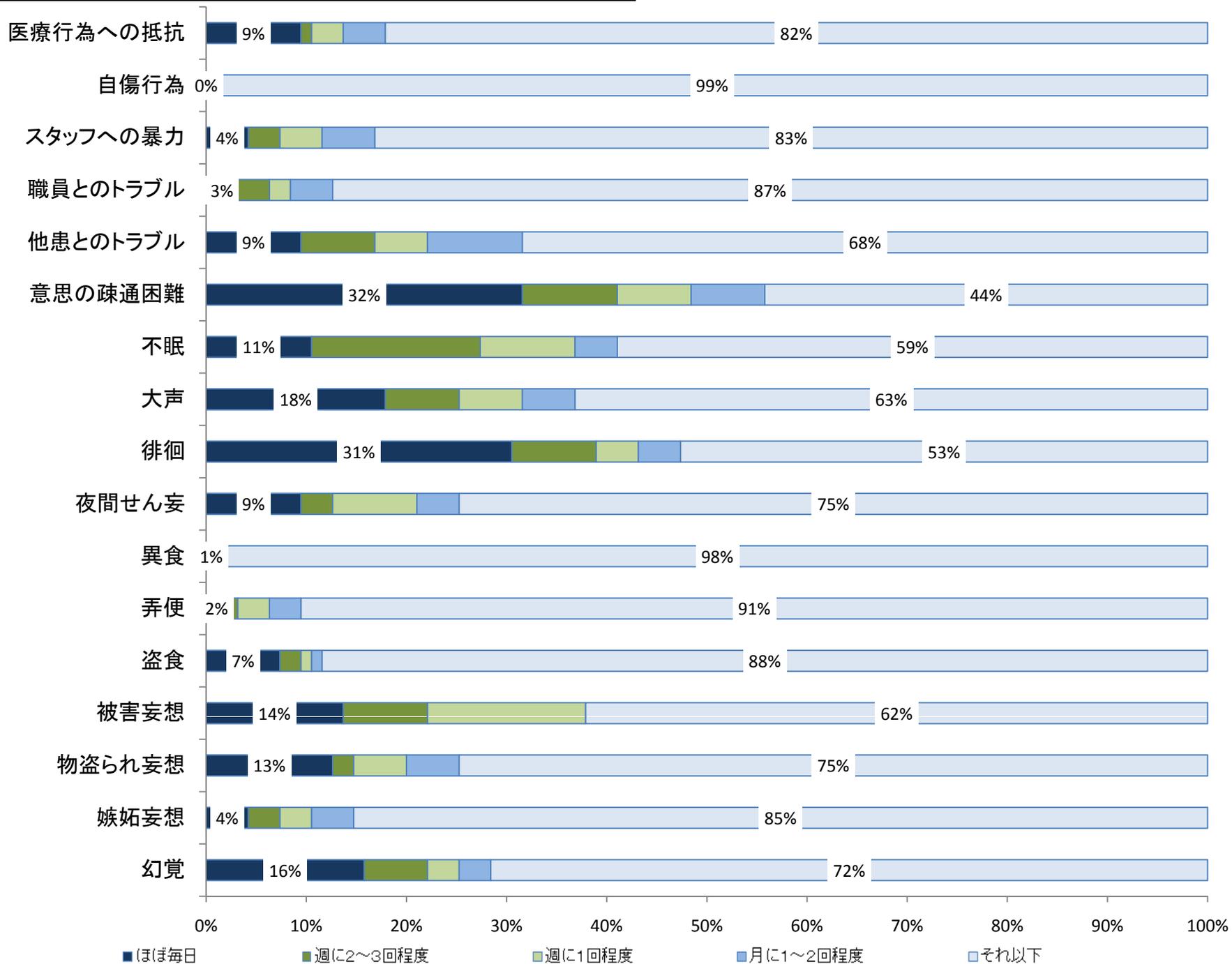
調査日から過去1ヶ月間の精神症状等の発生頻度(3)

(在院日数 91日~180日 N=73)



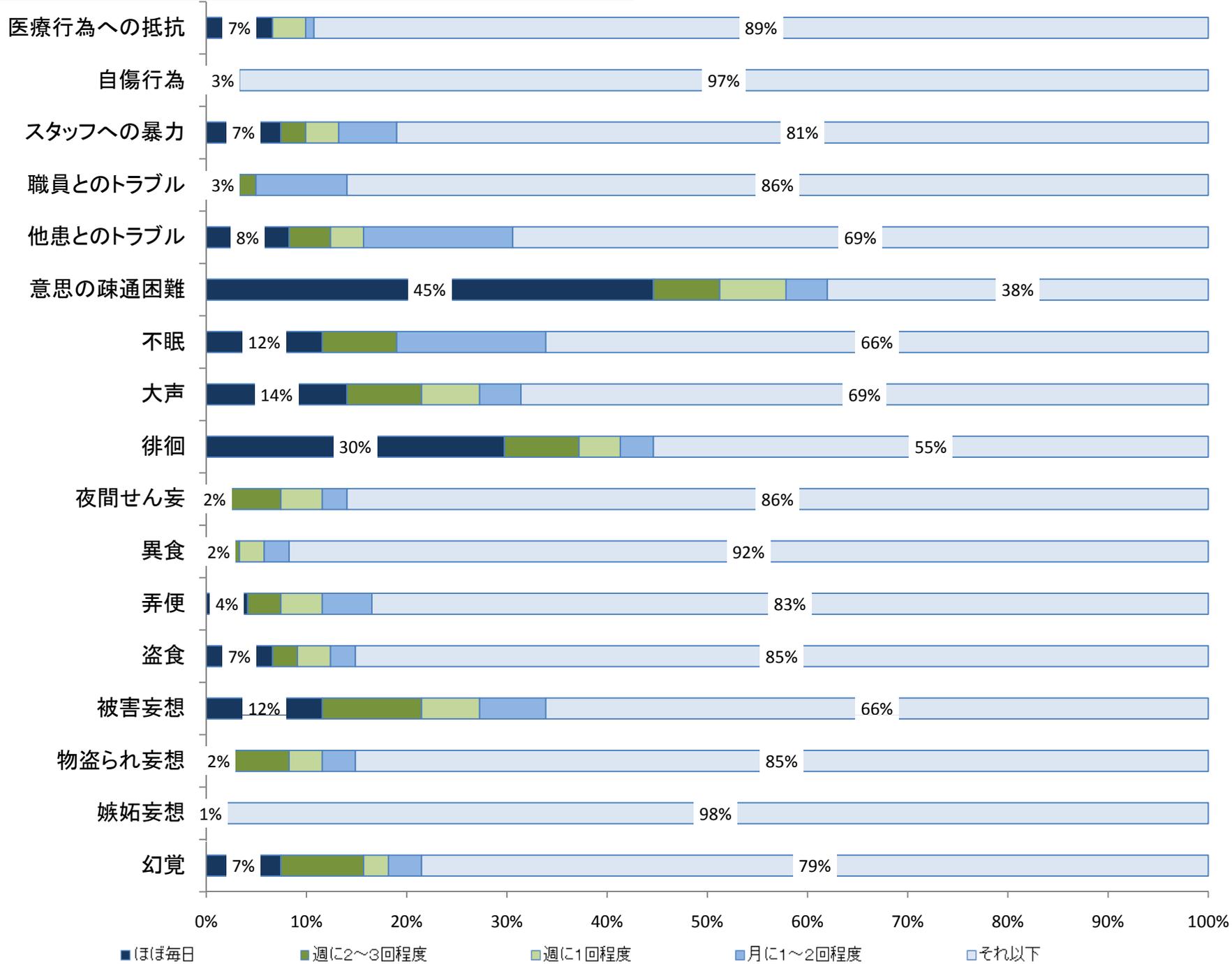
調査日から過去1ヶ月間の精神症状等の発生頻度(4)

(在院日数 181日~365日 N=95)



調査日から過去1ヶ月間の精神症状等の発生頻度(5)

(在院日数 366日~3年 N=121)

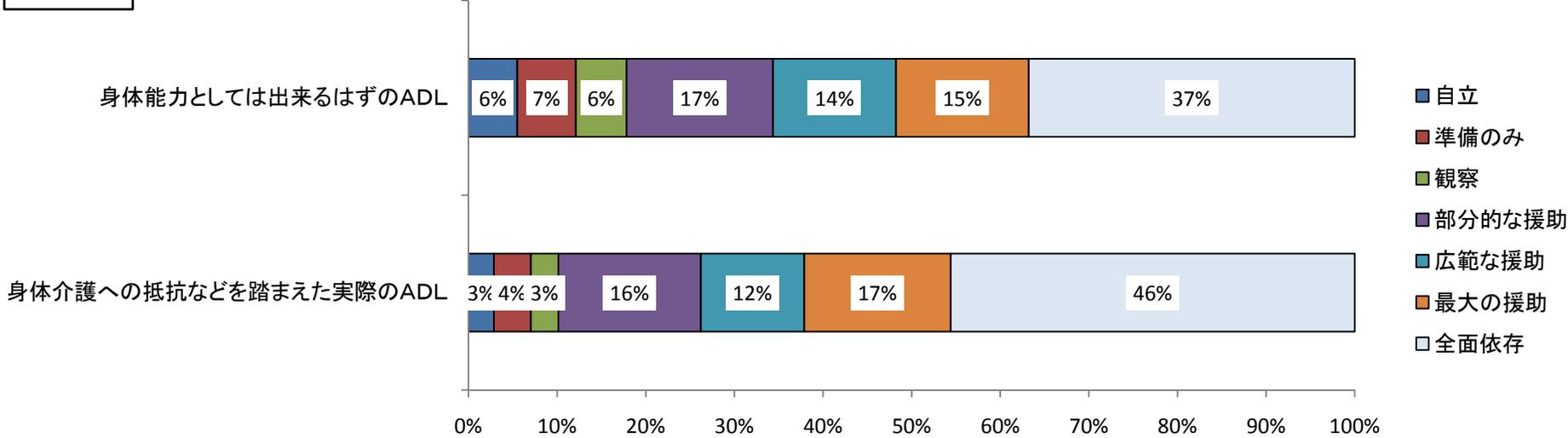


在院日数別 調査日から過去3日間のADLについて

e 入浴

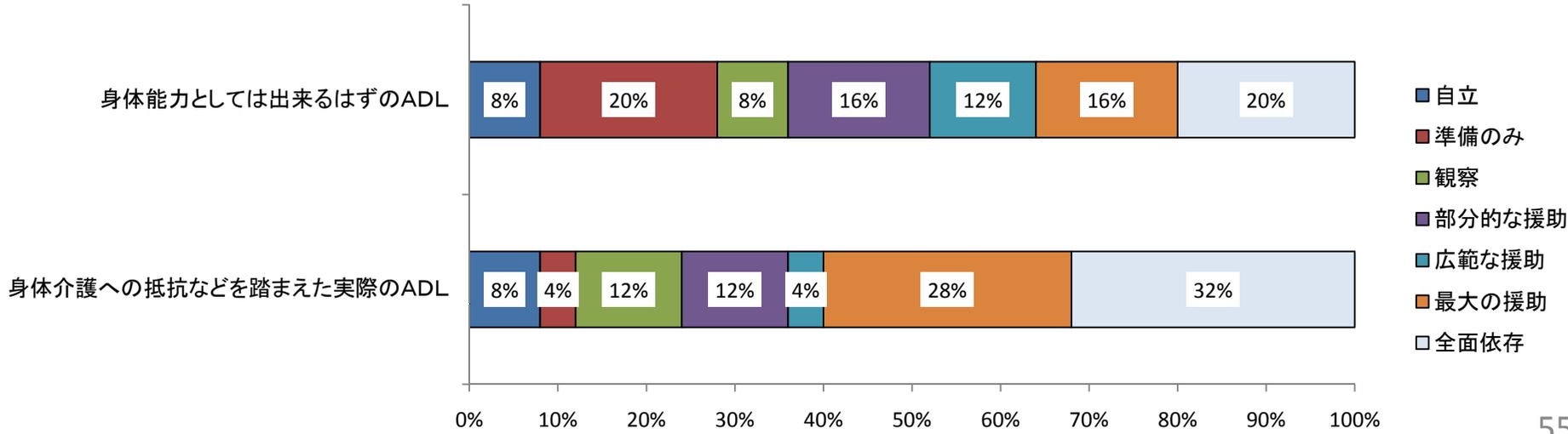
全体

(N=454)



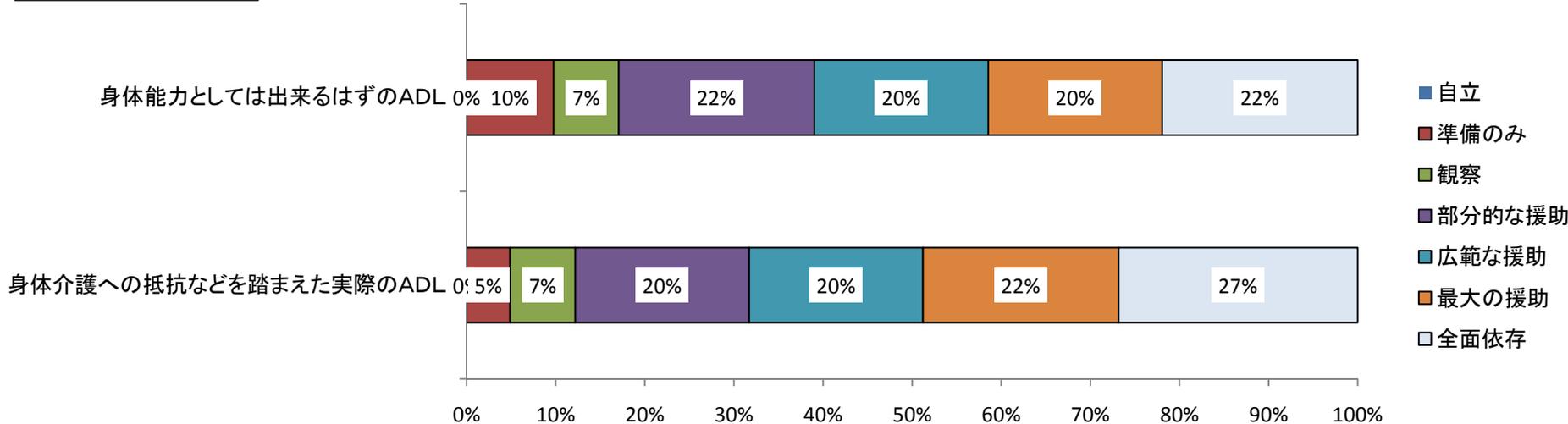
1日~30日

(N=25)



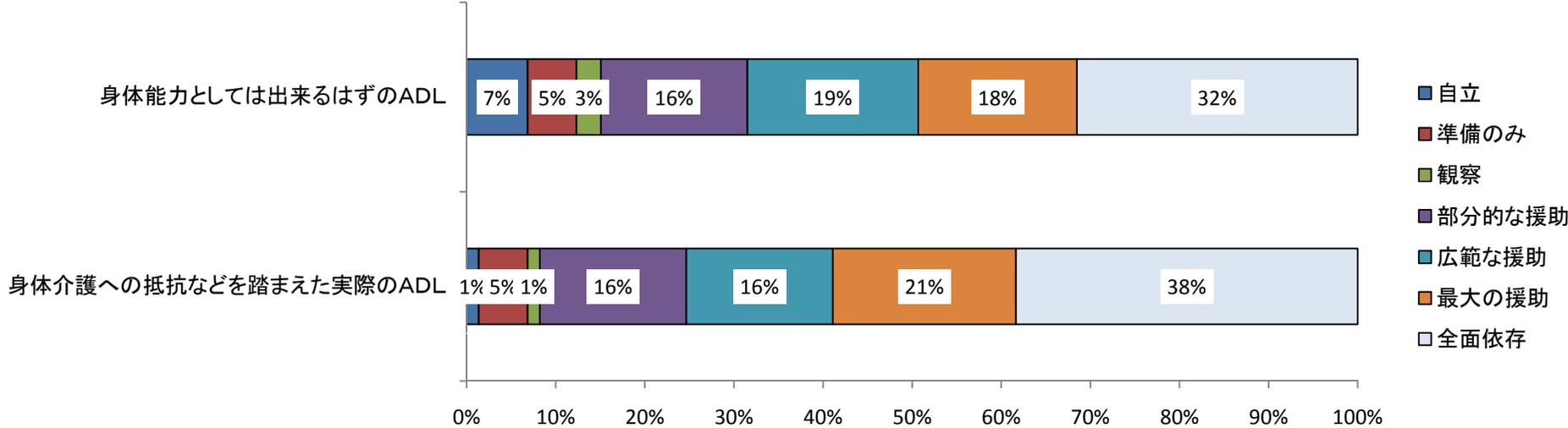
31日～90日

(N=41)



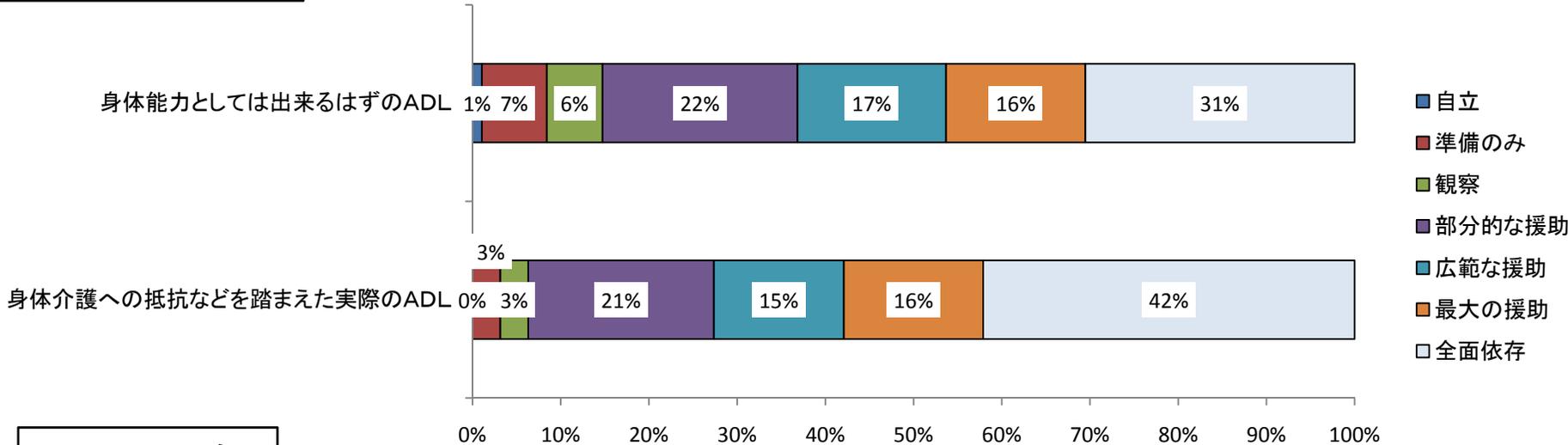
91日～180日

(N=73)



181日～365日

(N=95)



366日～3年

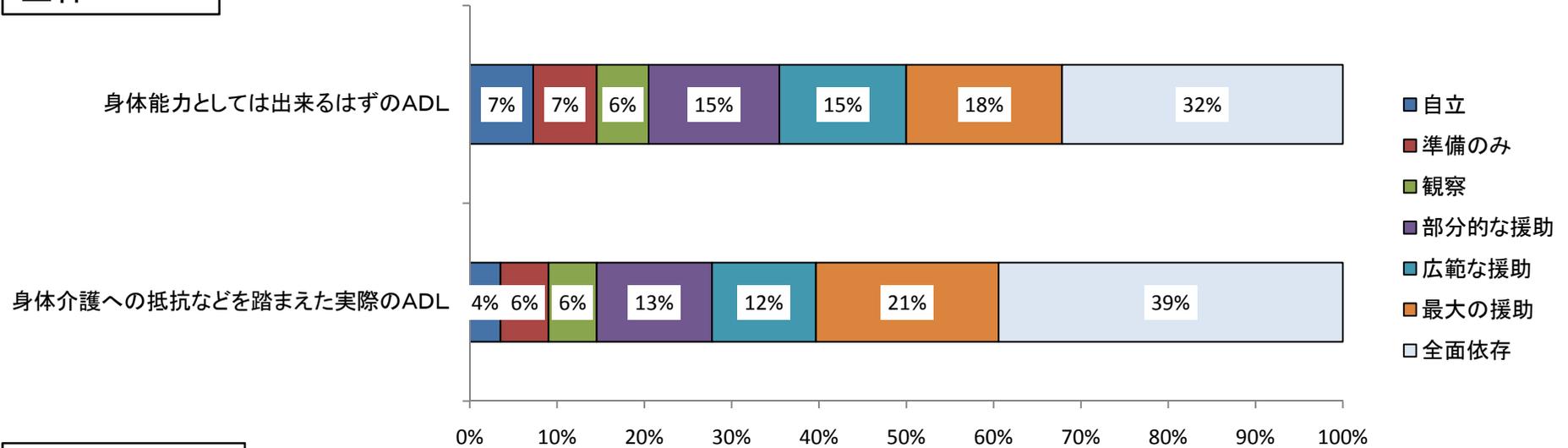
(N=121)



f 衣服の着脱

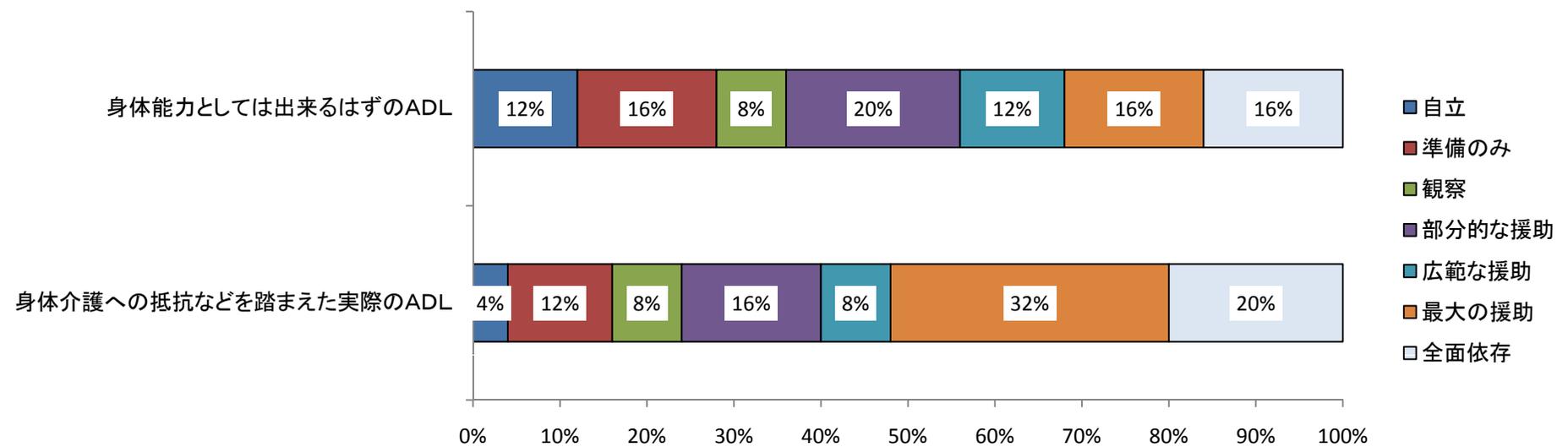
全体

(N=454)



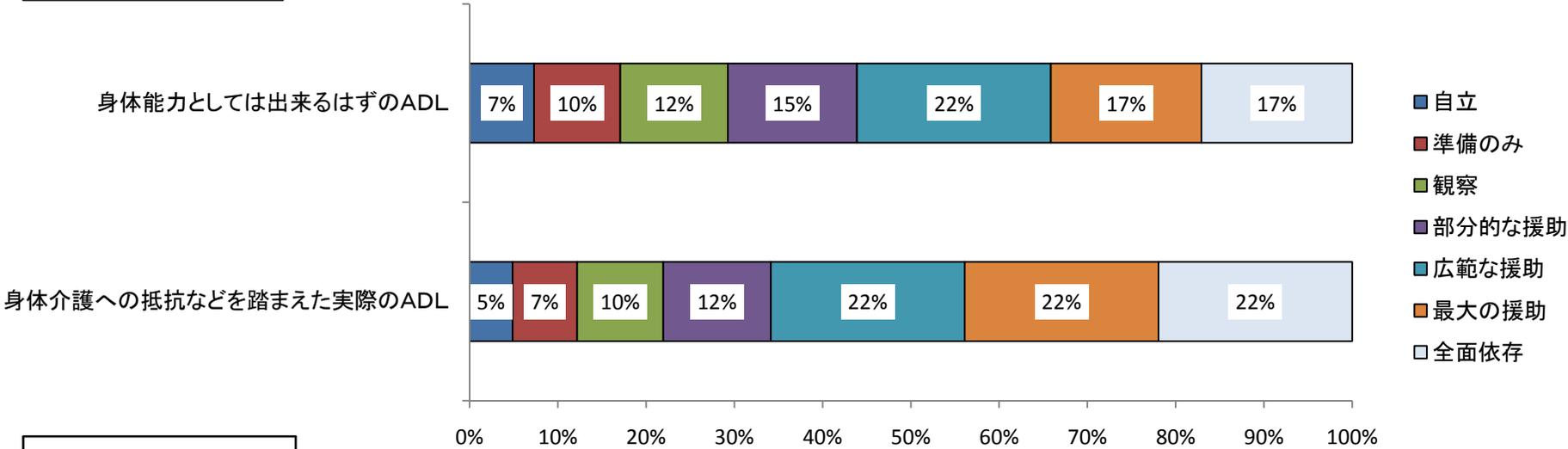
1日~30日

(N=25)



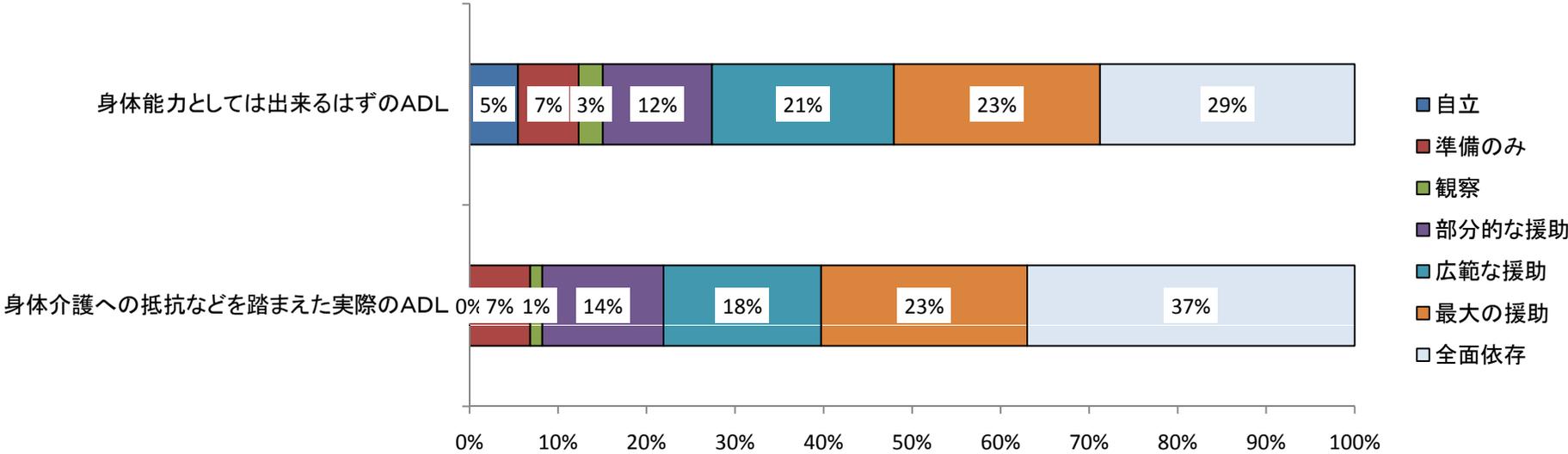
31日～90日

(N=41)



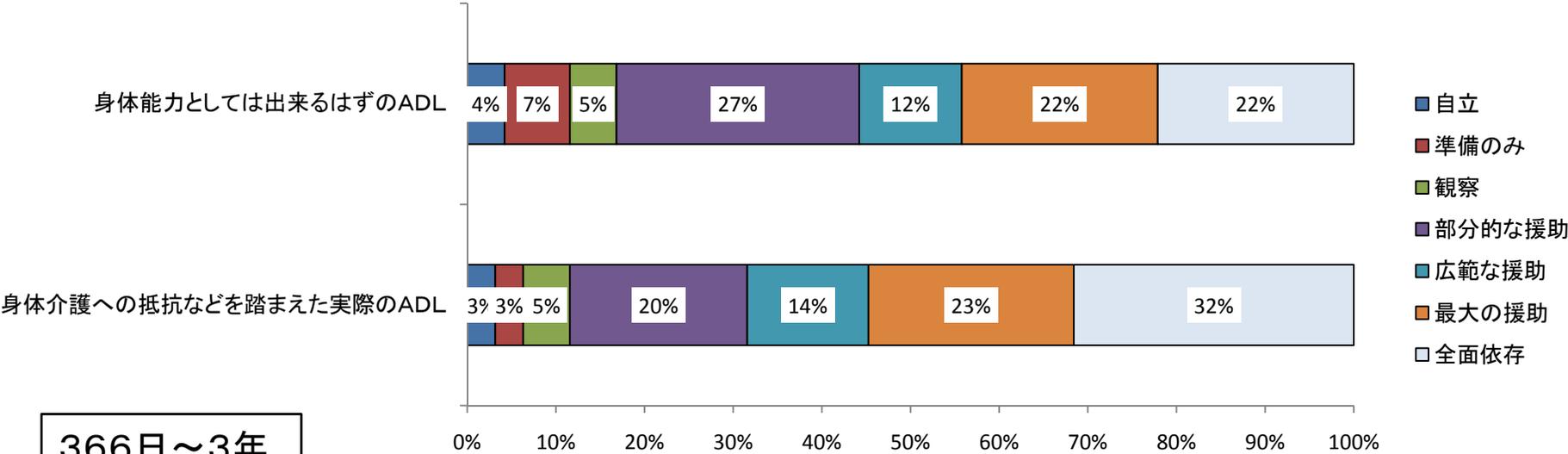
91日～180日

(N=73)



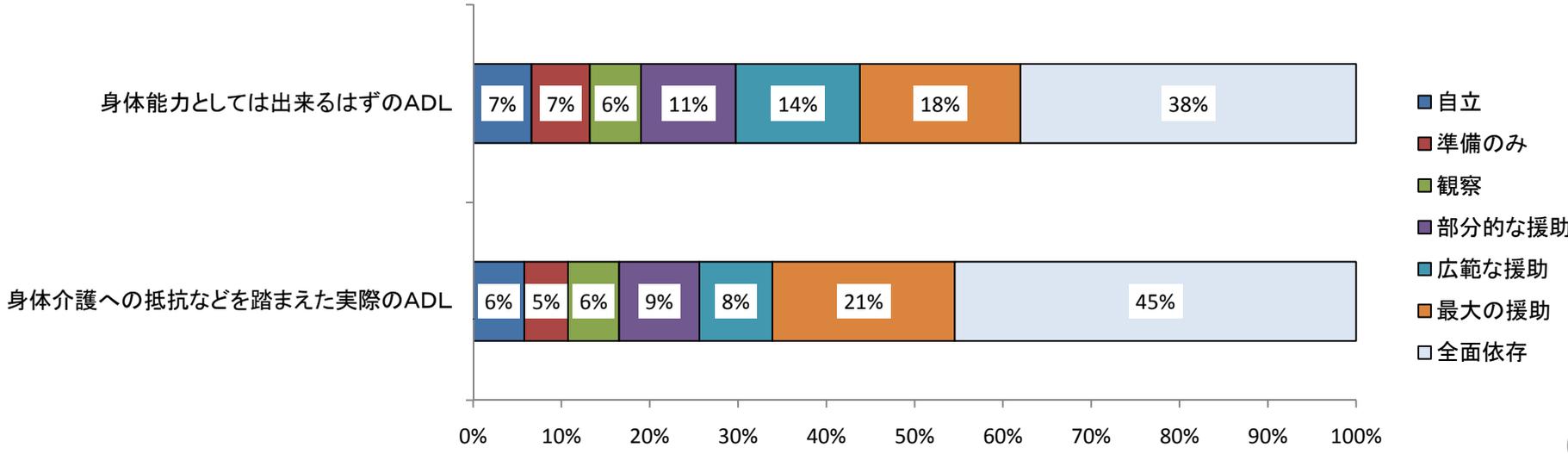
181日～365日

(N=95)



366日～3年

(N=121)

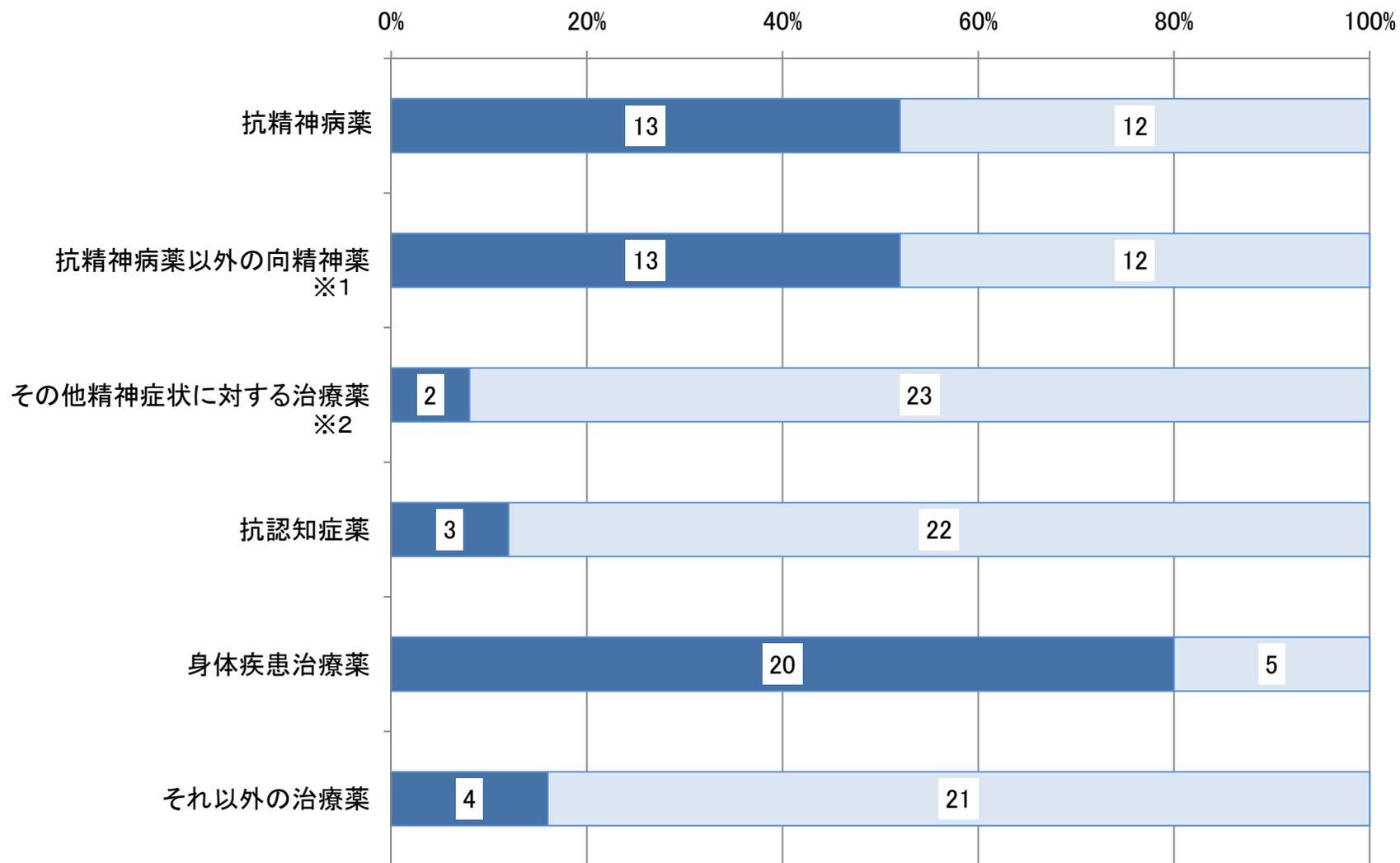


在院日数別 調査日から過去1週間に使用した薬物の有無

1日~30日

■ 有り □ 無し

(N=25)

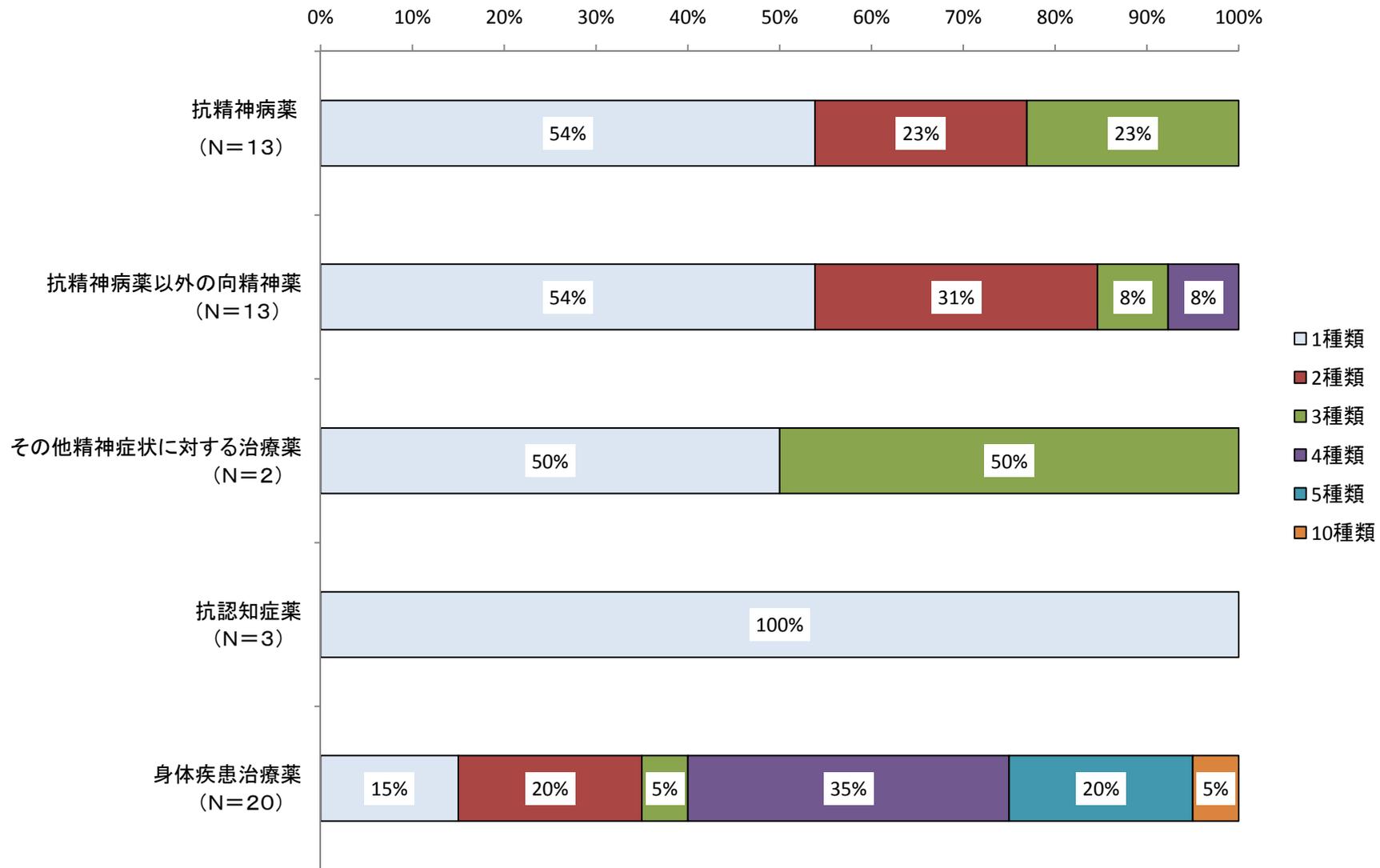


※1 抗精神病薬以外の向精神薬・・・抗不安薬、睡眠薬、抗うつ薬、抗てんかん薬

※2 その他の精神症状に対する治療薬・・・漢方薬など

在院日数別 過去1週間に使用した薬物の種類数

1日~30日

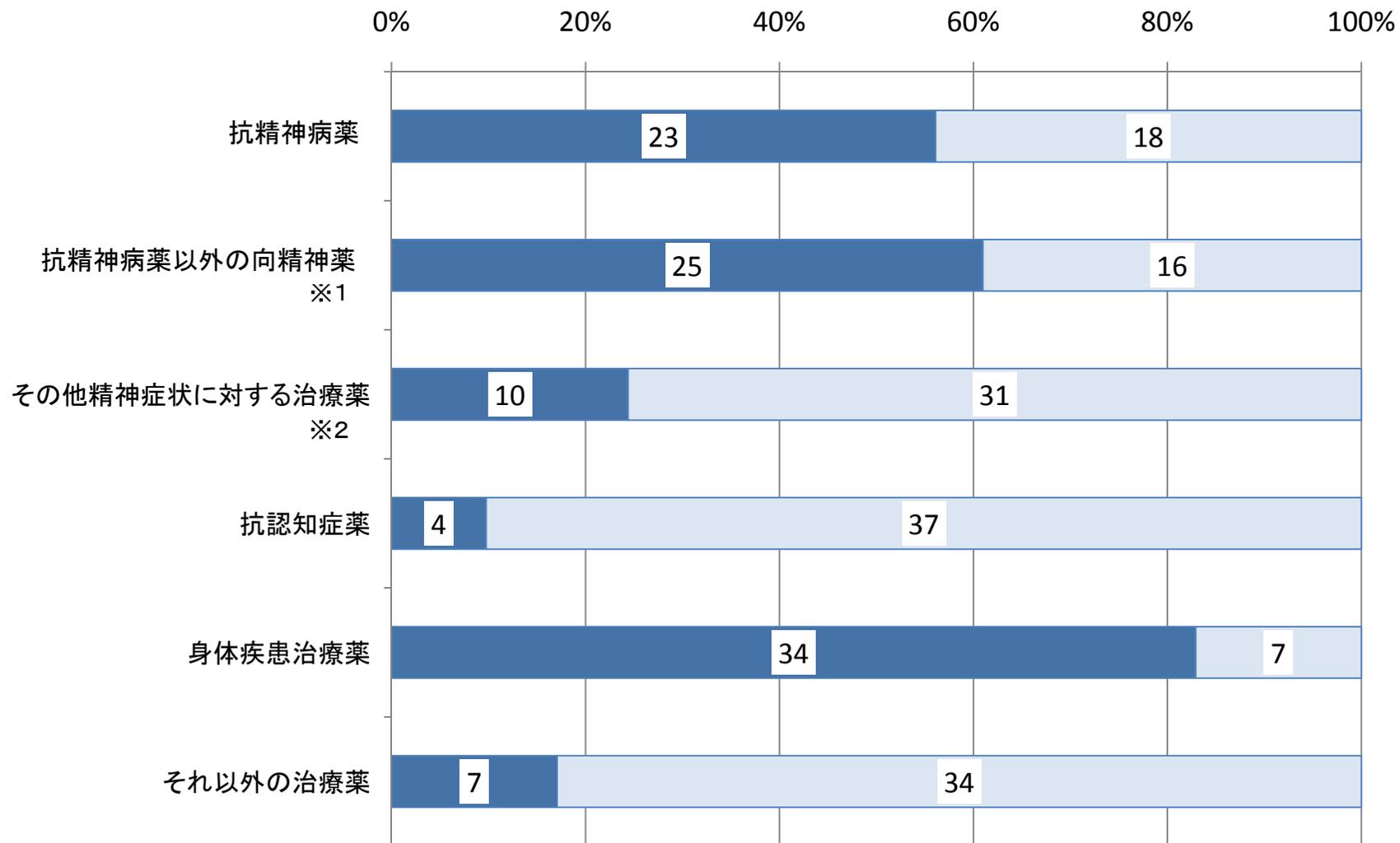


在院日数別 調査日から過去1週間に使用した薬物の有無

31日～90日

■ 有り □ 無し

(N=41)

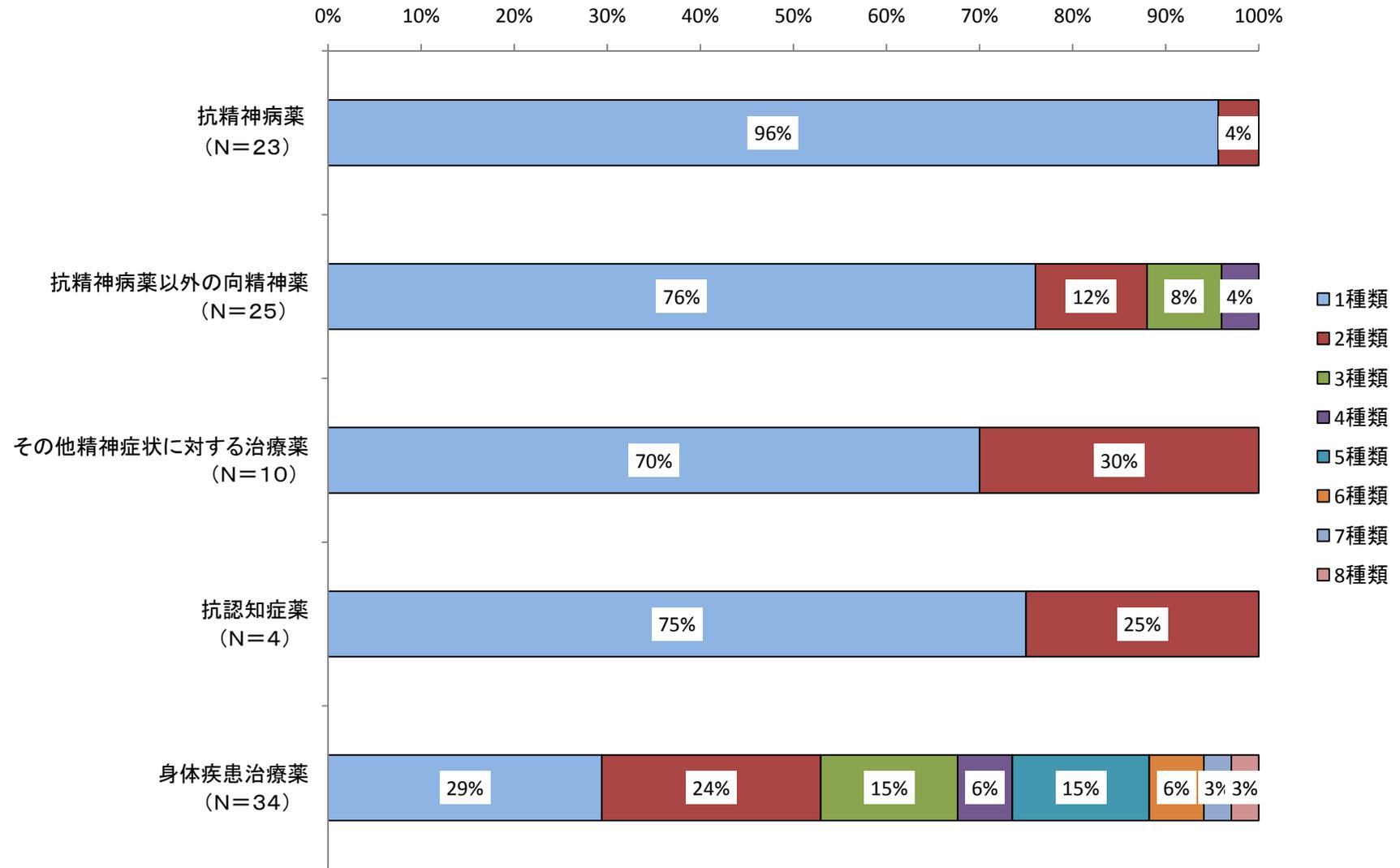


※1 抗精神病薬以外の向精神薬・・・抗不安薬、睡眠薬、抗うつ薬、抗てんかん薬

※2 その他の精神症状に対する治療薬・・・漢方薬など

在院日数別 過去1週間に使用した薬物の種類数

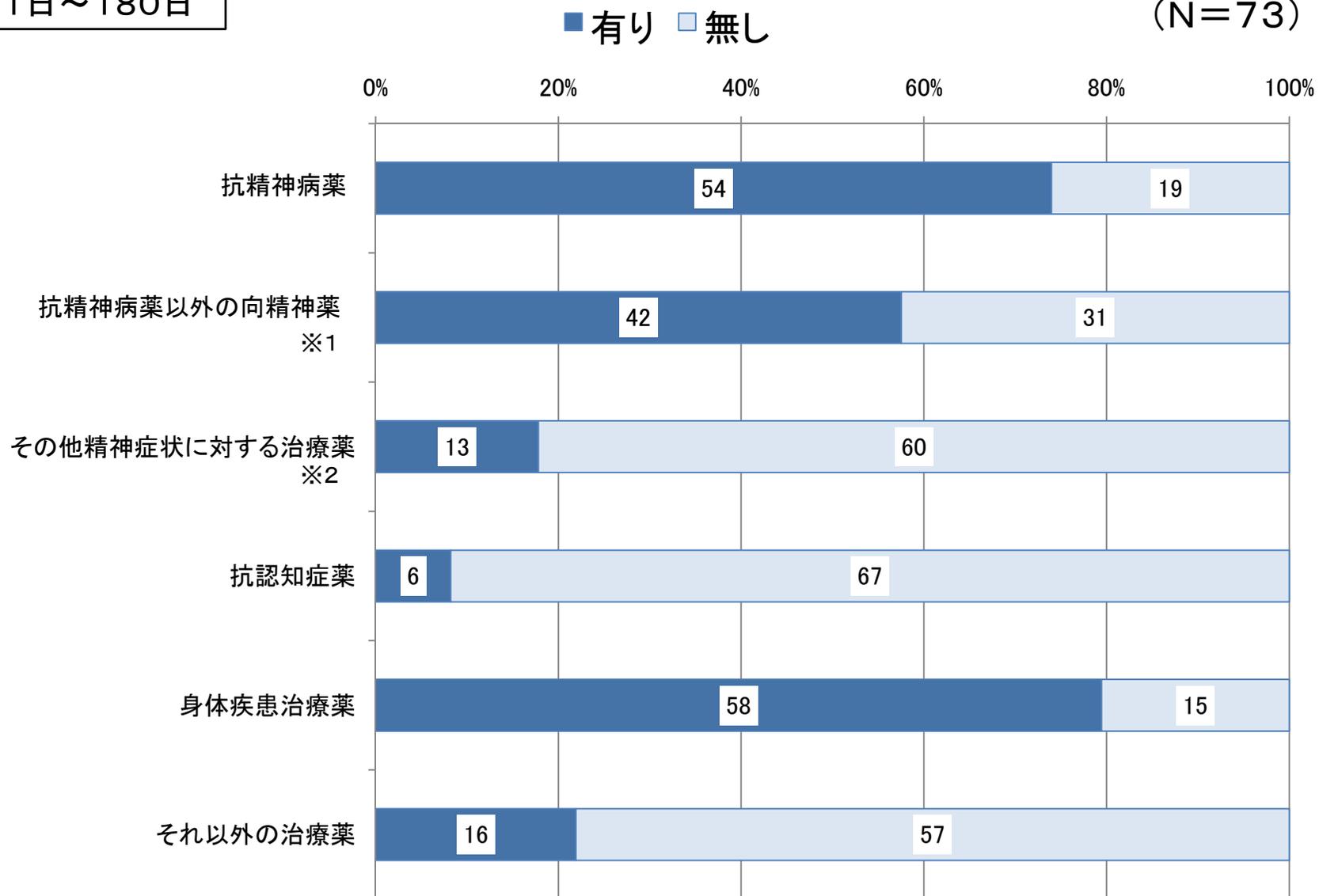
31日～90日



在院日数別 調査日から過去1週間に使用した薬物の有無

91日～180日

(N=73)

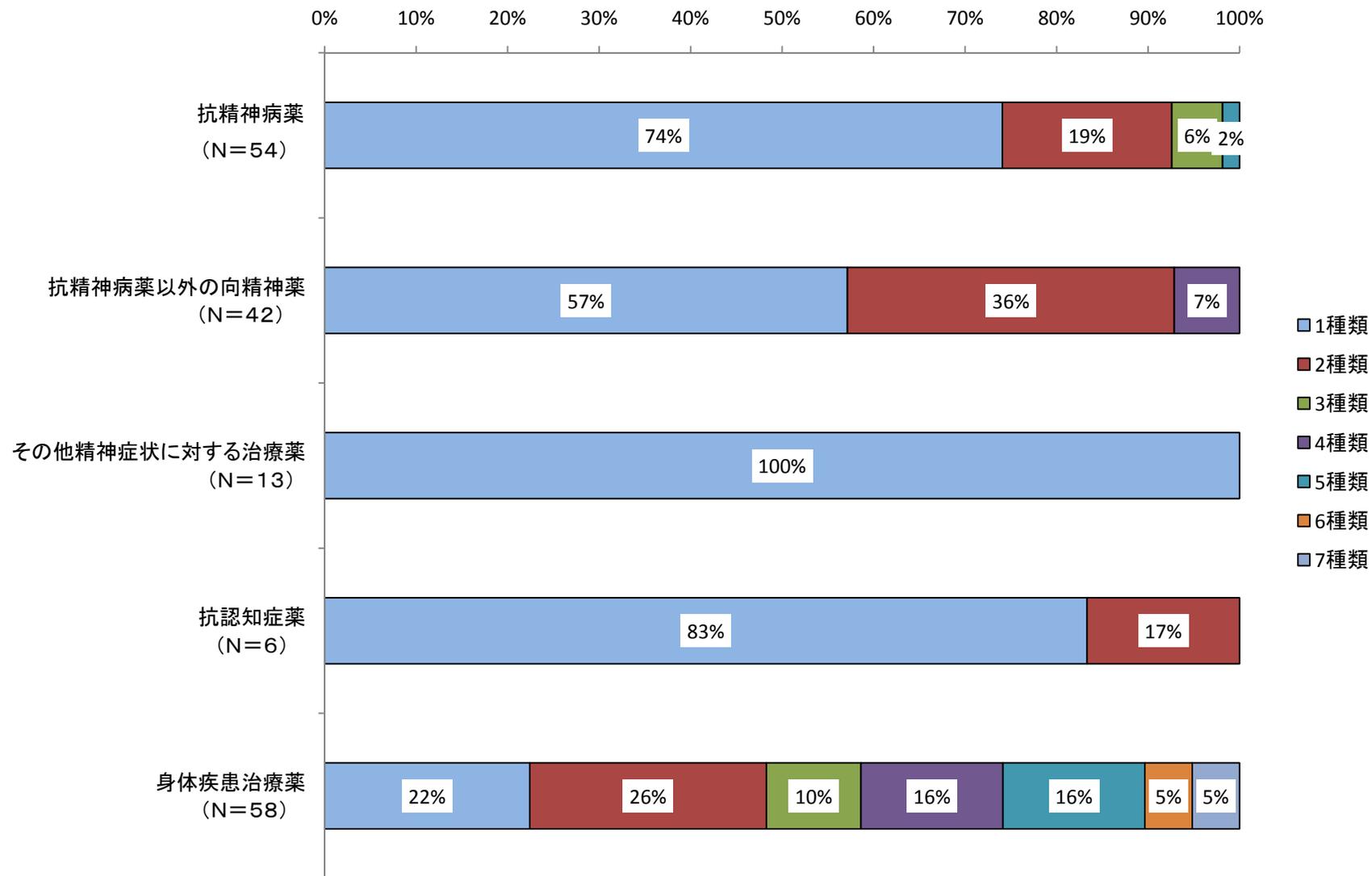


※1 抗精神病薬以外の向精神薬・・・抗不安薬、睡眠薬、抗うつ薬、抗てんかん薬

※2 その他の精神症状に対する治療薬・・・漢方薬など

在院日数別 過去1週間に使用した薬物の種類数

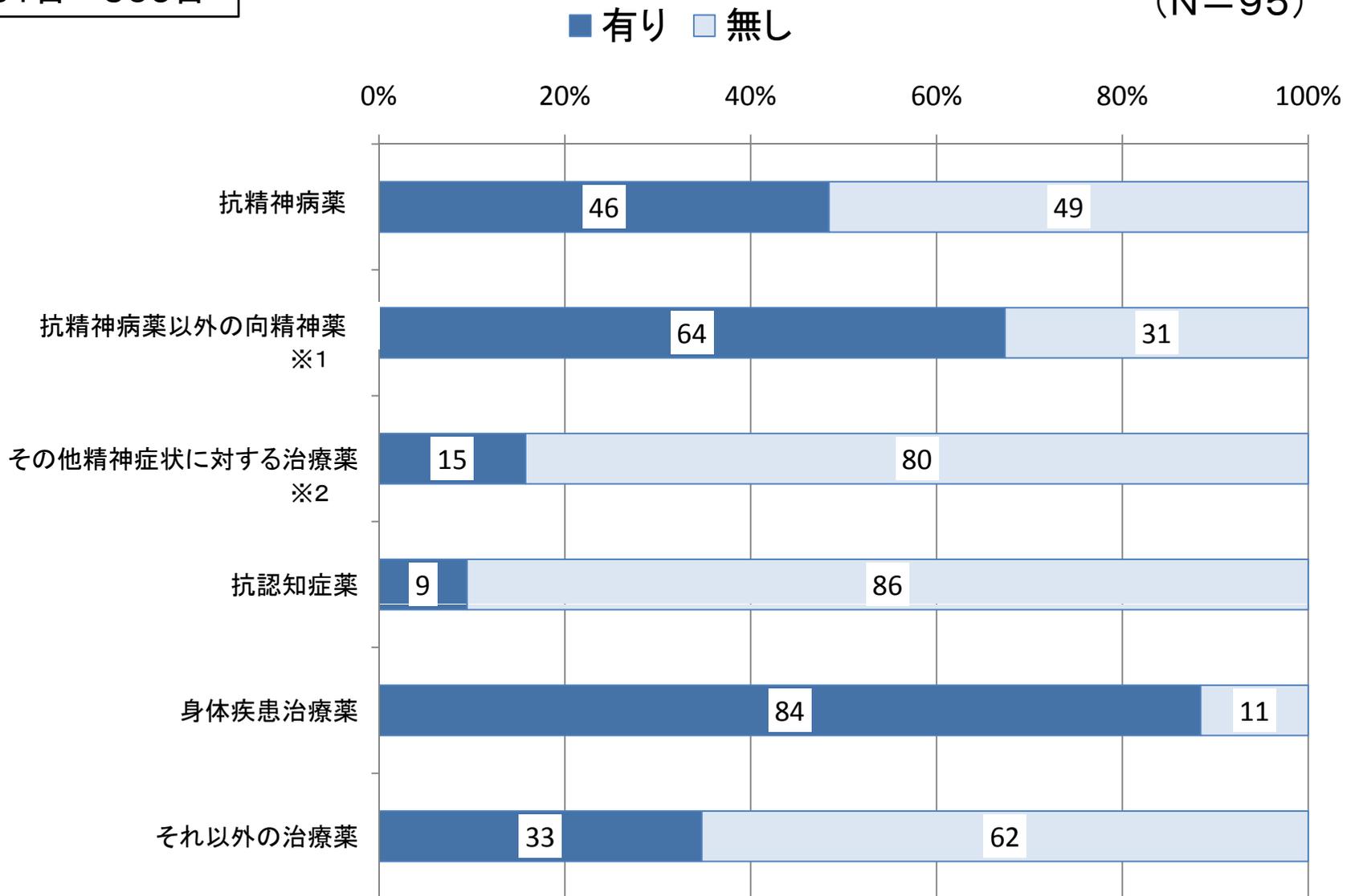
91日～180日



在院日数別 調査日から過去1週間に使用した薬物の有無

181日～365日

(N=95)

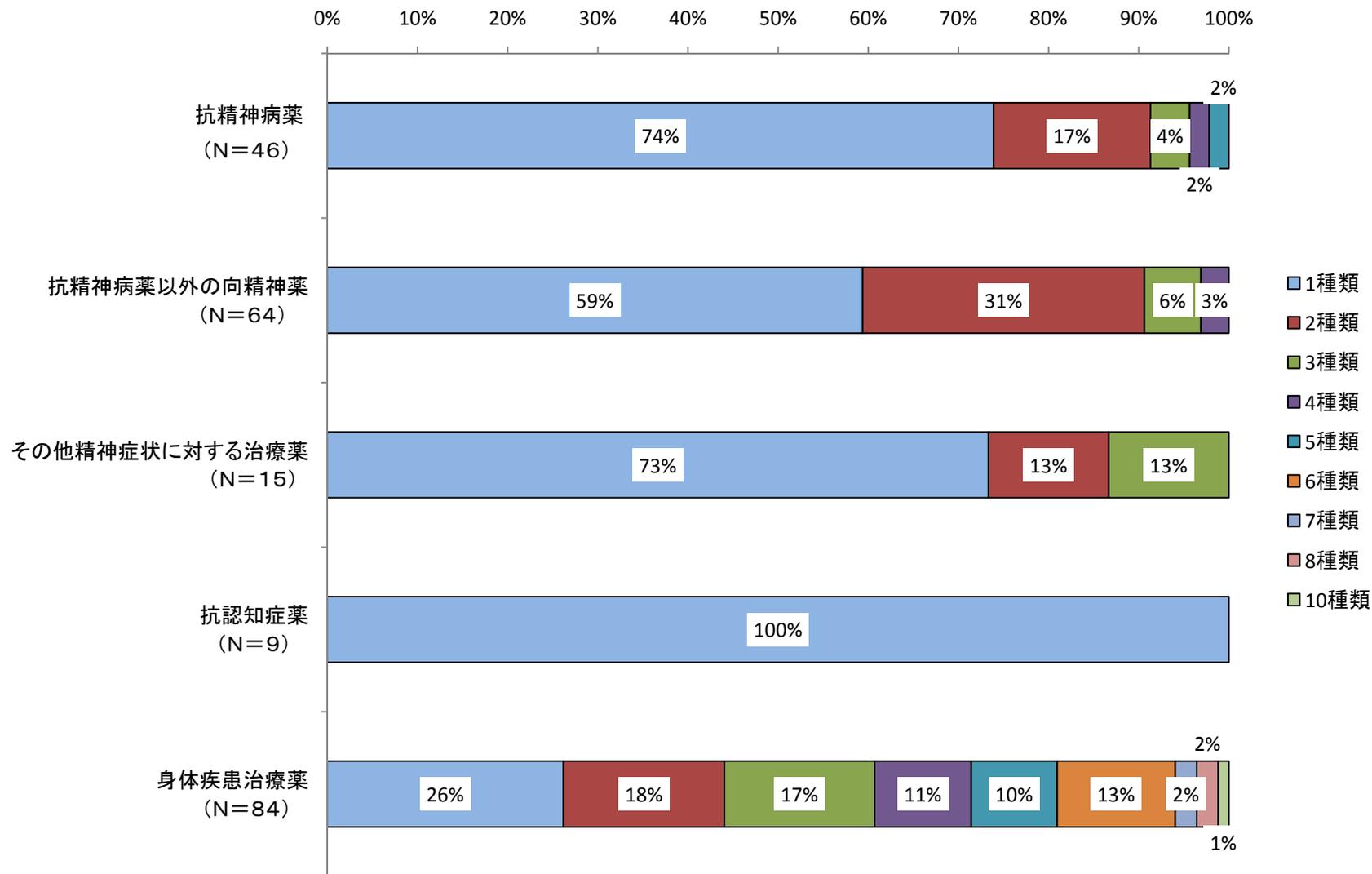


※1 抗精神病薬以外の向精神薬・・・抗不安薬、睡眠薬、抗うつ薬、抗てんかん薬

※2 その他の精神症状に対する治療薬・・・漢方薬など

在院日数別 過去1週間に使用した薬物の種類数

181日～365日

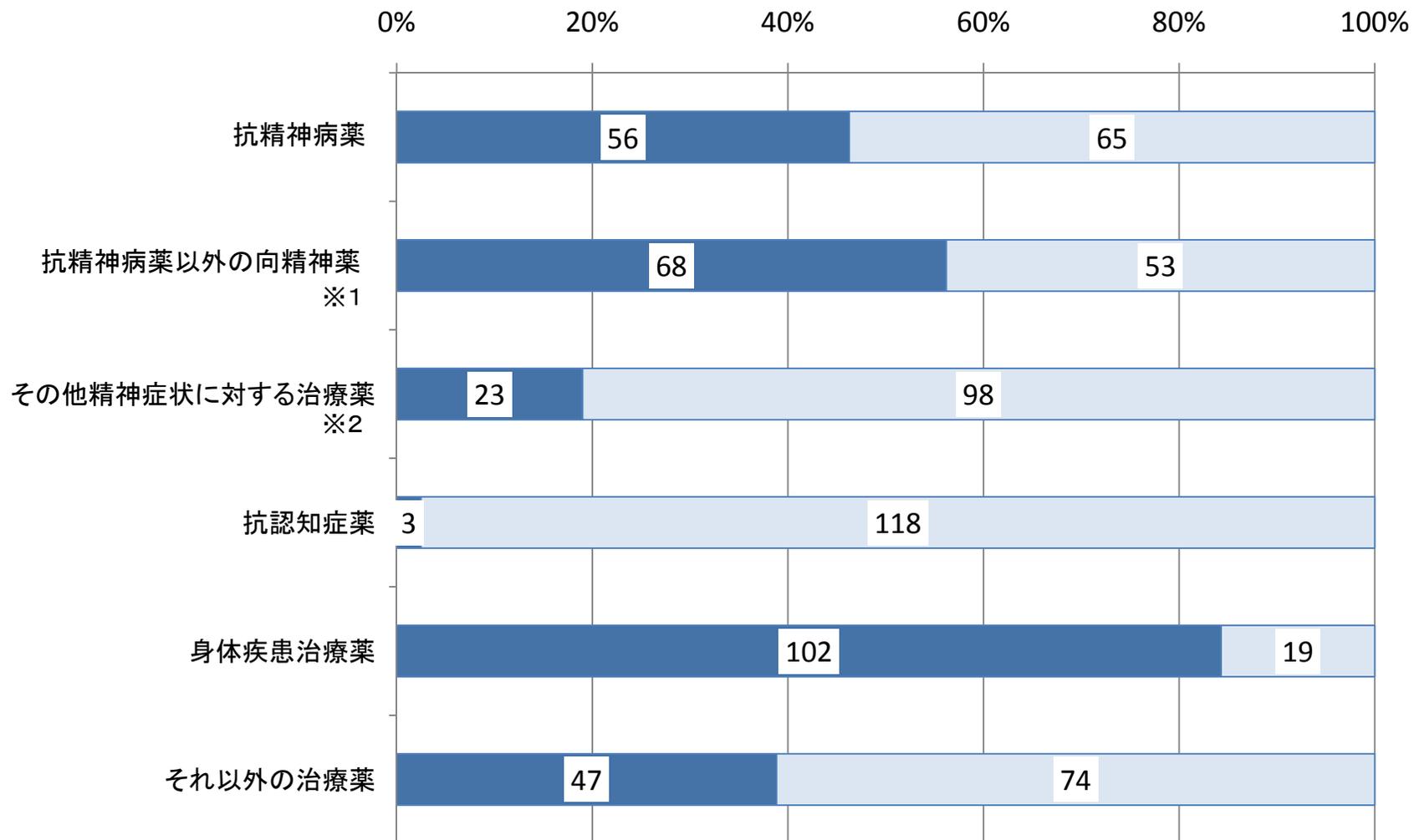


在院日数別 調査日から過去1週間に使用した薬物の有無

366日～3年

■ 有り □ 無し

(N=121)

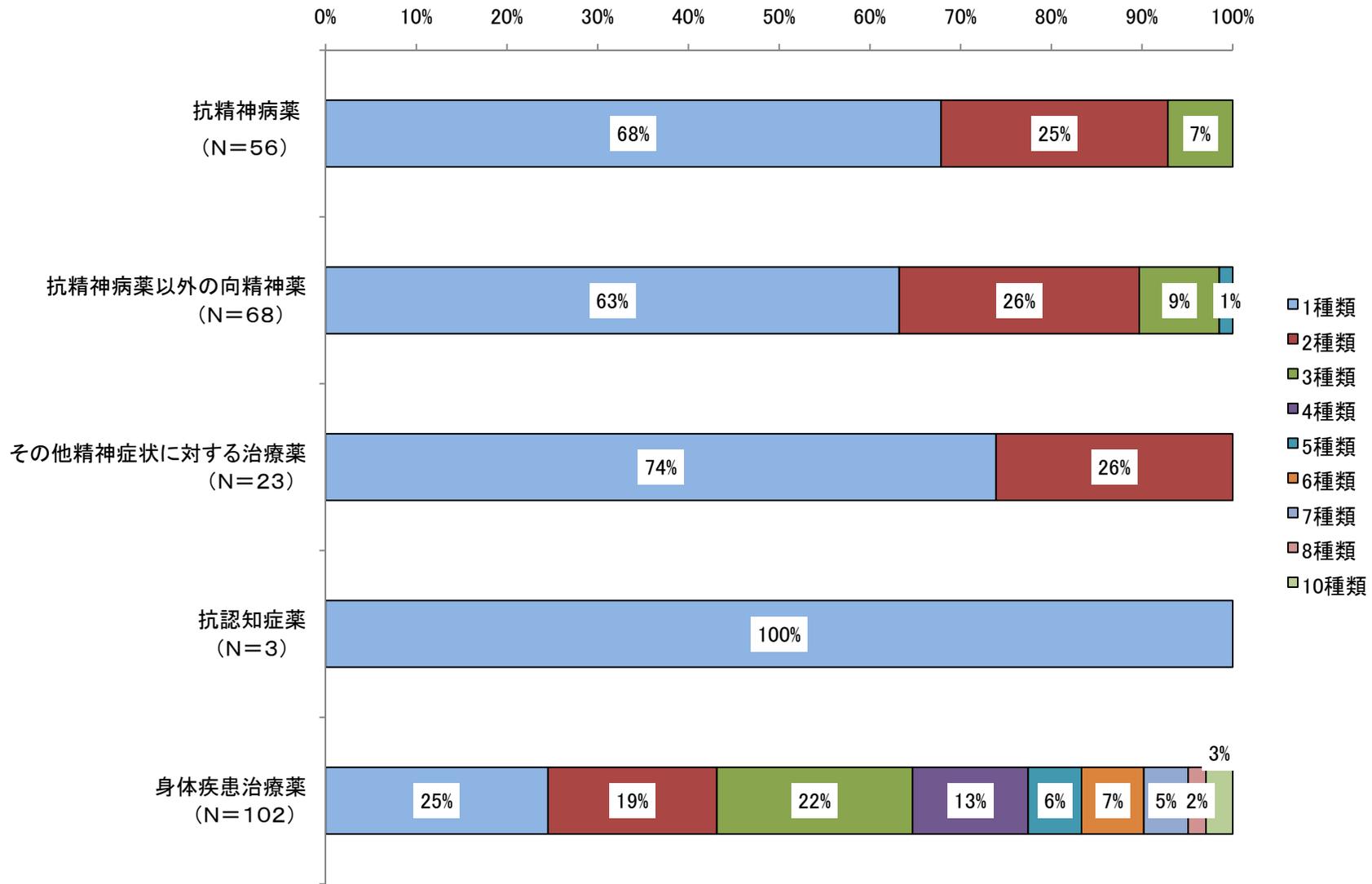


※1 抗精神病薬以外の向精神薬・・・抗不安薬、睡眠薬、抗うつ薬、抗てんかん薬

※2 その他の精神症状に対する治療薬・・・漢方薬など

平均在院日数別 過去1週間に使用した薬物の種類数

366日～3年

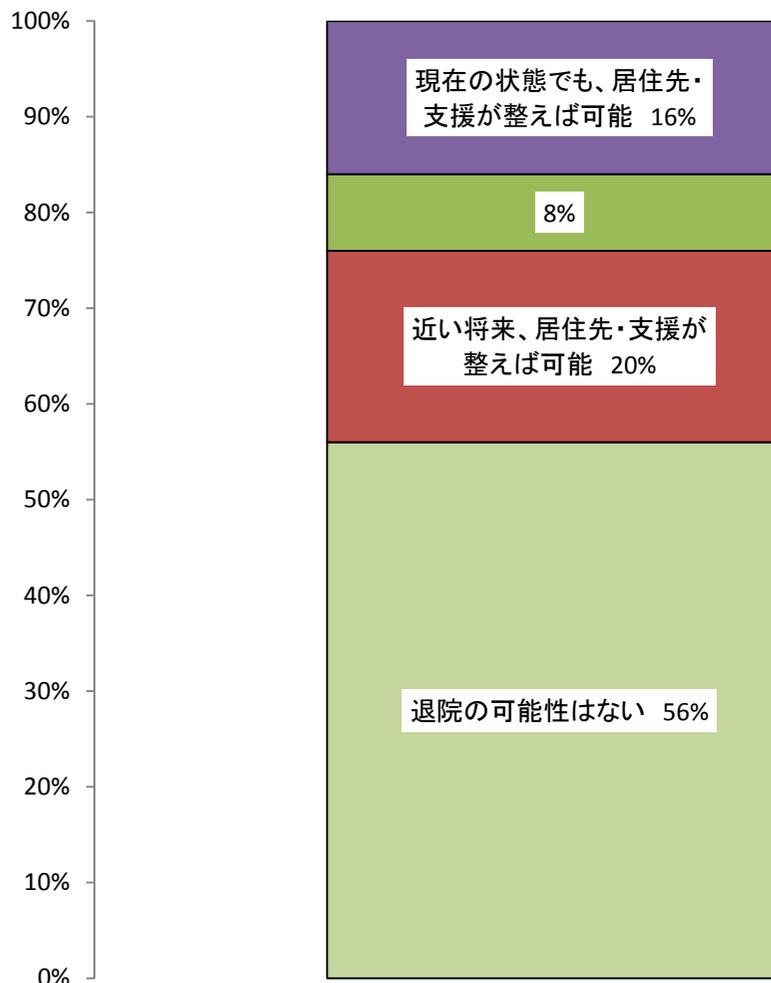


在院日数別 居住先・支援が整った場合の退院の可能性

1日～30日

(N=25)

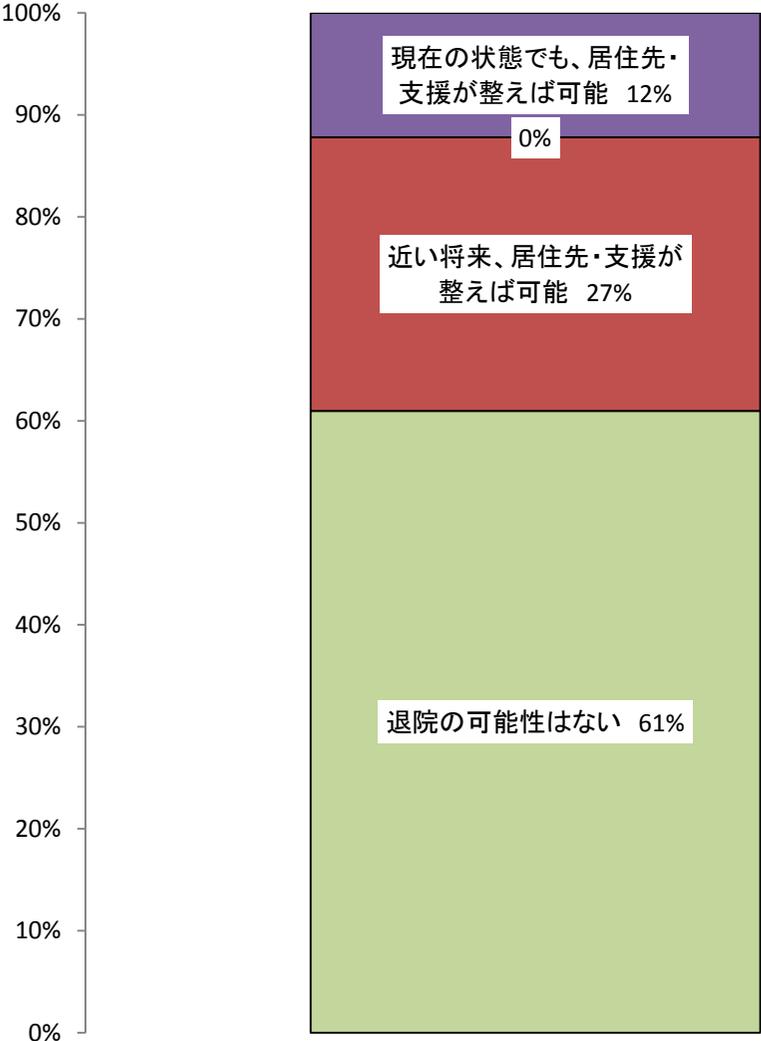
- 1. 現在の状態でも、居住先・支援が整えば退院は可能
- 2. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援などを新たに用意しなくても近い将来(6ヶ月以内)には退院が可能になる
- 3. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援が整えば近い将来(6ヶ月以内)には可能になる
- 4. 状態の改善が見込まれず、居住先・支援を整えても近い将来(6ヶ月以内)の退院の可能性はない



31日～90日

(N=41)

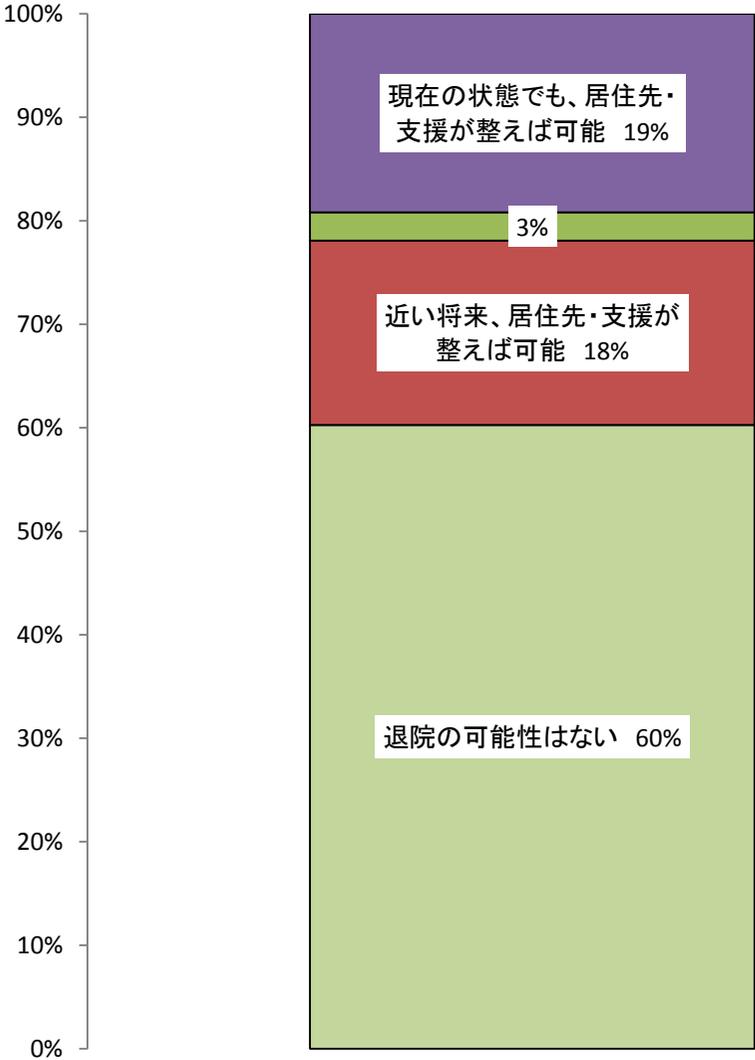
- 1. 現在の状態でも、居住先・支援が整えば退院は可能
- 2. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援などを新たに用意しなくても近い将来(6ヶ月以内)には退院が可能になる
- 3. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援が整えば近い将来(6ヶ月以内)には可能になる
- 4. 状態の改善が見込まれず、居住先・支援を整えても近い将来(6ヶ月以内)の退院の可能性はない



91日～180日

(N=73)

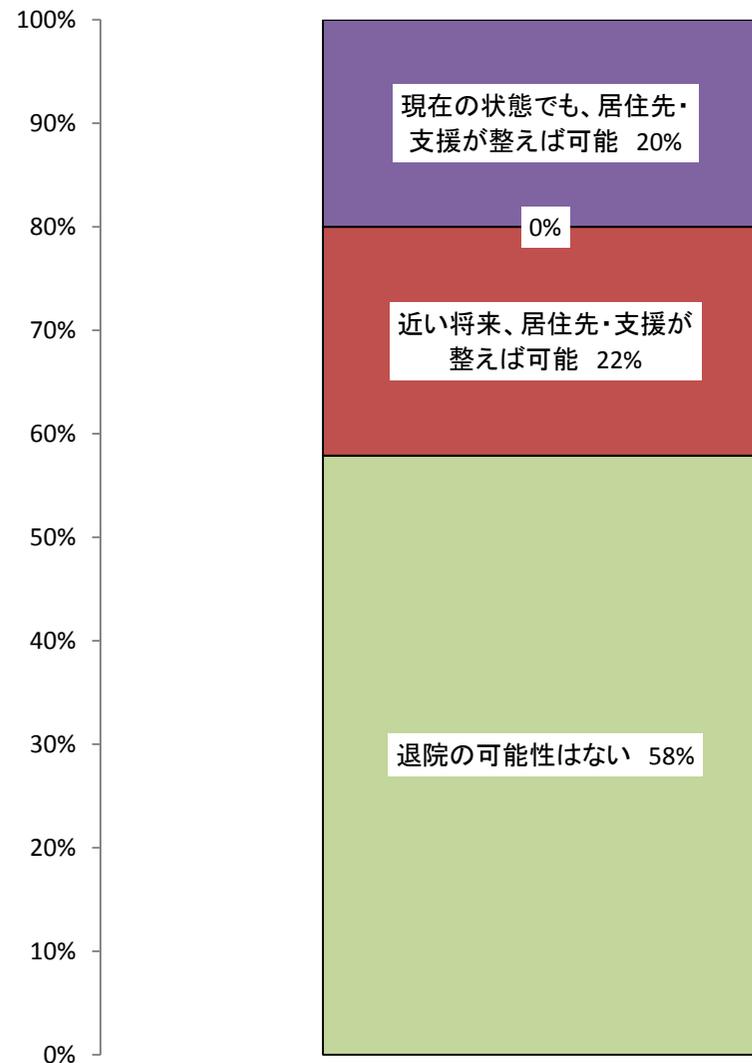
- 1. 現在の状態でも、居住先・支援が整えば退院は可能
- 2. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援などを新たに用意しなくても近い将来(6ヶ月以内)には退院が可能になる
- 3. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援が整えば近い将来(6ヶ月以内)には可能になる
- 4. 状態の改善が見込まれず、居住先・支援を整えても近い将来(6ヶ月以内)の退院の可能性はない



181日～365日

(N=95)

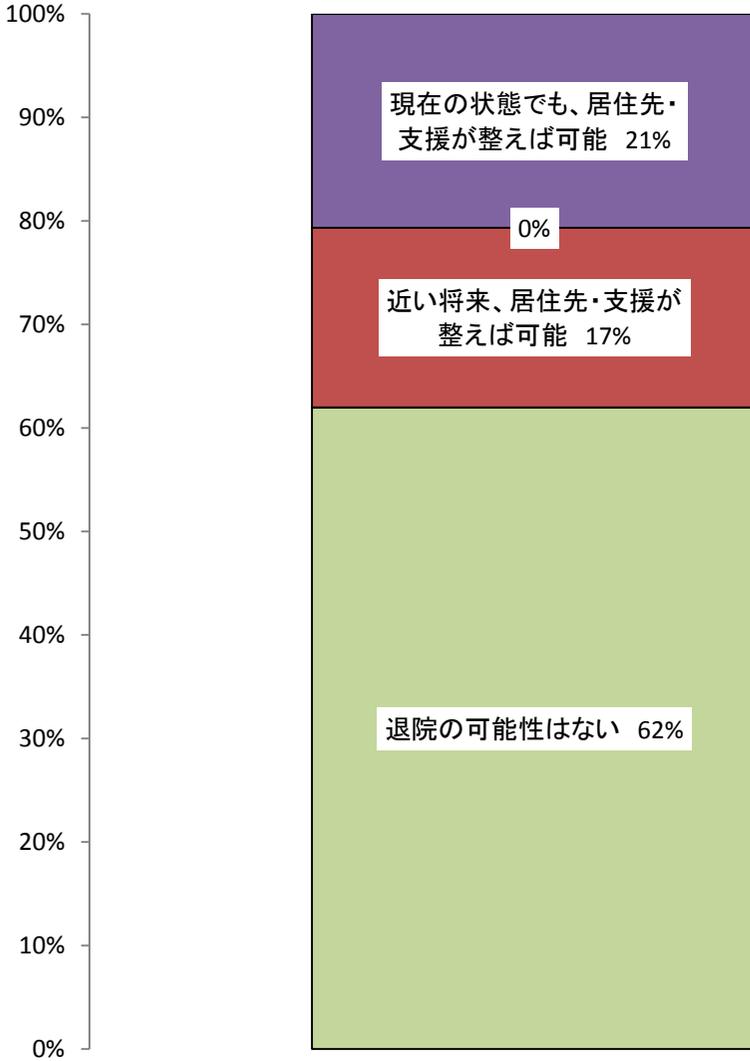
- 1. 現在の状態でも、居住先・支援が整えば退院は可能
- 2. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援などを新たに用意しなくても近い将来(6ヶ月以内)には退院が可能になる
- 3. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援が整えば近い将来(6ヶ月以内)には可能になる
- 4. 状態の改善が見込まれず、居住先・支援を整えても近い将来(6ヶ月以内)の退院の可能性はない



366日～3年

(N=121)

- 1. 現在の状態でも、居住先・支援が整えば退院は可能
- 2. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援などを新たに用意しなくても近い将来(6ヶ月以内)には退院が可能になる
- 3. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援が整えば近い将来(6ヶ月以内)には可能になる
- 4. 状態の改善が見込まれず、居住先・支援を整えても近い将来(6ヶ月以内)の退院の可能性はない



適切と考えられる「生活・療養の場」と
退院後に必要な支援のクロス集計

問25 適切と考えられる「生活・療養の場」と問26 退院後に必要な支援のクロス集計

(N=5)

1. 「家族等と同居」を選択した人の必要な支援

1番目に必要な支援		
自宅を訪問して行われる支援	4人	80%
短期入所をして行われる支援	1人	20%

2番目に必要な支援		
自宅以外の場所に通って行われる支援	3人	60%
精神科の定期的な通院	2人	40%

3番目に必要な支援		
訪問看護	3人	60%
精神科の定期的な通院	1人	20%
重度認知症デイケア	1人	20%

4番目に必要な支援		
民生委員、近隣の見守り等	2人	40%
精神科以外の定期的な通院	1人	20%
訪問診療	1人	20%
行政機関による訪問指導	1人	20%

3. 「認知症対応型共同生活介護(グループホーム)」を選択した人の必要な支援

(N=21)

1番目に必要な支援		
小規模多機能型居宅介護	8人	38%
精神科の定期的な通院	6人	29%
自宅以外の場所に通って行われる支援	1人	5%
短期入所をして行われる支援	1人	5%

2番目に必要な支援		
精神科の定期的な通院	6人	29%
短期入所をして行われる支援	5人	24%
重度認知症デイケア	4人	19%
自宅を訪問して行われる支援	2人	10%

3番目に必要な支援		
自宅以外の場所に通って行われる支援	6人	29%
経済的支援	6人	29%
短期入所をして行われる支援	1人	5%
精神科の定期的な通院	1人	5%
身体的リハビリテーション	1人	5%
成年後見制度等の活用	1人	5%

4番目に必要な支援		
精神科の定期的な通院	2人	10%
訪問看護	2人	10%
自宅を訪問して行われる支援	1人	5%
精神科以外の定期的な通院	1人	5%
重度認知症デイケア	1人	5%
民生委員、近隣の見守り等	1人	5%

4. 「特養」を選択した人の必要な支援

(N=109)

1番目に必要な支援		
小規模多機能型居宅介護	32人	29%
精神科の定期的な通院	16人	15%
自宅を訪問して行われる支援	3人	3%
精神科以外の定期的な通院	3人	3%

2番目に必要な支援		
短期入所して行われる支援	26人	24%
身体的リハビリテーション	22人	20%
訪問診療	18人	17%
精神科の定期的な通院	10人	9%
経済的支援	6人	6%
精神科以外の定期的な通院	5人	5%

3番目に必要な支援		
自宅以外の場所に通って行われる支援	21人	19%
訪問診療	18人	17%
経済的支援	11人	10%
精神科の定期的な通院	6人	6%
精神科以外の定期的な通院	6人	6%

4番目に必要な支援		
精神科以外の定期的な通院	10人	9%
成年後見制度等の活用	9人	8%
身体的リハビリテーション	7人	6%
自宅以外の場所に通って行われる支援	6人	6%
重度認知症デイケア	6人	6%
経済的支援	5人	5%
精神科の定期的な通院	4人	4%

(N=79)

5. 「老健」を選択した人の必要な支援

1番目に必要な支援		
精神科の定期的な通院	37人	47%
小規模多機能型居宅介護	20人	25%
自宅を訪問して行われる支援	6人	8%

2番目に必要な支援		
経済的支援	18人	23%
短期入所して行われる支援	14人	18%
身体的リハビリテーション	13人	16%
精神科の定期的な通院	12人	15%
自宅以外の場所に通って行われる支援	6人	8%

3番目に必要な支援		
経済的支援	14人	18%
自宅以外の場所に通って行われる支援	12人	15%
精神科の定期的な通院	7人	9%
訪問診療	5人	6%
年金受給申請	5人	6%

4番目に必要な支援		
重度認知症デイケア	9人	11%
精神科以外の定期的な通院	6人	8%
身体的リハビリテーション	5人	6%
自宅を訪問して行われる支援	3人	4%
精神科の定期的な通院	3人	4%

(N=5)

6. 「その他の介護施設」を選択した人の必要な支援

1番目に必要な支援		
精神科の定期的な通院	3人	60%
小規模多機能型居宅介護	2人	40%

2番目に必要な支援		
訪問看護	2人	40%
短期入所をして行われる支援	2人	40%
自宅以外の場所に通って行われる支援	1人	20%

3番目に必要な支援		
自宅以外の場所に通って行われる支援	2人	40%
重度認知症デイケア	2人	40%
身体的リハビリテーション	1人	20%

4番目に必要な支援		
精神科以外の定期的な通院	1人	20%
訪問診療	1人	20%
重度認知症デイケア	1人	20%

介助者有無と適切と考えられる「生活・療養
の場」のクロス集計

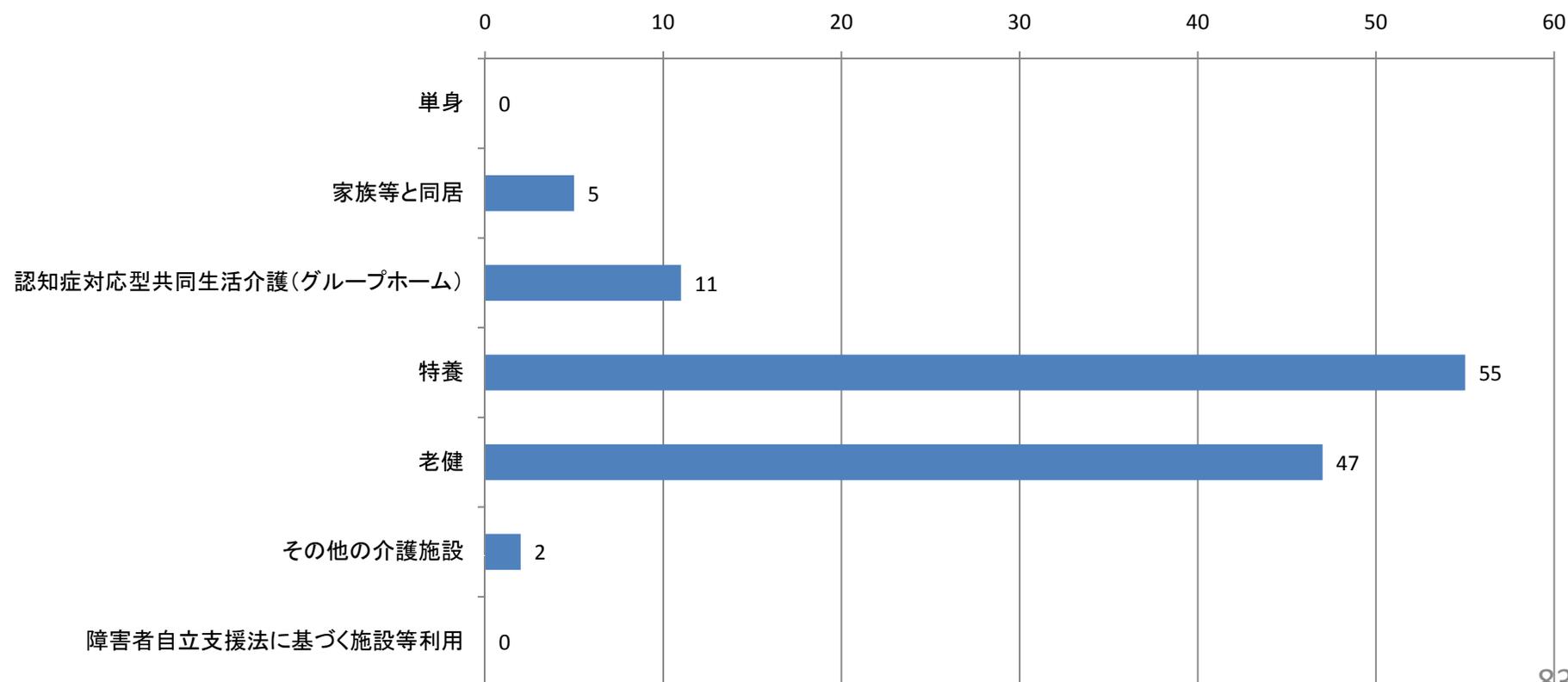
問21 介助者有無と問25 適切と考えられる「生活・療養の場」のクロス集計

介助者有り

(N=87) 複数回答可

問24で1,あるいは3と回答した人のうち、退院出来ると仮定した時、適切と考えられる「生活・療養の場」

単身	0	0%
家族等と同居	5	6%
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	11	13%
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	55	63%
介護老人保健施設(老健)	47	54%
その他の介護施設(有料老人ホーム、軽費老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅など)	2	2%
障害者自立支援法に基づく施設等利用	0	0%

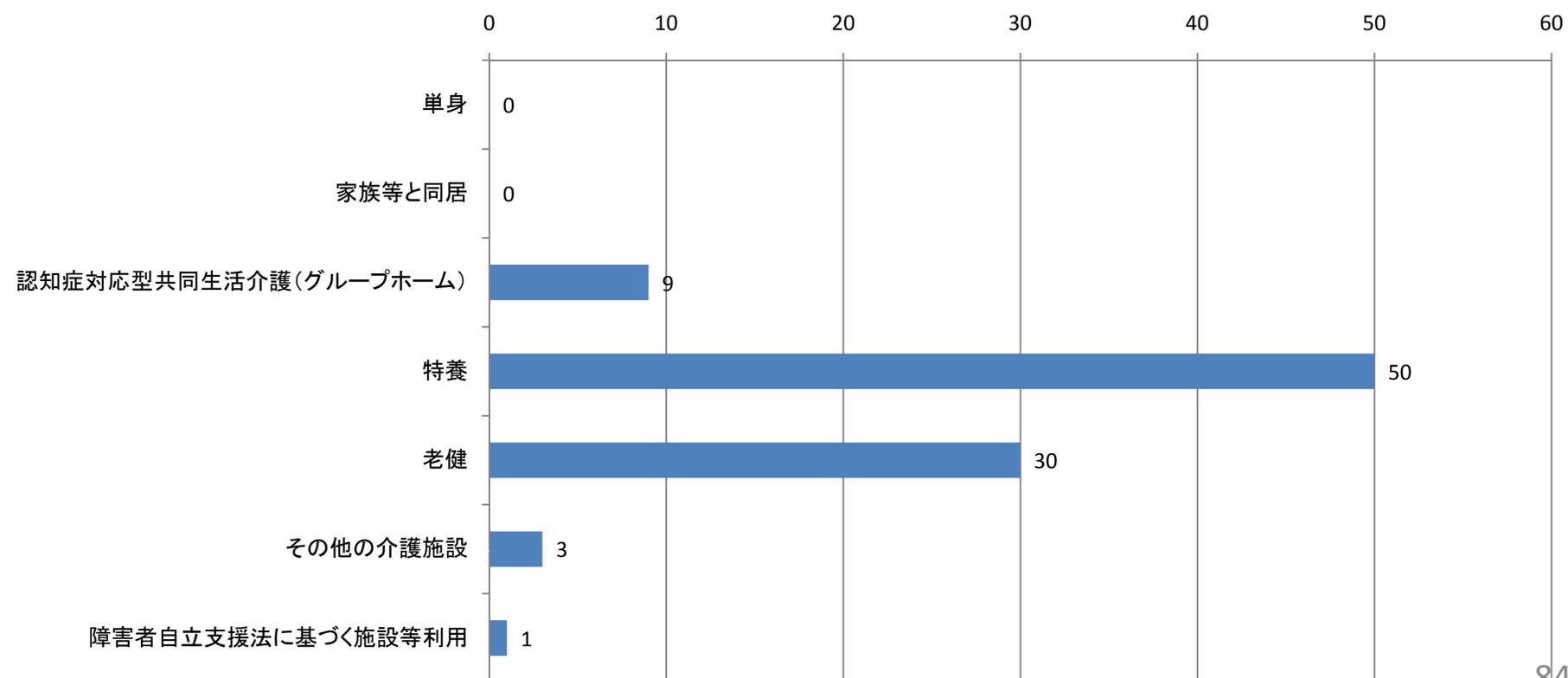


介助者無し

(N=80) 複数回答可

問24で1,あるいは3と回答した人のうち、退院出来ると仮定した時、適切と考えられる「生活・療養の場」

単身	0	0%
家族等と同居	0	0%
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	9	11%
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	50	63%
介護老人保健施設(老健)	30	38%
その他の介護施設(有料老人ホーム、軽費老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅など)	3	4%
障害者自立支援法に基づく施設等利用	1	1%



介助者の有無と退院後に必要な支援の クロス集計

問21 介助者の有無と問26 退院後に必要な支援 のクロス集計

介助者有り

問24で1,あるいは3と回答した人のうち、退院出来ると仮定した時、退院後に必要な支援

(N=82)

1番目に必要な支援		
精神科の定期的な通院	27人	33%
小規模多機能型居宅介護	26人	32%
自宅を訪問して行われる支援	4人	5%

2番目に必要な支援		
短期入所して行われる支援	19人	23%
身体的リハビリテーション	18人	22%
経済的支援	15人	18%
精神科の定期的な通院	12人	15%
自宅以外の場所に通って行われる支援	5人	6%

3番目に必要な支援		
自宅以外の場所に通って行われる支援	16人	20%
訪問診療	11人	13%
経済的支援	9人	11%
短期入所して行われる支援	4人	5%
精神科の定期的な通院	4人	5%
年金受給申請	4人	5%

4番目に必要な支援		
精神科以外の定期的な通院	9人	11%
自宅以外の場所に通って行われる支援	5人	6%
身体的リハビリテーション	5人	6%

介助者無し

問24で1,あるいは3と回答した人のうち、退院出来ると仮定した時、退院後に必要な支援

(N=78)

1番目に必要な支援		
精神科の定期的な通院	25人	32%
小規模多機能型居宅介護	12人	15%
自宅を訪問して行われる支援	7人	9%

2番目に必要な支援		
訪問診療	16人	21%
身体的リハビリテーション	15人	19%
経済的支援	8人	10%
自宅以外の場所に通って行われる支援	7人	9%
短期入所をして行われる支援	7人	9%
精神科の定期的な通院	5人	6%

3番目に必要な支援		
訪問診療	11人	14%
精神科の定期的な通院	7人	9%
経済的支援	7人	9%
自宅以外の場所に通って行われる支援	6人	8%

4番目に必要な支援		
重度認知症デイケア	8人	10%
成年後見制度等の活用	8人	10%
身体的リハビリテーション	4人	5%